

平成 2 2 年 度
(2 0 1 0)

病 院 年 報

市 立 敦 賀 病 院

病 院 理 念

市立敦賀病院は、

信頼され、温もりのある

医療をめざします。

基 本 方 針

患者さん中心の心のかよう医療を行います。

患者さんにやさしい、開かれた病院をつくります。

質の高い効率的な医療をわかりやすく提供します。

職 員 指 標

礼 儀 ・ 親 切 ・ 情 熱 ・ 責 任 ・ 技 能

はじめに

市立敦賀病院 院長 米島 學

この度、平成 22 年度の市立敦賀病院年報を発刊するはこびとなりました。平成 19 年度からは病院年報を業績集および看護部のあゆみとあわせるかたちで発刊しています。

より安全で良質な医療を提供するため病院の IT 化を進め、平成 21 年 1 月には電子カルテを導入しました。平成 23 年 4 月より DPC 病院に移行しましたが、患者さんが不利益を被らないよう、治療の方針は変更しない方針であります。

平成 21 年度に産婦人科医師が一時的に減少するなど引き続き医師不足は続いておりますが、各医師は協力し合い地域医療に邁進しています。福井大学の「緊急被ばく医療に強い救急総合医養成コース」の一環として平成 23 年 5 月より救急医 2 名が常勤となりました。地域の救急医療にさらに貢献できるものと考えております。

教育面でも、引き続き基幹型臨床研修病院の指定をいただき、平成 22 年度には 6 名、23 年度には 8 名の初期研修医を迎え活気溢れ、指導医のもとで日々研鑽を積んでいます。

市立敦賀病院は福井県嶺南地域の中核病院であり、嶺南地域の方々の病気を治療し、健康管理に寄与するための病院です。そのためには、病診連携をさらに強め、患者様のみならず診療所の先生方にもさらに信頼されるよう努めていかなければならないと考えています。

医療制度改革により、自治体病院を取り巻く環境は厳しい状態が続いています。平成 19 年度の「市立敦賀病院のあり方検討委員会」の答申を基に、平成 20 年 12 月に「市立敦賀病院中期経営計画」を作成し、平成 21 年度から 5 カ年計画で取り組み始めました。おかげさまで、平成 22 年度は 6 年ぶりに経営も好転しました。職員の努力のたまものと感謝しています。患者様中心の医療を続けることこそが経営改善に繋がると考えております。健やかで豊かな地域社会の実現に貢献するため、職員一同、さらなる努力を行ってまいります。

最後に、指導医派遣にご尽力をいただいております大学当局並びに県医療行政各位に心から感謝申し上げますとともに、今後とも皆様方のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 23 年 10 月

目 次

I 病院の沿革及び現況

| | | |
|----|-------|----|
| 1 | 病院の沿革 | 1 |
| 2 | 病院の概要 | 2 |
| 3 | 施設の概要 | 4 |
| 4 | 設備の概要 | 4 |
| 5 | 組織図 | 5 |
| 6 | 職員の現況 | 6 |
| 7 | 入院部屋数 | 7 |
| 8 | 経営の概要 | 8 |
| 9 | 経営分析 | 9 |
| 10 | 委員会等 | 11 |

II 決算概要

| | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 収益的収入及び支出 | 17 |
| 2 | 資本的収入及び支出 | 19 |
| 3 | 貸借対照表 | 19 |
| 4 | 診療行為別診療収入の状況 | 20 |
| 5 | 診療科別診療収入の状況 | 21 |

III 各部署の活動状況

| | | |
|-----|------------|----|
| 1 | 診療部 | 25 |
| (1) | 診療各科 | 25 |
| 2 | 医療支援部 | 25 |
| (1) | 医療・福祉相談支援室 | 25 |
| (2) | 地域医療連携室 | 25 |
| (3) | 医療安全管理室 | 27 |
| 3 | 医療技術部 | 28 |
| (1) | 検査室 | 28 |
| (2) | 放射線室 | 28 |
| (3) | リハビリテーション室 | 29 |
| (4) | 臨床工学技術室 | 29 |
| (5) | 栄養管理室 | 30 |
| 4 | 薬剤部 | 30 |

| | |
|-----------------|----|
| (1) 薬剤室 | 30 |
| 5 看護部 | 32 |
| 6 事務局 | 34 |
| (1) 総務企画課 | 34 |
| (2) 医療サービス課 | 34 |
| 7 被災地派遣活動 | 36 |
| (1) 福井県スクリーニング班 | 36 |
| (2) 日赤救護班第6班 | 36 |
| (3) 福井県救護班1 | 37 |
| (4) 日赤救護班第7班 | 37 |
| (5) 福井県救護班2 | 38 |
| (6) 福井県救護班3 | 38 |

IV 業務の概要

| | |
|---------------|----|
| 1 患者の状況 | 39 |
| (1) 入院・外来別患者数 | 39 |
| (2) 患者数の推移 | 39 |
| (3) 診療科別患者数 | 40 |
| (4) 市町村別患者数 | 41 |
| (5) 月別患者数 | 42 |
| (6) 救急患者の取扱状況 | 44 |
| (7) 患者搬送の状況 | 47 |
| 2 総合健診の状況 | 48 |
| 3 中央手術室業務の状況 | 49 |
| 4 種類別麻酔件数 | 49 |
| 5 内視鏡検査件数 | 49 |
| 6 周産期医療の状況 | 50 |
| 7 薬剤室業務の状況 | 51 |
| (1) 調剤業務の状況 | 51 |
| (2) 薬品の状況 | 51 |
| (3) 服薬指導の状況 | 51 |
| (4) 注射剤調製の状況 | 51 |
| 8 放射線科(室)の状況 | 52 |
| (1) 撮影の状況 | 52 |
| (2) フィルム使用の状況 | 52 |
| (3) 血管撮影検査の状況 | 52 |

| | |
|----------------------------|----|
| (4) MRI検査の状況 | 52 |
| (5) CT検査の状況 | 52 |
| (6) 核医学検査の状況 | 53 |
| (7) 放射線治療の状況 | 53 |
| (8) マンモグラフィーの状況 | 54 |
| (9) 骨密度検査の状況 | 54 |
| (10) エコー検査の状況 | 54 |
| 9 人工透析の状況 | 54 |
| 10 臨床検査の状況 | 55 |
| (1) 各種検査件数 | 55 |
| (2) 生理機能検査件数 | 55 |
| (3) 血液製剤使用量 | 56 |
| 11 リハビリテーションの状況 | 56 |
| 12 患者給食の状況 | 57 |
| 13 死亡患者数及び病理解剖件数 | 57 |
| 14 地域医療連携の状況 | 58 |
| (1) 紹介及び逆紹介の状況 | 58 |
| (2) 亜急性期病床の状況 | 58 |
| (3) ボランティアの活動状況 | 58 |
| 15 医療安全の状況 | 58 |
| (1) インシデント・アクシデントレポートの提出状況 | 58 |
| (2) 根本原因分析の実施状況 | 58 |
| 16 救急蘇生災害医療部会（災害部門）の活動状況 | 59 |
| 17 救急蘇生災害医療部会（救急部門）の活動状況 | 60 |
| 18 TQM委員会の活動状況 | 61 |

V 固定資産状況

| | |
|-----------------|----|
| 1 有形固定資産の取得状況 | 63 |
| 2 主要医療機器の設置状況 | 63 |
| 3 企業債・減価償却の状況 | 64 |
| (1) 企業債の年度別状況 | 64 |
| (2) 減価償却額の年度別状況 | 64 |

VI 研究業績

| | |
|---------|----|
| 1 診療部 | 65 |
| 2 医療支援部 | 75 |

| | | |
|---|---------|----|
| 3 | 医療技術部 | 75 |
| 4 | 薬剤部 | 77 |
| 5 | 看護部 | 78 |
| 6 | 臨床病理検討会 | 80 |

Ⅶ 看護部実績

| | | |
|---|---------------------|----|
| 1 | 記録監査委員会活動報告 | 85 |
| 2 | セーフティーマネージャー委員会活動報告 | 86 |
| 3 | 教育委員会活動報告 | 87 |
| 4 | 新人看護職員研修報告 | 88 |
| 5 | 教育研修実績 | 90 |
| | (1) 院内研修実績 | 90 |
| | (2) 院外研修実績 | 91 |
| | (3) 受講研修実績 | 94 |

Ⅷ 臨床研修プログラム概要

| | | |
|--|----------------------------|----|
| | 平成22年度市立敦賀病院臨床研修プログラム概要と実績 | 95 |
|--|----------------------------|----|

参考資料

| | | |
|---|----------------|-----|
| ○ | 市立敦賀病院中期経営計画概要 | 99 |
| ○ | 市立敦賀病院の患者権利章典 | 102 |
| ○ | 医療事故防止のための8カ条 | 104 |

I 病院の沿革及び現況

1 病院の沿革

| | |
|--------------|---|
| 明治 15 年 2 月 | 県立敦賀病院開設 |
| 明治 24 年 4 月 | 郡制施行に伴い郡立敦賀病院に改称 |
| 大正 12 年 4 月 | 郡制廃止により敦賀郡町村組合立病院に改称 |
| 昭和 18 年 4 月 | 日本医療団へ現物出資 |
| 昭和 24 年 2 月 | 病院開設許可（昭和 24 年 2 月 1 日 福井県指令医第 462 号） |
| 昭和 24 年 4 月 | 日本医療団より全施設組合に返還 |
| 昭和 30 年 1 月 | 町村合併により市立敦賀病院に改称 |
| 昭和 38 年 3 月 | 2 ヲ年度継続事業で病院本館、鉄筋コンクリート造・4 階建 全面改築（4,487 m ² ）完成（一般 172 床、伝病 20 床、結核 40 床） |
| 昭和 44 年 10 月 | 2 ヲ年度継続事業で救急診療棟、鉄筋コンクリート造・4 階建 増設（2,190 m ² ）完成（一般 232 床、伝病 25 床、結核 40 床） |
| 昭和 48 年 4 月 | 医師住宅 1 号棟、鉄筋コンクリート造・2 階建（7 戸）完成 |
| 昭和 49 年 4 月 | 医師住宅 2 号棟、鉄筋コンクリート造・2 階建（8 戸）完成 |
| 昭和 54 年 5 月 | 木造病棟を取り壊し、中央診療棟（放射線部門・手術部門病棟） 鉄筋コンクリート造・4 階建増改築（3,223 m ² ①）完成 （一般 276 床、伝病 25 床、結核 28 床） |
| 昭和 62 年 10 月 | 3 ヲ年度継続事業で本館診療棟、鉄筋コンクリート造・7 階建 増改築（12,068 m ² ②）完成（合計床面積 18,454 m ² ） （一般 276 床、伝病 25 床） |
| 平成 元年 10 月 | 神経科精神科（外来）開設 |
| 平成 5 年 4 月 | 循環器科・消化器科・麻酔科開設 |
| 平成 6 年 10 月 | 3 ヲ年度継続事業で東診療棟、救急診療棟、鉄筋コンクリート造 5 階建増改築（6,486 m ² ③）完成 （東病棟…完成・同年 4 月、運用開始・同年 6 月） （合計床面積①②③ 21,777 m ² ）（一般 348 床、伝病 10 床） |
| 平成 7 年 1 月 | 土曜閉院完全実施 |
| 平成 7 年 12 月 | 3 ヲ年度継続事業で電算情報トータルシステム整備完了 |
| 平成 9 年 3 月 | 医師住宅及び駐車場敷地購入（3,906.06 m ² ） |
| 平成 10 年 11 月 | 医師住宅新築工事竣工 鉄筋コンクリート造・5 階建（2,520.96 m ² ） 妻帯用 12 戸、単身用 8 戸 |
| 平成 11 年 1 月 | 旧医師住宅解体 |
| 平成 11 年 4 月 | 第二種感染症指定医療機関に指定（一般 348 床、感染症 2 床） |
| 平成 12 年 3 月 | 立体駐車場完成 鉄骨造 2 階建（4,273.18 m ² ）（253 台収容） |
| 平成 14 年 9 月 | 神経内科開設 |
| 平成 15 年 9 月 | 第 3 次整備建設着工（平成 15 年度～平成 18 年度継続事業） |
| 平成 15 年 10 月 | 財団法人日本医療機能評価機構認定第 JC43 号取得 |
| 平成 15 年 11 月 | 厚生労働省管理型臨床研修病院指定 第 030944 号 |
| 平成 17 年 3 月 | 第 3 次整備建設工事のうち北診療棟（7,815 m ² ）完成 |
| 平成 18 年 7 月 | リハビリテーション科開設 |
| 平成 18 年 12 月 | 第 3 次整備建設工事完成 |
| 平成 20 年 10 月 | 財団法人日本医療機能評価機構認定第 JC43-2 号取得（更新） |
| 平成 20 年 12 月 | 中期経営計画策定 |
| 平成 21 年 1 月 | 電子カルテ導入 |
| 平成 22 年 4 月 | 給食業務全面委託開始 |
| 平成 23 年 2 月 | DMAT 隊編成 |
| 平成 23 年 4 月 | DPC 請求病院開始 |

2 病院の概要（平成 23 年 10 月 1 日現在）

- 名 称 市立敦賀病院（昭和 24 年 2 月 1 日 福井県指令医第 462 号）
- 所在地 福井県敦賀市三島町 1 丁目 6 番 60 号
- 開設者 敦賀市
敦賀市長 河瀬一治
- 管理者 病院長 米島 學
- 敷地面積 17,965.18 m²
- 建物延面積 30,091.96 m²
- 診療科目 内科、神経内科、消化器科、循環器科・心臓血管外科、小児科
外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科
耳鼻いんこう科、放射線科、神経科精神科、麻酔科
リハビリテーション科、歯科口腔外科、救急科 計 19 科
- 特殊診療部門 救急医療、人工透析、生活習慣病健診、人間ドック
- 許可病床数 一般病床 330 床・感染症病床 2 床 計 332 床
- 保険診療 看護基準（10：1）
基準寝具／有
- 施設基準（基本診療料）
歯科外来診療環境体制加算
一般病棟入院基本料（10 対 1）（一般病棟看護必要度評価加算有）
臨床研修病院入院診療加算
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算
超急性期脳卒中加入算、妊産婦緊急搬送入院加算
診療録管理体制加算、医師事務作業補助体制加算（50 対 1）
急性期看護補助体制加算 1、療養環境加算
重症者等療養環境特別加算、栄養管理実施加算
栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算 1、褥瘡患者管理加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算、ハイリスク妊娠管理加算
ハイリスク分娩管理加算、急性期病棟等退院調整加算 1
救急搬送患者地域連携紹介加算、総合評価加算
ハイケアユニット入院医療管理料、小児入院医療管理料 4
亜急性期入院医療管理料 1

（特掲診療料）
高度難聴指導管理料、糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料、がん患者カウンセリング料
ニコチン依存症管理料、開放型病院共同指導料（I）
ハイリスク妊産婦共同管理料（I）
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料（医薬品安全性情報等管理体制加算有）

医療機器安全管理料 1、HPV 核酸同定検査
 検体検査管理加算 (I)・(II)、埋込型心電図検査、神経学的検査
 コンタクトレンズ検査料 1、小児食物アレルギー負荷検査
 内服・点滴誘発試験、画像診断管理加算 1、画像診断管理加算 2
 CT 撮影及びMRI 撮影、冠動脈CT 撮影加算
 心臓MRI 撮影加算、抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算 2、無菌製剤処理料
 心大血管疾患リハビリテーション料 (II)
 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)
 運動器リハビリテーション料 (II)
 呼吸器リハビリテーション料 (I)
 透析液水質確保加算
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)
 体外衝撃波胆石破碎術、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 (歯科点数表第 2 章第
 9 部の通則 4 を含む。) に掲げる手術、麻酔管理料 (I)
 輸血管管理料 II、クラウン・ブリッジ維持管理料

(入院時食事療養及び入院時生活療養の食事の提供たる療養の基準)
 入院時食事療養 (I)

(保険外併用療養費)
 特別の療養環境の提供、金属床による総義歯の提供
 病院 (200 床以上) の初診

- 診療指定
 - 保険医療機関、労災保険指定医療機関
 - 指定自立支援医療機関 (更正医療・育成医療・精神通院医療)
 - 身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関
 - 生活保護法指定医療機関
 - 結核指定医療機関、指定養育医療機関
 - 原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
 - 第二種感染症指定医療機関、公害医療機関
 - 母体保護法指定医の配置されている医療機関
 - 災害拠点病院、エイズ治療拠点病院
 - 特定疾患治療研究事業委託医療機関
 - 指定療育機関、小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
 - 地域周産期母子医療センター 等

- 研修等施設指定
 - 日本内科学会教育病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
 - 日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会認定施設
 - 日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設、日本呼吸器学会認定施設
 - 日本消化器外科学会専門医制度修練施設
 - 日本整形外科学会研修施設、日本胸部外科学会関連施設
 - マンモグラフィ検診施設、日本脳神経外科学会認定研修施設
 - 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 - 日本外科学会外科専門医制度修練施設
 - 日本眼科学会専門医制度研修施設
 - 日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
 - 日本麻酔科学会麻酔認定病院、日本臨床細胞学会施設

日本皮膚科学会認定専門医研修施設
 日本静脈経腸栄養学会・NST（栄養サポートチーム）稼動施設
 日本医療機能評価機構認定病院、基幹型臨床研修病院
 日本透析医学会教育関連施設、腹部ステントグラフト実施施設
 日本がん治療認定医機構認定研修施設、福井 DMAT 指定病院

3 施設の概要

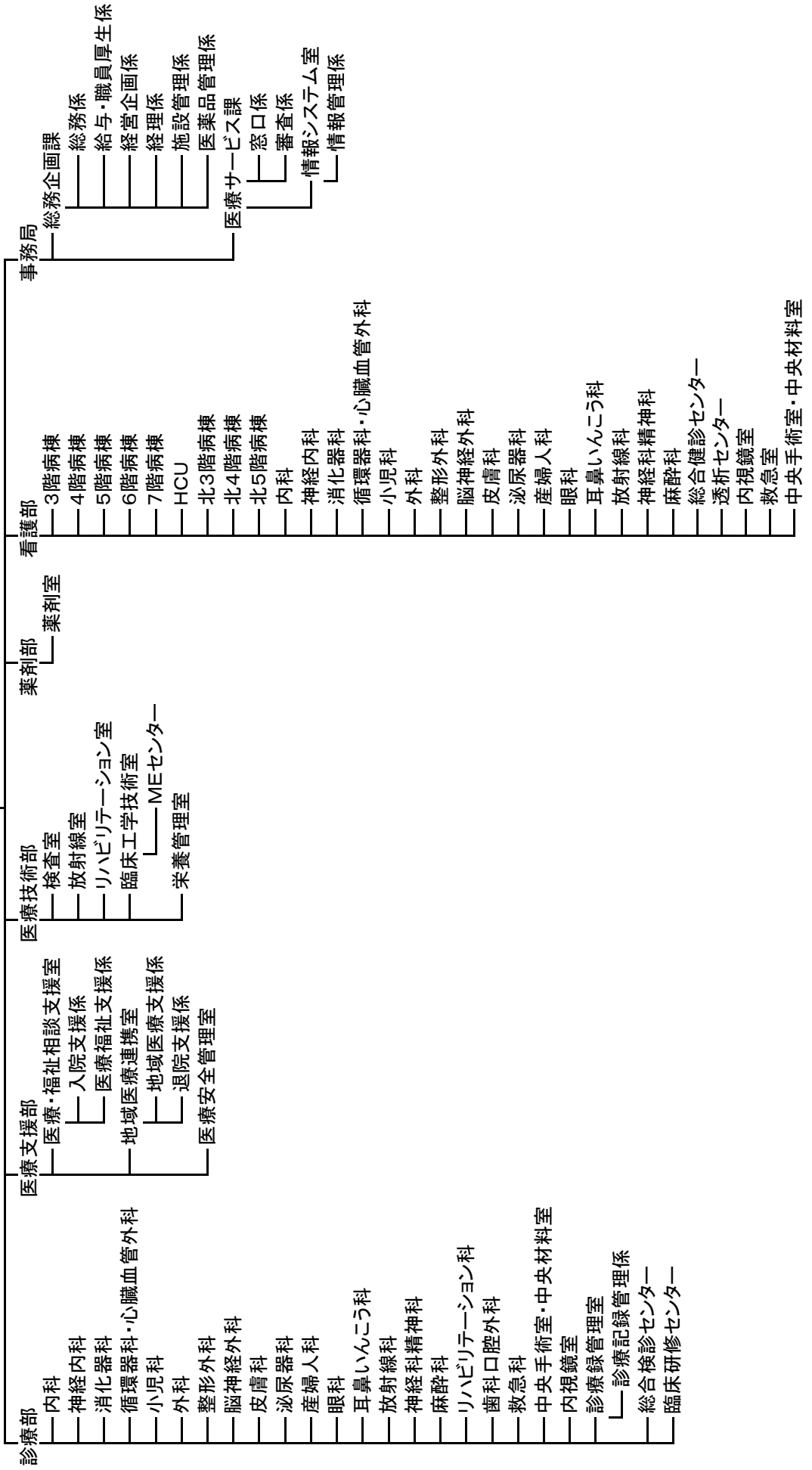
| | |
|-------|--------------------------|
| 敷地面積 | 17,965.18 m ² |
| 建物延面積 | 30,091.96 m ² |
| 本館診療棟 | 12,067.92 m ² |
| 中央診療棟 | 3,223.29 m ² |
| 東診療棟 | 6,486.02 m ² |
| 北診療棟 | 8,314.73 m ² |
| 計 | 30,091.96 m ² |

4 設備の概要

| | |
|-------------------------------|---|
| 受変電 | 設備容量：6,500KVA 契約電力：1,150KW 受電電圧：6,600V（2系統受電） |
| 非常用電源設備 無停電電源装置 太陽光発電設備 | 発電機容量：625KVA×2・200KVA×1 50KVA×4 太陽電池アレイ×90 最大出力10KW |
| 弱電設備 | 構内電話・コードレス電話設備 インターホン設備 ナースコール設備 電気時計設備 TV共聴設備 |
| 消防設備 | 自動火災報知設備 排煙設備 誘導灯 スプリンクラー設備 非常放送設備 非常通報設備 屋内消火栓設備 |
| 熱源設備 | 炉筒煙管蒸気ボイラー：1.5 t/h 2基 貫流蒸気ボイラー：0.75 t/h 2基 スチームアキュムレーター：30 m ³ 1基 |
| 空調設備 | 吸収式冷温水機 5基（330RT×2・240RT×1・50RT×2） 水冷チラーユニット：1基 エアーハンドリング空調機 ガスエンジンヒートポンプマルチエアコン 電気式ヒートポンプマルチエアコン ファンコイルユニット |
| 給水設備 | 受水槽：SUSパネル55 t×2 SUSパネル25 t×2 高架水槽：SUSパネル16 t×2 SUSパネル7 t×1 雑水高架水槽：SUSパネル13 t×2 SUSパネル7 t×1 |
| 排水設備 給湯設備 浄化槽設備 | 一般排水系統 R1排水系統 特殊排水系統 貯湯槽：SUS4.5 t×2 SUS3.0 t×2 R1処理槽 |
| 医療ガス設備 | 液体酸素設備 圧縮空気供給設備 亜酸化窒素供給設備 窒素供給設備 吸引設備 |
| 昇降機設備 | 寝台用エレベーター：10基 一般エレベーター：2基 ダムウェーター：2基 |
| 搬送設備 | 気送管設備：85φ14ST1系統・15φ4ST1系統 |

5 組織図(平成23年10月1日現在)

院長
副院長
理事



6 職員の現況

年度末現在

| | 平成20年度 | | 平成21年度 | | 平成22年度 | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 合計 | 臨時嘱託再掲 | 合計 | 臨時嘱託再掲 | 合計 | 臨時嘱託再掲 |
| 医 師 | 47 | 8 | 48 | 8 | 51 | 10 |
| 薬 剤 師 | 10 | | 9 | | 10 | |
| 診療放射線技師 | 13 | | 13 | | 13 | |
| 臨床検査技師 | 14 | 3 | 15 | 2 | 14 | |
| 臨床工学技士 | 4 | | 5 | | 6 | |
| 認定心理士 | 1 | 1 | | | | |
| 理学療法士 | 5 | | 6 | | 6 | 1 |
| 作業療法士 | 2 | | 3 | | 3 | |
| マッサージ師 | 2 | | 2 | | 2 | |
| 言語聴覚士 | 1 | | 2 | | 2 | |
| 歯科衛生士 | 5 | 3 | 5 | 3 | 4 | 2 |
| 栄養士 | 5 | 1 | 5 | 1 | 3 | |
| 調理員 | 18 | 4 | 19 | 4 | | |
| 保健師 | 2 | | 2 | | 1 | |
| 助産師 | 10 | | 12 | | 13 | |
| 看護師 | 204 | 2 | 195 | 4 | 207 | 6 |
| 准看護師 | 35 | 6 | 30 | 7 | 20 | 4 |
| 事務職員 | 31 | 10 | 26 | 6 | 26 | 7 |
| 電気技師 | 1 | | 1 | | 1 | |
| 自動車運転手 | 1 | | | | | |
| 電話交換手 | | | | | | |
| その他職員 | 9 | 6 | 14 | 12 | 16 | 14 |
| 合 計 | 420 | 44 | 412 | 47 | 398 | 44 |

7 入院部屋数(平成23年4月1日現在)

| | 本館3階 | | 本館4階 | | 本館5階 | 本館6階 | | 本館7階 | | 北2階 | | 北3階 | | | 北4階 | | 北5階 | 合計 |
|------------|------------|----------|------------|----------|------------|------------|------------|----------|----------|------------|-----------|----------|------------|----------|------------|--|-----|--------------|
| | | ドック | | 亜急性 | | | 亜急性 | 無菌室 | HCU | | 小児入院 | 感染症病床 | | | 亜急性 | | | |
| 特 室 | (1) 1 | | (1) 1 | | | (1) 1 | | | | | | (1) 1 | | (1) 1 | | | | (5) 5 |
| 1人部屋 | (6) 6 | | (5) 5 | | (9) 9 | (5) 5 | (4) 4 | (1) 1 | | (2) 2 | (6) 6 | (2) 2 | (8) 8 | | (6) 6 | | | (60) 60 |
| 重症 1人部屋 | | | | | | | | | (4) 4 | | | (2) 2 | | | | | | (6) 6 |
| 2人部屋 | (2) 1 | | (2) 1 | | (4) 2 | (4) 2 | (2) 1 | | | (2) 1 | | | | | | | | (16) 8 |
| 重症 2人部屋 | (2) 1 | | (2) 1 | | (2) 1 | (2) 1 | | | | | | | (2) 1 | | | | | (12) 6 |
| 3人部屋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | (0) 0 |
| 4人部屋 | (32) 8 | | (24) 6 | (8) 2 | (20) 5 | (20) 5 | (24) 6 | | | (32) 8 | (4) 1 | | (32) 8 | (4) 1 | (24) 6 | | | (228) 57 |
| 5人部屋 | | | | | | | | | | | | | | | (5) 1 | | | (5) 1 |
| 合計 | (43) 17 | (6) 6 | (32) 13 | (8) 2 | (35) 17 | (32) 14 | (34) 13 | (1) 1 | (6) 5 | (37) 13 | (10) 7 | (2) 2 | (43) 18 | (4) 1 | (35) 13 | | | (332) 143 |

上段…病床数()
下段…病室数

8 経営の概要

| 年度 | 収益的収支(単位:千円) | | | 資本的収支(単位:千円) | | | 一般会計繰入金(単位:千円) | | | 医業収支率 比 医業収入 医業費用 | 職員給与 率 職員給与 医業収入 | 年度末 職員数 (臨時嘱 託再掲) | 病床 利用率 | 病床数 |
|----|--------------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|----------------|---------|-----------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------|-----|
| | 収入 | 支出 | 純損益 | 収入 | 支出 | 差引 | 収益勘定 | 資本勘定 | 合計 | | | | | |
| 17 | 5,771,610 | 6,043,377 | △ 271,767 | 1,994,204 | 2,561,175 | △ 566,971 | 881,441 | 118,204 | 999,645 | 78.8 | 70.8 | (40) | 69.6 | 350 |
| 18 | 5,510,073 | 6,236,879 | △ 726,806 | 1,441,334 | 1,502,963 | △ 61,629 | 509,443 | 188,434 | 697,877 | 78.1 | 71.7 | (36) | 79.7 | 296 |
| 19 | 5,929,677 | 6,246,771 | △ 317,094 | 420,949 | 420,949 | 0 | 706,177 | 291,949 | 998,126 | 82.4 | 66.6 | (37) | 78.5 | 332 |
| 20 | 6,538,035 | 6,838,546 | △ 300,511 | 290,460 | 327,360 | △ 36,900 | 745,013 | 290,460 | 1,035,473 | 83.6 | 65.0 | (44) | 83.6 | 332 |
| 21 | 6,620,285 | 6,825,777 | △ 205,492 | 359,693 | 359,693 | 0 | 671,568 | 355,388 | 1,026,956 | 86.0 | 60.6 | (47) | 82.5 | 332 |
| 22 | 7,041,383 | 6,866,295 | 175,088 | 397,185 | 397,185 | 0 | 501,157 | 386,795 | 887,952 | 95.6 | 52.5 | (44) | 86.5 | 332 |

| 分析項目 | 算出 | 単位 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|-----------------|----------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 給与費 | 給与費 医業収益 | % | 70.82 | 71.74 | 66.60 | 64.98 | 60.61 | 52.46 |
| | 薬品費 | % | 18.31 | 15.68 | 15.68 | 15.27 | 15.98 | 17.14 |
| 診療材料費 | 診療材料費 医業収益 | % | 9.44 | 8.33 | 9.62 | 11.50 | 11.95 | 11.36 |
| | 給食材料費 | % | 1.65 | 1.56 | 1.57 | 1.46 | 1.37 | 0.16 |
| 医療消耗品費 | 医療消耗品費 医業収益 | % | 0.40 | 0.25 | 0.06 | 0.05 | 0.01 | 0.04 |
| | 小計 | % | 29.79 | 25.81 | 26.93 | 28.29 | 29.31 | 28.70 |
| 経費 | 経費 医業収益 | % | 20.11 | 21.71 | 20.31 | 20.09 | 20.72 | 22.13 |
| 減価償却費 | 減価償却費 医業収益 | % | 5.49 | 8.01 | 7.10 | 5.68 | 4.97 | 4.20 |
| 資産減耗費 | 資産減耗費 医業収益 | % | 0.27 | 0.37 | 0.00 | 0.03 | 0.03 | 0.03 |
| 研究研修費 | 研究研修費 医業収益 | % | 0.40 | 0.39 | 0.41 | 0.57 | 0.61 | 0.61 |
| 合計 | 医業費用 医業収益 | % | 126.88 | 128.02 | 121.35 | 119.63 | 116.25 | 108.14 |
| 医業収益に対する医業費用の割合 | | | | | | | | |

10 委員会等

| 委員会等 | 所掌する事項 | 構成職種 | 委員長等 | 事務局 | 開催頻度 | 備考 |
|-----------------|---|---------------------------|------|------------------|------|---------------|
| 部長会 | 1 病院運営の基本方針に関すること 2 重要な施策に関すること 3 企画推進に関すること | 全 職 種 | 院 長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 管理運営・診療委員会 | 1 病院管理運営上の基本方針策定及び審議に関すること 2 診療業務の検討及び連絡に関すること | 全 職 種 | 院 長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 医療安全対策委員会 | 医療事故の防止及び対策に関すること | 全 職 種 | 副院長 | 医療安全管理室 | 月1回 | 医療法 施行規則 |
| リスクマネジメント部会 | 1 インシデント事例の原因分析及び予防策の立案に関すること 2 医療安全に関する広報・研修・教育等に関すること | 全 職 種 | 副院長 | 医療安全管理室 | 月1回 | |
| 救急蘇生災害医療部会 | 災害医療及び心肺蘇生法の普及とその意識向上に関すること | 全 職 種 | 医 長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 病棟管理委員会 | 病棟の適正な入院環境の運営に関すること | 医師、看護師 管理栄養士、事務職員 | 副院長 | 医療サービス課 | 月1回 | |
| 院内感染対策委員会 | 1 感染症の院内感染予防対策に関すること 2 MRSA による院内感染予防対策に関すること | 全 職 種 | 科部長 | 総務企画課 | 月1回 | 医療法 施行規則 |
| 患者サービス向上検討委員会 | 外来、入院患者に対する接遇等のサービスの向上に関すること | 全 職 種 | 副院長 | 医療・福祉 相談支援室 | 月1回 | |
| 褥瘡対策委員会 | 1 褥瘡と合併する感染予防の実施、監視及び指導に関すること 2 感染褥瘡源の調査に関すること | 全 職 種 | 科部長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 電子カルテ委員会 | 1 医療情報トータルシステムの整備推進に関すること 2 入院患者のカルテ管理に関すること 3 病歴管理に関すること | 全 職 種 | 科部長 | 医療サービス課 | 月1回 | 診療録管理 体制加算 |
| D P C 準備委員会 | D P C に関すること | 医師、薬剤師、看護師 作業療法士、放射線技師 | 院 長 | 医療サービス課 | 随時 | |
| がん診療連携拠点病院推進委員会 | 1 拠点病院の指定に必要な企画立案に関すること 2 その他拠点病院の指定に関し必要なこと | 医師、薬剤師、看護師 事務職員 | 科部長 | 総務企画課 医療サービス課 | 随時 | |

| 委員会等 | 所掌する事項 | 構成職種 | 委員長等 | 事務局 | 開催頻度 | 備考 |
|-------------|---|--------------------------------|------|----------------|-------|-------------|
| クリティカルパス委員会 | 1 診療の質の適正化に伴う標準的な治療計画の作成に関すること 2 治療計画の説明により、患者の満足度の向上に関すること 3 その他適正な医療プログラム作成に関すること | 医師、看護師、保健師 事務職員 | 副院長 | 総務企画課 | 月 1 回 | |
| 薬事委員会 | 1 新規採用薬品に関すること 2 採用薬品の統合整理に関すること 3 院内で使用した後発薬剤採用に係る調査検討に関すること 4 その他薬事に関すること | 医師、薬剤師、看護師 事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 月 1 回 | |
| 診療材料委員会 | 1 新規採用診療材料に関すること 2 診療材料の統合整理に関すること 3 その他診療材料に関すること | 医師、臨床検査技師 放射線技師、看護師 事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 月 1 回 | |
| 倫理委員会 | 医療職員の高い資質の高揚及び医の倫理に関すること | 医師、看護師、事務職員 | 院長 | 総務企画課 | 随 時 | |
| 栄養管理委員会 | 給食に係るサービス改善等に関すること | 医師、管理栄養士 看護師、事務職員 | 副院長 | 栄養管理室 | 随 時 | |
| 栄養サポート部会 | 栄養サポートに関すること | 全 職 種 | 科部長 | 栄養管理室 | 随 時 | |
| 緩和ケア委員会 | 緩和ケアに関すること | 全 職 種 | 診療部長 | 医療・福祉 相談支援室 | 随 時 | |
| TQM委員会 | 1 病院職員の資質向上に関すること 2 職種間の連携交流に関すること | 全 職 種 | 医 長 | 総務企画課 | 月 1 回 | |
| 治験審査委員会 | 医薬品の臨床試験の実施に関すること | 医師、薬剤師、看護師 事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 随 時 | 薬事法 施行規則 |

| 委員会等 | 所掌する事項 | 構成職種 | 委員長等 | 事務局 | 開催頻度 | 備考 |
|------------------|--|-------------------------------------|------------|---------|-------|------------------|
| 地域医療連携室 運営委員会 | 1 病診連携業務体制の整備に関すること 2 開放型病床設置における業務体制整備に関すること 3 地域医療機関からの要望の対応に関すること | 全 職 種 | 副 院 長 | 地域医療連携室 | 随 時 | |
| HCU運営委員会 | HCUの円滑・適正な管理運営に関すること | 全 職 種 | 医 長 | 総務企画課 | 随 時 | |
| 血液製剤 管理委員会 | 輸血用血液製剤の取扱いに関すること | 全 職 種 | 副 院 長 | 総務企画課 | 随 時 | 輸血管理料 |
| 臨床研修 管理委員会 | 臨床研修プログラムに関すること | 医師、看護師、事務 職員 | 院 長 | 総務企画課 | 随 時 | 厚生労働省令 |
| 図書委員会 | 図書の整備と有効活用に関すること | 医師、臨床検査技師 看護師、事務職員 | 診 療 部 長 | 総務企画課 | 随 時 | |
| 防火対策委員会 | 1 消防計画に関すること 2 その他防火に関すること | 医 師、 看 護 師 臨床検査技師、放射 線技師、事務職員 | 院 長 | 総務企画課 | 随 時 | 市立敦賀病院 防火管理規程 |
| 医療ガス 安全委員会 | 1 医療ガス設備に係る保守点検に関するこ と 2 医療ガスに係る知識の普及と啓発に関す ること | 医師、看護師、薬剤 師、事務職員 | 科 部 長 | 総務企画課 | 年 1 回 | 厚生労働省 通 知 |
| 衛生委員会 | 1 院内衛生上の改善に関すること 2 職員の健康に関すること（健康診断、保 持増進の指導等） | 医師、臨床検査技師 放射線技師、薬剤師 看護師、事務職員 | 事 務 局 長 | 総務企画課 | 月 1 回 | 労 働 安 全 衛 生 法 |
| 透析センター 運営委員会 | 透析業務及び透析センターの管理運営に関す ること | 医師、臨床工学技士 看護師、事務職員 | 医 長 | 総務企画課 | 随 時 | |
| MEセンター 運営委員会 | MEセンター業務及びME機器の効果的な管 理運営に関すること | 医師、臨床工学技士 看護師、事務職員 | 副 院 長 | 総務企画課 | 随 時 | |

| 委員会等 | 所掌する事項 | 構成職種 | 委員長等 | 事務局 | 開催頻度 | 備考 |
|-------------|---|---------------------------|-------|-------|-------|---------------|
| 病院年報編集委員会 | 病院年報の編集に関すること | 医師、臨床検査技師 看護師、事務職員 | 院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 医療機器選定委員会 | 医療機器の選定に関すること | 医師、臨床検査技師 看護師、事務職員 | 院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 化学療法委員会 | 化学療法に関すること | 医師、臨床検査技師 薬剤師、看護師、事務職員 | 診療部長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 検体検査適正化委員会 | 検体検査の適正化に関すること | 医師、臨床検査技師 看護師、事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 随時 | 検体検査管理 加算 |
| 放射線安全委員会 | 放射線障害の防止に関すること | 医師、放射線技師 看護師、事務職員 | 副院長 | 総務企画課 | 随時 | 放射線障害 予防規程 |
| 救急室・外来運営委員会 | 救急室、外来の運営に関すること | 全職種 | 診療部長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 医師負担軽減対策委員会 | 1 勤務医の勤務状況の把握に関すること 2 各業種の役割分担に関すること 3 医師事務作業補助者の配置等に関すること 4 その他勤務医の負担軽減に関すること | 医師、看護師、事務職員 | 副院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 広報委員会 | 1 広報にかかる年次計画の企画立案と情報の発信に関すること 2 病院フェスタの開催、運営に関すること 3 ホームページの充実、更新に関すること | 全職種 | 医 長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 教育研修委員会 | 教育研修に関すること | 全職種 | 副院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 医 局 会 | 1 病院運営上の診療に関すること 2 医療の知識・技術の向上に関すること 3 医師相互の連絡調整に関すること | 医師、薬剤師 | 医 局 長 | 診 療 部 | 月 1 回 | |

(看護部内委員会等)

| 委員会等 | 所掌する事項 | 開催頻度 |
|---|--|-------|
| 師 長 会 | 病院運営下部組織会議としての役割を果たし、看護の質を高め、円滑化を図るための諸問題を協議すること | 月 4 回 |
| 主 任 会 | 看護師長の補佐として、看護職員の指導・教育・業務改善・医療事故防止等の諸問題を協議すること | 月 1 回 |
| 組 織 マ ネ ジ ャ ー 会 | 部署のチーム活動等業務上の改善を協議すること | 月 1 回 |
| セーフティーマネジャー 委 員 会 | インシデントレポートの把握、再発防止啓蒙・教育に関すること | 月 1 回 |
| 教 育 委 員 会 | クリニカルラダー、マネジメントラダー、教育計画・実施に関すること | 月 2 回 |
| 記 録 監 査 委 員 会 | 1 看護記録に関すること 2 看護診断に関すること 3 看護必要度に関すること | 月 2 回 |
| 新 人 研 修 指 導 会 教 育 担 当 者 会 実 地 指 導 者 会 | 新人看護職員研修に関すること | 月 1 回 |
| 実 習 指 導 者 会 | 看護学生の実習指導計画・実施・評価に関すること | 月 2 回 |
| 認 定 看 護 師 看 護 部 会 | 看護の質向上とチーム医療に関すること | 月 1 回 |

Ⅱ 決算概要

1 収益的収入及び支出

収入

単位:千円

| | 20年度 | | 21年度 | | 22年度 | |
|---------------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 病院事業収益 | 6,538,035 | 110.3 | 6,620,286 | 101.3 | 7,041,383 | 106.4 |
| 医業収益 | 5,326,644 | 111.7 | 5,459,514 | 102.5 | 5,951,117 | 109.0 |
| 入院収益 | 3,384,202 | 114.8 | 3,439,546 | 101.6 | 3,831,915 | 111.4 |
| 外来収益 | 1,648,737 | 106.3 | 1,711,723 | 103.8 | 1,788,879 | 104.5 |
| その他医業収益 | 293,705 | 108.2 | 308,245 | 105.0 | 330,323 | 107.2 |
| 医業外収益 | 1,207,894 | 104.5 | 1,157,340 | 95.8 | 1,086,795 | 93.9 |
| 受取利息 | 60 | 75.9 | 13 | 21.7 | 8 | 61.5 |
| 他会計負担金 | 499,705 | 140.8 | 489,391 | 97.9 | 497,686 | 101.7 |
| 補助金 | 382,782 | 97.3 | 405,826 | 106.0 | 484,559 | 119.4 |
| 財産収益 | 7,690 | 106.6 | 7,387 | 96.1 | 7,834 | 106.1 |
| 基金繰入金 | 14,802 | 皆増 | 18,060 | 122.0 | 18,764 | 103.9 |
| 患者外給食収益 | 859 | 115.3 | 422 | 49.1 | 376 | 89.1 |
| その他医業外収益 | 60,185 | 115.3 | 57,496 | 95.5 | 77,568 | 134.9 |
| 他会計補助金 | 241,811 | 69.5 | 178,745 | 73.9 | 0 | 皆減 |
| 寄附金 | 0 | — | 0 | — | 0 | — |
| 附帯事業収益 | 3,497 | 99.8 | 3,432 | 98.1 | 3,471 | 101.1 |
| 他会計負担金 | 3,497 | 99.8 | 3,432 | 98.1 | 3,471 | 101.1 |

支出

単位:千円

| | 20年度 | | 21年度 | | 22年度 | |
|---------------|-----------|-------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 病院事業費用 | 6,838,546 | 109.5 | 6,825,777 | 99.8 | 6,866,295 | 100.6 |
| 医業費用 | 6,372,443 | 110.1 | 6,346,723 | 99.6 | 6,435,410 | 101.4 |
| 給与費 | 3,461,061 | 108.9 | 3,308,937 | 95.6 | 3,121,924 | 94.3 |
| 給料 | 1,311,222 | 99.7 | 1,223,644 | 93.3 | 1,176,263 | 96.1 |
| 手当等 | 1,174,561 | 105.9 | 1,107,123 | 94.3 | 1,064,777 | 96.2 |
| 賃金 | 330,435 | 120.6 | 342,617 | 103.7 | 371,794 | 108.5 |
| 法定福利費 | 371,155 | 101.4 | 408,220 | 110.0 | 404,971 | 99.2 |
| 退職給与費 | 273,688 | 242.4 | 227,333 | 83.1 | 104,119 | 45.8 |
| 材料費 | 1,506,759 | 117.3 | 1,600,641 | 106.2 | 1,708,474 | 106.7 |
| 薬品費 | 813,524 | 108.8 | 872,441 | 107.2 | 1,019,920 | 116.9 |
| 診療材料費 | 612,775 | 133.5 | 652,582 | 106.5 | 676,144 | 103.6 |
| 給食材料費 | 78,032 | 104.1 | 74,875 | 96.0 | 9,744 | 13.0 |
| 医療消耗備品費 | 2,428 | 88.9 | 743 | 30.6 | 2,666 | 358.8 |
| 経費 | 1,070,040 | 110.5 | 1,131,221 | 105.7 | 1,317,009 | 116.4 |
| 厚生福利費 | 2,775 | 98.2 | 2,737 | 98.6 | 2,675 | 97.7 |
| 報償費 | 15 | 3.5 | 259 | 1726.7 | 6 | 2.3 |
| 旅費 | 9,106 | 91.3 | 8,081 | 88.7 | 8,554 | 105.9 |
| 職員被服費 | 940 | 76.9 | 988 | 105.1 | 763 | 77.2 |
| 消耗品費 | 37,355 | 125.4 | 33,618 | 90.0 | 29,109 | 86.6 |
| 消耗備品費 | 3,388 | 908.3 | 557 | 16.4 | 677 | 121.5 |
| 光熱水費 | 86,988 | 108.4 | 83,722 | 96.2 | 81,190 | 97.0 |
| 燃料費 | 60,030 | 116.0 | 43,612 | 72.7 | 51,576 | 118.3 |
| 食糧費 | 159 | 51.3 | 9 | 5.7 | 103 | 1144.4 |
| 印刷製本費 | 4,805 | 94.8 | 2,522 | 52.5 | 1,928 | 76.4 |

単位：千円

| | 20年度 | | 21年度 | | 22年度 | |
|-------------|---------|---------|---------|-------|---------|-------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 修繕費 | 82,505 | 187.1 | 65,170 | 79.0 | 66,198 | 101.6 |
| 保険料 | 13,071 | 120.3 | 21,231 | 162.4 | 20,266 | 95.5 |
| 賃借料 | 278,905 | 103.2 | 344,607 | 123.6 | 379,145 | 110.0 |
| 通信運搬費 | 7,966 | 104.6 | 8,044 | 101.0 | 7,691 | 95.6 |
| 委託料 | 473,624 | 106.1 | 509,662 | 107.6 | 659,176 | 129.3 |
| 交際費 | 29 | 皆増 | 48 | 165.5 | 33 | 68.8 |
| 公課費 | 84 | 142.4 | 59 | 70.2 | 38 | 64.4 |
| 諸会費 | 1,247 | 102.4 | 1,229 | 98.6 | 1,220 | 99.3 |
| 雑費 | 7,048 | 113.5 | 5,066 | 71.9 | 6,661 | 131.5 |
| 減価償却費 | 302,504 | 89.3 | 271,150 | 89.6 | 249,672 | 92.1 |
| 建物減価償却費 | 207,142 | 99.9 | 204,784 | 98.9 | 202,702 | 99.0 |
| 構築物減価償却費 | 2,724 | 95.4 | 2,724 | 100.0 | 2,609 | 95.8 |
| 器械備品減価償却費 | 91,988 | 72.1 | 63,498 | 69.0 | 44,361 | 69.9 |
| 車両減価償却費 | 650 | 80.3 | 144 | 22.2 | 0 | 皆減 |
| 無形固定資産減価償却費 | 0 | — | 0 | — | 0 | — |
| 資産減耗費 | 1,539 | 1508.8 | 1,444 | 93.8 | 1,842 | 127.6 |
| 固定資産除却費 | 1,539 | 1508.8 | 1,444 | 93.8 | 1,842 | 127.6 |
| 研究研修費 | 30,540 | 157.6 | 33,330 | 109.1 | 36,489 | 109.5 |
| 謝金 | 3,865 | 98.0 | 2,369 | 61.3 | 1,865 | 78.7 |
| 図書費 | 4,511 | 87.4 | 4,549 | 100.8 | 6,440 | 141.6 |
| 旅費 | 7,497 | 151.3 | 10,050 | 134.1 | 11,293 | 112.4 |
| 消耗品費 | 5,320 | 35466.7 | 7,979 | 150.0 | 8,748 | 109.6 |
| 消耗備品費 | 3,783 | 289.9 | 2,717 | 71.8 | 633 | 23.3 |
| 印刷製本費 | 118 | 18.2 | 118 | 100.0 | 112 | 94.9 |
| 委託料 | 0 | 皆減 | 0 | — | 1,307 | 皆増 |
| 負担金 | 4,594 | 172.1 | 5,378 | 117.1 | 5,941 | 110.5 |
| 雑費 | 852 | 405.7 | 170 | 20.0 | 150 | 88.2 |
| 医業外費用 | 454,699 | 101.8 | 453,791 | 99.8 | 414,436 | 91.3 |
| 支払利息 | 205,984 | 93.1 | 195,283 | 94.8 | 183,629 | 94.0 |
| 企業債利息 | 205,349 | 96.0 | 195,020 | 95.0 | 183,512 | 94.1 |
| 一時借入金利息 | 635 | 8.5 | 263 | 41.4 | 117 | 44.5 |
| 繰延勘定償却 | 123,792 | 123.1 | 119,248 | 96.3 | 84,761 | 71.1 |
| 患者外給食材料費 | 494 | 125.4 | 311 | 63.0 | 386 | 124.1 |
| 基金積立金 | 285 | 61.3 | 223 | 78.2 | 160 | 71.7 |
| 雑支出 | 124,144 | 114.9 | 131,526 | 105.9 | 145,443 | 110.6 |
| 賠償金 | 0 | 皆減 | 7,200 | 皆増 | 57 | 0.8 |
| 特別損失 | 8,219 | 97.6 | 22,185 | 269.9 | 13,344 | 60.1 |
| 過年度損益修正損 | 8,219 | 97.6 | 22,185 | 269.9 | 13,344 | 60.1 |
| 附帯事業費用 | 3,185 | 95.5 | 3,078 | 96.6 | 3,105 | 100.9 |
| 看護学校実習病院経費 | 3,185 | 95.5 | 3,078 | 96.6 | 3,105 | 100.9 |
| 旅費 | 305 | 63.1 | 353 | 115.7 | 155 | 43.9 |
| 消耗品費 | 1,557 | 100.6 | 1,588 | 102.0 | 1,561 | 98.3 |
| 消耗備品費 | 559 | 74.9 | 588 | 105.2 | 380 | 64.6 |
| 印刷製本費 | 0 | — | 0 | — | 364 | 皆増 |
| 賃借料 | 0 | 皆減 | 0 | — | 0 | — |
| 図書費 | 619 | 168.7 | 446 | 72.1 | 618 | 138.6 |
| 負担金 | 145 | 201.4 | 103 | 71.0 | 27 | 26.2 |

2 資本的收入及び支出

単位：千円

| | 20年度 | | 21年度 | | 22年度 | |
|--------------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 資本的收入 | 290,460 | 69.0 | 359,693 | 123.8 | 397,185 | 110.4 |
| 一般会計繰入金 | 290,460 | 99.5 | 355,388 | 122.4 | 386,795 | 108.8 |
| 企業債 | 0 | 皆減 | 0 | — | 0 | — |
| 寄附金 | 0 | — | 0 | — | 0 | — |
| 基金繰入金 | 0 | — | 0 | — | 0 | — |
| 国・県補助金 | 0 | — | 4,305 | 皆増 | 10,390 | 241.3 |
| 資本の支出 | 327,360 | 77.8 | 359,693 | 109.9 | 397,185 | 110.4 |
| 企業債償還金 | 300,312 | 102.9 | 338,179 | 112.6 | 386,795 | 114.4 |
| 退職給与費 | 0 | 皆減 | 0 | — | 0 | — |
| 病院増改築費 | 27,048 | 皆増 | 0 | 皆減 | 0 | — |
| 建物整備費 | 0 | — | 17,209 | 皆増 | 0 | 皆減 |
| 資産購入費 | 0 | — | 4,305 | 皆増 | 10,390 | 241.3 |
| 駐車場整備事業費 | 0 | — | 0 | — | 0 | — |

3 貸借対照表

単位：千円

| | 20年度 | | 21年度 | | 22年度 | |
|-------------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 固定資産 | 14,692,970 | 98.1 | 14,440,866 | 98.3 | 14,200,676 | 98.3 |
| 有形固定資産 | 14,692,970 | 98.1 | 14,440,866 | 98.3 | 14,200,676 | 98.3 |
| 土地 | 665,676 | 100.0 | 665,676 | 100.0 | 665,676 | 100.0 |
| 建物 | 13,089,934 | 100.2 | 13,106,324 | 100.1 | 13,106,324 | 100.0 |
| 建物減価償却累計額 | △ 1,668,706 | 114.2 | △ 1,873,490 | 112.3 | △ 2,076,192 | 110.8 |
| 構築物 | 141,621 | 100.0 | 141,621 | 100.0 | 141,621 | 100.0 |
| 構築物減価償却累計額 | △ 53,455 | 105.4 | △ 56,179 | 105.1 | △ 58,788 | 104.6 |
| 器械備品 | 4,665,418 | 99.3 | 4,640,632 | 99.5 | 4,623,009 | 99.6 |
| 器械備品減価償却累計額 | △ 2,148,447 | 103.0 | △ 2,184,502 | 101.7 | △ 2,201,363 | 100.8 |
| 車両 | 14,548 | 100.0 | 14,548 | 100.0 | 6,648 | 45.7 |
| 車両減価償却累計額 | △ 13,619 | 105.0 | △ 13,764 | 101.1 | △ 6,259 | 45.5 |
| 建設仮勘定 | 0 | — | 0 | — | 0 | — |
| 流動資産 | 1,892,877 | 101.2 | 2,001,639 | 105.7 | 2,219,137 | 110.9 |
| 現金預金 | 309,639 | 75.4 | 358,842 | 115.9 | 465,592 | 129.7 |
| 未収金 | 1,564,401 | 108.6 | 1,619,109 | 103.5 | 1,729,664 | 106.8 |
| 貯蔵品 | 18,837 | 98.7 | 23,688 | 125.8 | 23,881 | 100.8 |
| 繰延勘定 | 296,407 | 70.7 | 178,136 | 60.1 | 93,848 | 52.7 |
| 資産合計 | 16,882,254 | 97.8 | 16,620,641 | 98.5 | 16,513,661 | 99.4 |
| 固定負債 | 1,126,682 | 95.3 | 1,066,959 | 94.7 | 1,006,013 | 94.3 |
| 企業債 | 240,465 | 85.3 | 198,579 | 82.6 | 156,236 | 78.7 |
| 他会計借入金 | 700,000 | 100 | 700,000 | 100.0 | 700,000 | 100.0 |
| 引当金 | 186,217 | 92.8 | 168,380 | 90.4 | 149,777 | 89.0 |
| 流動負債 | 954,130 | 94.7 | 894,741 | 93.8 | 619,917 | 69.3 |
| 一時借入金 | 350,000 | 70.0 | 300,000 | 85.7 | 0 | 0.0 |
| 未払金 | 582,908 | 119.6 | 573,794 | 98.4 | 599,218 | 104.4 |
| その他流動負債 | 21,222 | 106.1 | 20,947 | 98.7 | 20,699 | 98.8 |
| 資本金 | 9,332,692 | 97.7 | 9,036,400 | 96.8 | 8,691,948 | 96.2 |
| 自己資本金 | 2,433,060 | 101.5 | 2,433,060 | 100.0 | 2,433,060 | 100.0 |
| 借入資本金 | 6,899,632 | 96.4 | 6,603,340 | 95.7 | 6,258,888 | 94.8 |
| 剰余金 | 7,058,486 | 103.7 | 7,417,769 | 105.1 | 7,815,923 | 105.4 |
| 資本剰余金 | 7,058,486 | 104.3 | 7,417,769 | 105.1 | 7,815,923 | 105.4 |
| 減債積立金 | 0 | 0.0 | 0 | — | 0 | — |
| 建設改良積立金 | 0 | 0.0 | 0 | — | 0 | — |
| 欠損金 | △ 1,589,736 | 123.3 | △ 1,795,228 | 112.9 | △ 1,620,140 | 90.2 |
| 当年度未処理欠損金 | △ 1,589,736 | 123.3 | △ 1,795,228 | 112.9 | △ 1,620,140 | 90.2 |
| 負債・資本合計 | 16,882,254 | 97.8 | 16,620,641 | 98.5 | 16,513,661 | 99.4 |

4 診療行為別診療収入の状況

単位：千円

| | 平成20年度 | | | 平成21年度 | | | 平成22年度 | | |
|-------------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 |
| 入院 | | | | | | | | | |
| 基本診療料 | 1,742,103 | 51.5 | 108.7 | 1,746,901 | 50.8 | 100.3 | 2,021,324 | 52.7 | 115.7 |
| 検査料 | 207,455 | 6.1 | 112.5 | 210,280 | 6.1 | 101.4 | 212,318 | 5.5 | 101.0 |
| 画像診断 | 143,753 | 4.2 | 111.5 | 144,378 | 4.2 | 100.4 | 155,027 | 4.0 | 107.4 |
| 投薬 | 86,981 | 2.6 | 99.7 | 90,271 | 2.6 | 103.8 | 103,733 | 2.7 | 114.9 |
| 注射 | 277,218 | 8.2 | 112.5 | 278,775 | 8.1 | 100.6 | 299,171 | 7.8 | 107.3 |
| 理学療法 | 90,202 | 2.7 | 137.9 | 91,179 | 2.7 | 101.1 | 109,267 | 2.9 | 119.8 |
| 処置 | 160,317 | 4.7 | 120.6 | 150,725 | 4.4 | 94.0 | 143,395 | 3.7 | 95.1 |
| 手術 | 591,112 | 17.5 | 133.9 | 636,739 | 18.5 | 107.7 | 692,508 | 18.1 | 108.8 |
| 麻酔 | 85,062 | 2.5 | 146.0 | 90,297 | 2.6 | 106.2 | 95,172 | 2.5 | 105.4 |
| 合計 | 3,384,202 | 100.0 | 114.8 | 3,439,545 | 100.0 | 101.6 | 3,831,915 | 100.0 | 111.4 |
| 患者1人当り収入(円) | 33,387 | — | 108.1 | 34,406 | — | 103.1 | 36,578 | — | 106.3 |
| 外来 | | | | | | | | | |
| 基本診療料 | 288,083 | 17.5 | 107.2 | 278,066 | 16.2 | 96.5 | 289,020 | 16.2 | 103.9 |
| 検査料 | 408,802 | 24.8 | 110.5 | 434,089 | 25.4 | 106.2 | 437,677 | 24.5 | 100.8 |
| 画像診断 | 269,605 | 16.4 | 113.3 | 296,762 | 17.3 | 110.1 | 278,750 | 15.6 | 93.9 |
| 投薬 | 24,426 | 1.5 | 121.6 | 26,390 | 1.5 | 108.0 | 18,984 | 1.1 | 71.9 |
| 注射 | 208,455 | 12.6 | 103.3 | 244,234 | 14.3 | 117.2 | 288,312 | 16.1 | 118.0 |
| 理学療法 | 9,329 | 0.6 | 138.1 | 16,192 | 0.9 | 173.6 | 24,111 | 1.3 | 148.9 |
| 処置 | 311,163 | 18.9 | 99.5 | 320,364 | 18.7 | 103.0 | 353,244 | 19.7 | 110.3 |
| 手術 | 32,973 | 2.0 | 102.8 | 29,429 | 1.7 | 89.3 | 30,463 | 1.7 | 103.5 |
| 麻酔 | 8,141 | 0.5 | 77.2 | 7,062 | 0.4 | 86.7 | 5,804 | 0.3 | 82.2 |
| 精神療法 | 26,563 | 1.6 | 97.1 | 3,900 | 0.2 | 14.7 | 3,951 | 0.2 | 101.3 |
| 処方せん料 | 61,197 | 3.7 | 96.9 | 55,235 | 3.2 | 90.3 | 58,563 | 3.3 | 106.0 |
| 合計 | 1,648,737 | 100.0 | 106.3 | 1,711,723 | 100.0 | 103.8 | 1,788,879 | 100.0 | 104.5 |
| 患者1人当り収入(円) | 9,084 | — | 108.2 | 9,920 | — | 109.2 | 10,128 | — | 102.1 |

5 診療科別診療収入の状況

(1) 入院・外来合計

単位：千円

| 区分 | 平成20年度 | | 平成21年度 | | 平成22年度 | |
|------------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 内科(*1) | 1,372,728 | 27.3 | 1,376,512 | 26.7 | 1,547,212 | 27.5 |
| 神経内科(*2) | 25,842 | 0.5 | 11,680 | 0.2 | 13,131 | 0.2 |
| 消化器科(*3) | 275,322 | 5.5 | 338,388 | 6.6 | 380,763 | 6.8 |
| 循環器科(*3) | 486,082 | 9.7 | 563,822 | 10.9 | 501,180 | 8.9 |
| 小児科 | 180,022 | 3.6 | 201,798 | 3.9 | 212,222 | 3.8 |
| 外科 | 703,066 | 14.0 | 648,389 | 12.6 | 754,213 | 13.4 |
| 整形外科 | 708,968 | 14.1 | 772,308 | 15.0 | 830,699 | 14.8 |
| 脳神経外科 | 368,522 | 7.3 | 355,937 | 6.9 | 415,023 | 7.4 |
| 皮膚科 | 53,976 | 1.1 | 81,299 | 1.6 | 80,374 | 1.4 |
| 泌尿器科 | 296,020 | 5.9 | 321,302 | 6.2 | 353,021 | 6.3 |
| 産婦人科 | 306,580 | 6.1 | 284,498 | 5.5 | 316,879 | 5.6 |
| 眼科 | 74,746 | 1.5 | 67,414 | 1.3 | 67,546 | 1.2 |
| 耳鼻いんこう科 | 53,558 | 1.1 | 35,125 | 0.7 | 46,825 | 0.8 |
| 放射線科 | 15,414 | 0.3 | 14,402 | 0.3 | 16,094 | 0.3 |
| 神経科精神科 | 39,330 | 0.8 | 6,035 | 0.1 | 6,287 | 0.1 |
| 麻酔科 | 5,418 | 0.1 | 5,665 | 0.1 | 5,147 | 0.1 |
| リハビリテーション科 | 11,210 | 0.2 | 16,738 | 0.3 | 22,065 | 0.4 |
| 歯科口腔外科 | 56,135 | 1.1 | 49,957 | 1.0 | 52,113 | 0.9 |
| 合計 | 5,032,939 | 100.0 | 5,151,269 | 100.0 | 5,620,794 | 100.0 |

(*1)は、血液浄化を含む (*2)は、非常勤医師 (*3)は、一般内科(呼吸器内科、血液内科、糖尿病)を含む

(2)入院

単位:千円

| 区分 | 平成20年度 | | | 平成21年度 | | | 平成22年度 | | |
|------------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 |
| 内科(*1) | 794,053 | 23.5 | 136.7 | 755,907 | 22.0 | 95.2 | 873,200 | 22.8 | 115.5 |
| 神経内科(*2) | 12,421 | 0.4 | 89.0 | 2,469 | 0.1 | 19.9 | 2,466 | 0.1 | 99.9 |
| 消化器科(*3) | 191,769 | 5.7 | 113.7 | 236,349 | 6.9 | 123.2 | 281,115 | 7.3 | 118.9 |
| 循環器科(*3) | 327,462 | 9.7 | 91.9 | 389,644 | 11.3 | 119.0 | 387,178 | 10.1 | 99.4 |
| 小児科 | 113,361 | 3.3 | 131.2 | 117,753 | 3.4 | 103.9 | 115,055 | 3.0 | 97.7 |
| 外科 | 561,482 | 16.6 | 100.0 | 501,388 | 14.6 | 89.3 | 594,604 | 15.5 | 118.6 |
| 整形外科 | 567,464 | 16.8 | 150.9 | 628,987 | 18.3 | 110.8 | 664,188 | 17.3 | 105.6 |
| 脳神経外科 | 308,060 | 9.1 | 117.1 | 300,471 | 8.7 | 97.5 | 356,611 | 9.3 | 118.7 |
| 皮膚科 | 21,108 | 0.6 | 55.7 | 39,757 | 1.2 | 188.4 | 36,974 | 1.0 | 93.0 |
| 泌尿器科 | 154,111 | 4.6 | 92.8 | 172,502 | 5.0 | 111.9 | 188,907 | 4.9 | 109.5 |
| 産婦人科 | 256,068 | 7.6 | 108.3 | 240,914 | 7.0 | 94.1 | 268,853 | 7.0 | 111.6 |
| 眼科 | 31,898 | 0.9 | 157.9 | 26,620 | 0.8 | 83.5 | 27,329 | 0.7 | 102.7 |
| 耳鼻いんこう科 | 31,495 | 0.9 | 162.7 | 15,205 | 0.4 | 48.3 | 26,258 | 0.7 | 172.7 |
| 放射線科 | | | | | | | | | |
| 神経科精神科 | | | | | | | | | |
| 麻酔科 | 1,731 | 0.1 | 11.2 | 1,313 | 0.0 | 75.9 | 1,155 | 0.0 | 88.0 |
| リハビリテーション科 | | | | | | | | | |
| 歯科口腔外科 | 11,719 | 0.3 | 26.0 | 10,267 | 0.3 | 87.6 | 8,022 | 0.2 | 78.1 |
| 合計 | 3,384,202 | 100.0 | 114.8 | 3,439,546 | 100.0 | 101.6 | 3,831,915 | 100.0 | 111.4 |

(*1)は、血液浄化を含む (*2)は、非常勤医師 (*3)は、一般内科(呼吸器内科、血液内科、糖尿病)を含む

(3) 外来

単位：千円

| 区分 | 平成20年度 | | | 平成21年度 | | | 平成22年度 | | |
|------------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 |
| 内科(*1) | 578,675 | 35.1 | 106.6 | 620,605 | 36.3 | 107.2 | 674,012 | 37.7 | 108.6 |
| 神経内科(*2) | 13,421 | 0.8 | 97.5 | 9,211 | 0.5 | 68.6 | 10,665 | 0.6 | 115.8 |
| 消化器科(*3) | 83,553 | 5.1 | 120.2 | 102,039 | 6.0 | 122.1 | 99,648 | 5.6 | 97.7 |
| 循環器科(*3) | 158,620 | 9.6 | 120.6 | 174,178 | 10.2 | 109.8 | 114,002 | 6.4 | 65.5 |
| 小児科 | 66,661 | 4.0 | 119.4 | 84,045 | 4.9 | 126.1 | 97,167 | 5.4 | 115.6 |
| 外科 | 141,584 | 8.6 | 103.6 | 147,001 | 8.6 | 103.8 | 159,609 | 8.9 | 108.6 |
| 整形外科 | 141,504 | 8.6 | 103.5 | 143,321 | 8.4 | 101.3 | 166,511 | 9.3 | 116.2 |
| 脳神経外科 | 60,462 | 3.7 | 94.3 | 55,466 | 3.2 | 91.7 | 58,412 | 3.3 | 105.3 |
| 皮膚科 | 32,868 | 2.0 | 96.8 | 41,542 | 2.4 | 126.4 | 43,400 | 2.4 | 104.5 |
| 泌尿器科 | 141,909 | 8.6 | 96.6 | 148,800 | 8.7 | 104.9 | 164,114 | 9.2 | 110.3 |
| 産婦人科 | 50,512 | 3.1 | 106.8 | 43,584 | 2.5 | 86.3 | 48,026 | 2.7 | 110.2 |
| 眼科 | 42,848 | 2.6 | 119.0 | 40,794 | 2.4 | 95.2 | 40,217 | 2.2 | 98.6 |
| 耳鼻いんこう科 | 22,063 | 1.3 | 109.5 | 19,920 | 1.2 | 90.3 | 20,567 | 1.1 | 103.2 |
| 放射線科 | 15,414 | 0.9 | 116.2 | 14,402 | 0.8 | 93.4 | 16,094 | 0.9 | 111.7 |
| 神経科精神科 | 39,330 | 2.4 | 95.5 | 6,035 | 0.4 | 15.3 | 6,287 | 0.4 | 104.2 |
| 麻酔科 | 3,687 | 0.2 | 48.7 | 4,352 | 0.3 | 118.0 | 3,992 | 0.2 | 91.7 |
| リハビリテーション科 | 11,210 | 0.7 | 134.9 | 16,738 | 1.0 | 149.3 | 22,065 | 1.2 | 131.8 |
| 歯科口腔外科 | 44,416 | 2.7 | 98.1 | 39,690 | 2.3 | 89.4 | 44,091 | 2.5 | 111.1 |
| 合計 | 1,648,737 | 100.0 | 106.3 | 1,711,723 | 100.0 | 103.8 | 1,788,879 | 100.0 | 104.5 |

(*1)は、血液浄化を含む

(*2)は、非常勤医師

(*3)は、一般内科(呼吸器内科、血液内科、糖尿病)を含む

Ⅲ 各部署の活動状況

1 診療部

(1) 診療各科

1 平成 22 年度活動及び評価

- ① DPC の導入に向けてクリティカルパスの導入や採用医薬品の見直しが進んだ。
- ② 職員の研修等により新たな管理料の基準を満たせるようになり、増収に繋がった。
- ③ 年度途中ではあったが、週 1 回救急医が日中の救急外来を診るようになり、平成 23 年度からの平日の救急医による診療の準備ができた。
- ④ 平日夜間に当直医が手術や患者搬送等で当直の継続が困難となった場合の代理が決められた。
- ⑤ 外来化学療法の専任看護師が年度途中から着任し、医師への周知も進み外来化学療法の件数も増えた。
- ⑥ 市民公開講座を当院医師の講演で開催し、市民が健康づくりについて考えるきっかけづくりができた。

2 平成 23 年度目標

- ① DPC が導入されたが、診療の質を落とす事無く、かつ増収にも繋がるように、診療の標準化を一層進める。
- ② 5 月から平日の日中に救急医 2 人による救急外来の診療が始まり充実してきたが、深夜から早朝にかけての救急診療についてはほぼ 1 人体制であり、改善を検討したい。
- ③ 福島県の原因事故を受け、今回赴任した救急専門医による指導も受けながら救急被ばく医療の補助ができるよう他の医師も巻き込んで当院の体制を整える。
- ④ 緩和ケアについて医師会と連携し、在宅での看取りの充実を図りたい。

2 医療支援部

(1) 医療・福祉相談支援室

1 平成 22 年度活動及び評価

- ① 入院案内窓口を 8 月に開設し、入院説明 (918 件) 及び案内業務 (1,072 件) の充実を図った。
- ② 各科外来調査等により、予約入院患者のリスト漏れがないように把握強化に努めた。
- ③ 病院ボランティアとの協力体制を確立した。

2 平成 23 年度目標

入院説明等業務の拡充を図っていく。

(2) 地域医療連携室

1 平成 22 年度の活動

- ① 地域医療機関 (開業医等) との連携を促進した。
 - ・ 紹介患者の円滑な受入れ

- ・ 医師会との意見交換会の実施
- ・ 各種研修会、出前講座の開催

| 実施日 | 演題名等 | 所属・役職名 | 参加者 |
|--|---|-----------------------------------|------|
| 8月4日 | 地域公開医療講座 「褥瘡に影響する体圧とズレ」 | 市立敦賀病院 皮膚科部長 看護部皮膚排泄ケア認定看護師 | 111名 |
| 9月27日 | 地域公開医療講座 「糖尿病を持つ人への療養生活支援」 | 市立敦賀病院 看護部糖尿病認定看護師 | 52名 |
| 11月25日 | 地域公開医療講座 「これで解決！インスリン療法～低血糖の 対処法からトラブルシューティングまで～」 | 市立敦賀病院 看護部糖尿病認定看護師 | 50名 |
| 2月28日 | 地域医療連携カンファレンス 「肺癌検診肺癌発見例症例検討」 | 市立敦賀病院診療部長 | 10名 |
| 3月2日 | 地域医療連携カンファレンス 「心臓リハビリテーションについて」 | 市立敦賀病院循環器科医長 | 12名 |
| 2月18日 2月25日 3月2日 3月10日 3月18日 | 出前講座 「市立敦賀病院と地域医療の現状報告」 | 市立敦賀病院地域医療連携室職員 | 100名 |

- ・ 連携取組の周知

見やすく、分かりやすい広報紙「きらめき」、パンフレット「かかりつけ医ガイド」を作成した。

- ② 紹介及び逆紹介率の向上に取り組んだ。
- ③ 開放型病床の利用促進を図った。
- ④ 退院支援等の促進のため、相談業務の充実を図った。

2 平成22年度の評価

上記の活動を行い、下記の結果となった。

| | | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 増減 |
|-------------|-------|--------|--------|--------|-------|
| ② 関 係 | 紹介率 | 28.7% | 25.7% | 29.0% | 3.3% |
| | 逆紹介率 | 30.3% | 32.1% | 32.0% | △0.1% |
| ③ 関 係 | 利用延人数 | 871人 | 721人 | 554人 | △167人 |
| | 利用率 | 47.7% | 39.5% | 30.3% | △9.2% |
| ④ 関 係 | 相談実人数 | 2,601人 | 2,205人 | 2,343人 | 138人 |
| | 相談延件数 | 5,895件 | 5,916件 | 5,483件 | △433件 |

3 平成 23 年度目標

- ① 地域医療機関との連携強化
(紹介率 35%、逆紹介率 40%、開放型病床利用率 40%)
- ② 退院支援の強化
退院困難患者を入院時より抽出し、早期に支援を開始する。
(長期入院患者 月平均 40 人以内)

(3) 医療安全管理室

1 平成 22 年度活動

「全職員に医療安全活動の更なる推進」を目標に掲げ、下記の活動を行った。

① 講習会等の実施

| 実施日 | 演題名等 | 所属・役職名等 | 参加者 |
|-----------|---|--------------------------------------|-------|
| 5 月 20 日 | Ai は医療に何をもちたすか ～医療安全の視点から～ | 三重大学医学部附属病院 医療安全・感染管理部 准教授 | 160 名 |
| 6 月 18 日 | 転倒・転落事故を防ぐ為に | 福井大学医学部附属病院 メディカルサプライセンター 看護師長 | 134 名 |
| 6 月 24 日 | 医薬品安全研修会 「輸液器具と薬剤」 | テルモ株式会社福井県プライド | 54 名 |
| 9 月 9 日 | 院内医療事故調査のあり方を事例から 学ぶ | 南山大学法科大学院教授 弁護士 | 127 名 |
| 11 月 12 日 | 医療安全に関わる取組の発表 | 各部署職員 | 128 名 |
| 2 月 14 日 | 医薬品安全研修会 第 1 部「ハイリスク薬について」 第 2 部「コミュニケーションツールとし ての SBAR」 | 第 1 部：市立敦賀病院薬剤室長 第 2 部：第一三共株式会社 | 83 名 |
| 3 月 11 日 | 医療安全に関わる取組の発表 | 各部署職員 | 131 名 |

② 6 月を転倒転落防止月間と定めた

当院で発生した転倒死亡事例を踏まえ、職員の医療安全意識の醸成と患者・家族への哀悼の意を表して講演会を実施。

③ アクシデントレポート事例集発刊

2 平成 22 年度評価

医療安全大会・講演会の開催、インシデント・アクシデントレポートの共有及び他職種を交えて RCA の実施をすることで、職員が一丸となって医療安全活動に取り組む風土が出来つつある。

3 平成 23 年度目標

- ① 医療安全活動を通して医療の質の向上を図る。
 - ・ インシデントレポート管理システム収集・分析結果を周知し、対策実施の向上を図る。

- ・ リスクマネジメント部会活動の体制強化を図る。

3 医療技術部

(1) 検査室

1 平成 22 年度活動

① 看護業務支援及び患者サービスの向上

- ・ 耳鼻いんこう科における聴力検査を看護師に代わり専門の検査技師が実施した。
- ・ 人間ドックの患者の聴力検査・視力検査を検査室で実施し、患者の待ち時間・移動距離の短縮に努めた。
- ・ 病棟翌日採血用採血管を袋詰めした後、検査室より各病棟に配達した。
- ・ 午後から生理検査終了後の患者を検査技師が病棟まで送り届けた。
- ・ 午後から輸血用血液製剤を配達した。

② 検査の質の向上

- ・ 各種認定資格の取得を目指した。
認定超音波検査士（循環器領域）試験 合格 河野 裕樹
- ・ 積極的に学会発表に取り組んだ。
日本超音波医学会第 30 回中部地方会（平成 22 年 9 月 12 日）
「経胸壁心エコー図検査により診断された大動脈四尖弁の 1 例」
河野 裕樹

③ 経費の削減

- ・ 各病棟、救急室に設置の心電計 10 台を検査技師が保守・点検・記録紙交換することで、8 種類の記録紙を 3 種類に削減し、不良在庫を削減できた。
- ・ 検査試薬の見直しを行い、更なるコスト削減に努めた。

2 平成 22 年度評価

当初の目標に従い、上記について概ね達成できた。これは検査室スタッフが常に業務改善を意識し、自発的な提案や活発な意見交換を行った成果と思われる。

3 平成 23 年度目標

平成 22 年度に引き続き、「患者サービスの向上」、「検査の質の向上」、「経費の削減」を目標に、スタッフ全員が共有して取り組んでいきたい。

(2) 放射線室

1 平成 22 年度活動及び評価

福井県健康管理協会での胃透視実習を修了し、ドックや外科検診も含め、胃透視を技師が行うようになり、23 年 6 月より開始の胃がん個別検診に対応できる体制を整える事ができた。

また、認定資格の取得や更新、セミナー等にも積極的に参加し、知識や技能の向上に努めた。

さらに、病診連携を通じ、院外施設に提供している画像ビューアーの検討を行い、簡便に使用できるソフトの提供ができた。

2 平成 23 年度目標

医師及び看護師と連携し、良質な検査や治療を推進すると共に医療機器の安全な運用に努める。

(3) リハビリテーション室

1 平成 22 年度活動

- ① 人員条件が整い 6 月に「脳血管疾患等リハビリテーション料（I）」の届出をした。
- ② 病棟・病室での治療を多く取り入れた。特に脳神経外科病棟では患者の個別リハビリを担当看護師に説明し、病棟練習として取り組んでもらった。
- ③ 入院患者の「退院調整カンファレンス」に担当者は時間調整がつく限り出席した。
- ④ 年末年始や大型連休の期間中に、急性期患者を中心にリハビリを実施した。
- ⑤ 患者の待ち時間を有意義に過ごしてもらうため、リハビリ室入口に図書を設置した。
- ⑥ 業務時間における病棟リハビリや患者送迎に伴う移動時間について調査し、検討した結果報告を院内 TQM 大会にて発表し、第 1 位に選ばれた。

2 平成 22 年度評価

リハビリの実施件数が増加し、増収につながった。また、看護師による病棟練習や休日のリハビリ、図書の設置などは好評であり、患者サービスの向上につながった。

3 平成 23 年度目標

- ① 病棟・病室でのリハビリ時間をさらに増やして看護スタッフとの連携を密にし、早期の機能回復や患者サービス向上を目指したい。また、病棟練習の取組を脳神経外科病棟以外の病棟にも広げていきたい。
- ② 業務に支障のない限り、担当入院患者の「退院調整カンファレンス」に出席し、必要に応じて診療情報提供書を作成し地域との連携を図っていきたい。
- ③ 質の高いリハビリテーション医療を提供できるように、各療法士は学術的研鑽を重ね、専門性を高めていきたい。

(4) 臨床工学技術室

1 平成 22 年度活動

- ① 透析センターにおける業務を円滑に実施した。
- ② 急性血液浄化・PCPS 等における対応を円滑に行った。
- ③ 中央管理化した ME 機器（輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器・経腸栄養ポンプ・電動式低圧吸引器）の管理を安定して行った。
- ④ 除細動器及び AED の日常点検を行い、管理を強化した。
- ⑤ 手術室業務として、術中回収式自己血輸血（オーソパット・セルセーバー）を円滑に実施した。

- ⑥ 看護師を対象に人工呼吸器に係る初級取扱講習会を実施した。
- ⑦ 透析液水質確保加算に対応した透析液の管理を実施した。
- ⑧ その他院内にある様々な医療機器の修理やトラブル対応を行った。

2 平成 22 年度評価

上記活動を通じて、当該年度の目標はほぼ達成できたが、前年同様に輸液ポンプの運用には、今後更なる検討が必要であると思われる。効率的な医療機器の運用に向け努力していきたい。また透析液の水質管理も検査方法等を更に検討して強化していきたい。

3 平成 23 年度目標

- ① 平成 22 年度の活動の継続と強化を図る。
- ② 前年度達成できなかった保育器の管理を行っていききたい。
- ③ 定期的な人工呼吸器のラウンドを実施していきたい。
- ④ その他 ME 機器の動作中点検の実施。

(5) 栄養管理室

1 平成 22 年度活動と評価

平成 22 年度から給食業務全面委託が始まり、業務の質の維持を保つために食品自主管理プログラム継続認定と衛生管理を実施した。

また、患者サービス向上に向けて、祝い膳・ソフト食・5 回選択メニューは完全実施。行事食として弁当盛りも準備してきた。

さらに、栄養管理の充実と指導件数の増加を図り、栄養サポートチーム担当者研修について、2 名修了者を出した。

2 平成 23 年度目標

- ① 食品衛生自主管理プログラムに基づく衛生管理の継続実施
- ② 行事食（弁当盛り）やアンケート等で味付け、献立の充実を図る。
- ③ 栄養指導の継続実施（外来妊婦、地域連携パス退院時指導なども含む。）
- ④ 栄養サポートチーム加算算定を目指す。

4 薬剤部

(1) 薬剤室

1 平成 22 年度活動

- ① 医薬品情報管理業務（DI 業務）
最新の医薬品情報の収集に努め、病院スタッフへの伝達を行うことができた。
(DI 室ニュース、薬剤部だよりを毎月定期発行した。)
- ② 薬事委員会
DPC 導入に向けての注射薬後発品の選定導入を実施した。(25 品目)
- ③ 化学療法委員会

抗悪性腫瘍剤処方管理加算（70点／月）の実施を行った。

④ 教育実習業務

薬学6年制に伴う病院実務実習を当院で実施した。

（2期2名、3期2名の受入れを行った。）

⑤ 院内感染対策

- ・ 抗MRSA薬の適正使用にTDMを通じて貢献を行った。
- ・ 院内の感染対策講習会で抗生物質の適正使用について啓蒙を行った。
（抗MRSA薬の適正使用のマニュアルを作成した。）
- ・ 学会発表にも積極的に取り組み、得られた知見を院内の感染対策に活かすことができた。（嶺南感染対策フォーラムで発表）
- ・ ラウンド（感染ラウンド、環境ラウンド）への参加を行い、薬学的視点から提案を行った。

⑥ 栄養サポートチーム

2名が栄養管理に係る所定の研修を修了した。

⑦ 緩和ケア委員会

緩和ケア勉強会の資料を作成した。

⑧ 医薬品安全管理業務

- ・ 医薬品安全研修会の開催を行った。（2回）
- ・ 新しいレポート用紙を作成し、導入評価を行った。
（医療マネジメント学会福井地方会で発表）

⑨ 医薬品管理業務

医薬品リストの作成を行った。それに伴い、重要医薬品（緊急薬品等）について、安定供給のための仕組みを導入した。

2 平成22年度評価

当初の目標とは異なることもあったが、基本的業務の再構築を行うことができた。

3 平成23年度目標

安心安全な薬物療法の支援を行う。

① 調剤関連業務

- ・ 安全管理の充実：調剤関連事故防止のため、安全管理体制を強化する。
- ・ 薬剤の適正使用推進：適正使用推進のための仕組みを構築する。

② 薬剤管理指導業務

- ・ 服薬指導の充実：服薬指導の内容を充実させ、患者サービス向上及び他職種の負担軽減を目指す。
- ・ 病棟常駐を試行：服薬説明のみでなく、病棟常駐に向けて業務の可視化（数値化）を行う。

③ 医薬品情報管理業務

- ・ 業務全体を再構築：業務を再構築し医薬品適正使用のための情報提供を行う。
- ・ 後発医薬品の選定：引き続き、適切な後発品の選定導入を目指す。

- ④ 医療安全対策業務
 - ・ 医薬品安全研修会：医薬品安全研修会を年2回開催する。
 - ・ システム移行：インシデントレポート入力システムへのスムーズな移行を目指す。
 - ・ 業務改善の推進：薬剤部内レポート用紙の評価を行い、業務改善を図る。
- ⑤ 医薬品管理業務
 - SPDに向けた業務の見直しを行う。
- ⑥ 各種委員会関係
 - ・ 積極的参加：各種委員会に積極的に参加し薬学的観点から提案を行う。
 - ・ 化学療法委員会関連：化学療法関連業務（レジメン管理ミキシング等）を円滑に実施する。
 - ・ 感染対策委員会：
 - 抗MRSA薬の適正使用にTDMを通じて貢献する。
 - 緑膿菌耐性とカルバペネム系抗生剤の関連について評価する。
 - 院内の講習会で抗生物質、消毒薬等の適正使用について啓蒙する。
 - 学会発表参加に取り組み、得られた知見を院内の感染対策に活かす。
 - 院内ラウンドへ参加し、薬学的観点から提案を行う。
 - ・ 栄養サポートチーム：
 - 経腸栄養剤・静脈栄養剤の適正使用に貢献する。
 - 院内ラウンドへ参加し、薬学的観点から提案を行う。
 - ・ 緩和ケア委員会：緩和ケアマニュアル改訂への協力及び麻薬使用患者の定期的フォローと早期介入。
- ⑦ 薬業連携の推進
 - 医療連携の推進：医療連携推進の中、薬剤師同士の連携を強化する。
 - （（仮）薬業連携協議会の設置、合同研修会の実施）
- ⑧ 教育実習業務
 - 病院実務実習を当院で実施し、グループ実習（福井県方式の）評価と改善を行う。
- ⑨ DPCに向けた取組
 - ・ 持参薬剤のチェック率の増加、適正使用のシステム化を検討する。
 - ・ 後発医薬品の選定：引き続き、適切な後発品の選定導入を目指す。

5 看護部

1 平成22年度活動及び評価

- ① 臨床実践能力を高め、看護の質、サービスの向上に努める。
 - ・ 習熟度到達目標値及びクリニカルラダー活用によって研修参加率が上がり自己能力値も明確化されたことで、人事考課が効果的に行われた。個々に、次年度への目標値の設定を上げた職員が多かった。
 - ・ 看護記録は記録監査委員会の活動も功を成し、NANDAを活用した記録充実が図れた。
 - ・ 褥瘡発生率が昨年度に比して低下。
 - ・ 認定資格（看護管理者、皮膚排泄ケア、緩和ケア）3名合格。専従で活動した。

- ② 診療報酬を見据えた経営戦略に積極的に参画する。
 - ・ ベッドコントロールを認識し、平均在院日数 15~16 日台（18 日以下）を維持し、稼働率 85%以上を継続、1 日平均入院数 13.8 人（前年度より 310 人増）に貢献した。
 - ・ 退院支援について医療支援部と協力体制を強化し、毎月情報交換会議と勉強会を開催した。
 - ・ 看護必要度学習会を 3 回開催し、一般病棟看護必要度加算 370,860 点加算を取得した。
 - ・ HCU 管理料を見据えて、ベッド稼働を効率的に運用し、6,412,500 点加算を取得した。
 - ・ 母乳外来は 1,114 件（2,281,000 円）、助産師外来は月 10 人程度と増加はみなかった。
- ③ 離職防止を図り、職務満足を高める。
 - ・ 看護部に「教育担当室」を新たに設置し、教育体制の強化を図った。
 - ・ 厚生労働省の新人看護職員研修事業（努力義務化）に積極的に取り組み、研修責任者を専従とし、各部署に教育担当者・実施指導者・エルダーを置き「屋根瓦方式」指導体制を取った。結果、厚生労働省ホームページに事業例（21 事例中に）として掲載された。
 - ・ 退職率 5%で前年比 3.5%減、新人看護職員 1 年内離職率 0%達成。
 - ・ 看護職員募集看護部パンフレットが完成し配布し、ホームページにも新規掲載した。
 - ・ 育児休暇・介護休暇・時短勤務の積極的活用によって、働き続けられる職場づくりを目指した。月平均 24 人の休暇があったが、夜勤月平均 72 時間／人を厳守し、超過勤務時間月平均 7 時間／人とタイムマネジメント意識を高めた。
 - ・ 有給休暇を平均 15%取得し（前年比 5%UP）、またリフレッシュ休暇については、ほぼ 100%取得できた。

2 平成 23 年度目標

- ① 臨床実践能力及びマネジメント能力を高め、看護の質サービス向上を図るとともに、接遇意識を高める。
 - ・ クリニカルラダー活用継続とマネジメントラダー導入によって、自己の課題を明確にした目標管理を行う。
 - ・ アセスメント力向上に欠かせない看護展開基礎力を高めるため、教育と記録監査のバックアップ（委員会等）体制を強化する。
 - ・ NANDA 活用率を上げる。
 - ・ 学生指導に責任をもち、看護実践を共有する関わりをもつ。
 - ・ 「おもてなしの心」を育む実践的取組を行う。
 - ・ 職員の「身だしなみ規定」の浸透と、守る意識を高める。
- ② 診療報酬、DPC を認識し、経営参画を積極的に行う。
 - ・ 入退院支援を個々が実践の中で積極的に行える取組を図る。
 - ・ 看護必要度の理解を深め充実させる（指導者養成の強化を図る。）。
 - ・ パスを増やすとともに、実用できるパスの見直しを図る。
 - ・ 他職種との連携を積極的に行う。
- ③ 離職防止を図り、職務満足を高める。
 - ・ 新人看護職員研修事業を積極的に取り組み、評価発展させる。

- ・ 有給休暇の取得率を前年度より上げる（リフレッシュ休暇取得）。
- ・ タイムマネジメント能力を上げる（超過勤務時間削減の工夫）。
- ・ 人材確保を個々が意識し、協力体制を取る。

6 事務局

(1) 総務企画課

1 平成 22 年度活動

① 人材の確保

- ・ 医師確保のため関係機関への交渉を続け、平成 23 年度より 3 名増加となった。
- ・ 研修医 6 名内定。

② 人材の教育・研修

- ・ 医師事務作業補助加算（50 対 1）を取得し、医師の負担軽減に努めた。
- ・ 福井大学医学部附属病院とテレビ会議システムを構築した。

③ 患者サービスの向上

- ・ 新規ホームページを立ち上げ、速やかな情報提供に努めた。
- ・ 病院モニター制度、広報委員会を立ち上げ、問題点のうち、改善できる箇所について改善を図った。

④ 経費削減・抑制

医療機器の保守等の業務委託について、10 件以上の見直しを実施し、経費削減につなげた。また、診療材料等の契約単価の見直し方策の検討会を 11 回開催した。

2 平成 22 年度評価

各部署一丸となり、目標に取り組んだ結果、6 年ぶりに約 1 億 7 千万円の黒字化につながった。平成 23 年度は、今年度十分実施できなかった職場環境の改善にも力を入れていきたい。

3 平成 23 年度目標

救急、高度、災害等医療の充実など地域の医療ニーズに対応できるよう機能の充実を図りつつ、紹介率の向上などにより入院診療中心の診療体制への移行を推進し、もって地域医療連携の中心的役割を担うとともに急性期病院としての確立を目指す。

(2) 医療サービス課

1 平成 22 年度活動

① DPC 請求病院に向けての準備

- ・ DPC 請求のためのノウハウを病棟クランクに指導し、請求に備えた。
- ・ DPC データを活用し、医師に協力を依頼した。
- ・ DPC データ分析システムを導入し、院内で研修会を開催した。

② 未収金削減に向けた取組

未収金回収に向けて未収金台帳の再整備を実施するとともに、特に、分納誓約者の未納

に対して毎月電話催告を行った。

また、未収金回収委託法人との連携を強化した。

③ 医療情報システムの充実

電子カルテと未接続の重症記録（HCU）システム、透析管理システムについて、電子カルテと接続し、データの正確性を確保するとともに、職員の負担軽減を図った。

また、地域連携システムを入れ替え、電子カルテとの親和性を図った。

2 平成 22 年度評価

DPC については平成 23 年度から請求病院に移行するが、職員にその概要を理解してもらい、情報入力など基本ルールを確立できたことは非常に良かった。

特に、GHC のアキ・よしかわ氏を招いて行った DPC 研修会では 173 名の職員が熱心に聴講し、素早い対応が院内各所で見られたことや、毎月開催した部門別ミニ研修会の効果が出てきており、DPC 請求にスムーズに移行できる目処が立った。

その他、アクションプランに掲げた目標のうち、以下の項目については未達成だった。

- ・ レセプト査定率の減少（目標 0.15%以内⇒実績 0.22%）
- ・ 人間ドック案内の企業向け案内
（目標 200 社⇒実績 効果のありそうな企業 8 社）

3 平成 23 年度目標

① DPC 請求病院として収益の確保

DPC データを活用し、パス作成について支援する。また、診療科及び部門ごとに研修会を実施する。

② 職員確保に向けた取組

医療事務に精通した職員を確保するため専属職員の採用条件について提言を行う。また、既存職員の負荷軽減を図る。

③ 医療情報システムの充実

以下の医療情報システムについて、更新を行う。

- ・ 臨床検査システム
- ・ 健康診断システム
- ・ 栄養管理システム
- ・ 診察待ち表示システム
- ・ 患者認証システム

7 被災地派遣活動

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災への対応として、当院では 3 月 19 日からスクリーニング班、救護班としてスタッフを被災地へ派遣した。

なお、本年報発行までに派遣した全ての班について記載した。

(1) 福井県スクリーニング班

1 チーム概要

| 派遣期間 | メンバー | 派遣先 | 活動内容 |
|-------------------------------|--|----------------|--------------------|
| 3 月 19 日 (土) ～3 月 22 日 (火) | 医師 2 名、看護師 2 名 診療放射線技師 1 名 事務局職員 1 名 | 福島県西郷村 南相馬市 | 住民等に対するスクリーニングの実施。 |

2 活動結果

| 日付 | 場所 | 対象者及び人数 |
|----------|-----------------------|--|
| 3 月 20 日 | 西郷村役場 (福島県西郷村) | 西郷村等の住民 計 124 名 |
| 3 月 21 日 | サテライトかしま (福島県南相馬市) | 周辺の病院から群馬県の病院に搬送される患者並びに搬送に携わる自衛隊員及び医師 計 57 名 |

(2) 日赤救護班第 6 班

1 チーム概要

| 派遣期間 | メンバー | 派遣先 | 活動内容 |
|------------------------------|--|----------|----------------|
| 3 月 29 日 (火) ～4 月 2 日 (土) | 医師 1 名、薬剤師 1 名 助産師 1 名、看護師 2 名 事務局職員 1 名 | 岩手県陸前高田市 | 避難所における救護所の運営。 |

2 活動結果

| 日付 | 場所 | 救護所受診者数 |
|------------------------|---------------------|---------|
| 3 月 30 日 (12:00～20:00) | 第一中学校 (岩手県陸前高田市) | 96 名 |
| 3 月 31 日 (8:00～20:00) | 第一中学校 (岩手県陸前高田市) | 139 名 |
| 4 月 1 日 (8:00～13:00) | 第一中学校 (岩手県陸前高田市) | 64 名 |

※救護所は、原則日本赤十字社福井県支部、岩手県支部及び小児科医師の 3 診制で運営されており、救護所受診者数は 3 診全ての合計患者数である。

(3) 福井県救護班 1

1 チーム概要

| 派遣期間 | メンバー | 派遣先 | 活動内容 |
|----------------------|--------------------------------|--------|-----------------|
| 3月29日(火) ～4月2日(土) | 医師2名、薬剤師1名 看護師2名 事務局職員1名 | 宮城県亶理町 | 避難所等における救護所の運営。 |

2 活動結果

| 日付 | 場所 | 救護所受診者数 |
|--------------------|---------------|---------|
| 3月31日(8:30～11:30) | 逢隈小学校(宮城県亶理町) | 16名 |
| 3月31日(13:00～15:45) | 逢隈中学校(宮城県亶理町) | 18名 |
| 3月31日(18:00～翌8:00) | 中央公民館(宮城県亶理町) | 5名 |
| 4月1日(9:00～11:30) | 逢隈中学校(宮城県亶理町) | 12名 |
| 4月1日(13:00～15:30) | 逢隈小学校(宮城県亶理町) | 9名 |

(4) 日赤救護班第7班

1 チーム概要

| 派遣期間 | メンバー | 派遣先 | 活動内容 |
|---------------------|---|----------|-----------------|
| 4月2日(土) ～4月6日(水) | 医師1名、助産師1名 看護師2名 臨床検査技師1名、 事務局職員1名 | 岩手県陸前高田市 | 避難所等における救護所の運営。 |

2 活動結果

| 日付 | 場所 | 救護所受診者数 |
|-------------------|---------------------|---------|
| 4月3日(12:00～20:00) | 第一中学校 (岩手県陸前高田市) | 49名 |
| 4月4日(8:00～20:00) | 第一中学校 (岩手県陸前高田市) | 144名 |
| 4月5日(8:00～12:00) | 第一中学校 (岩手県陸前高田市) | 60名 |

※救護所は、原則日本赤十字社福井県支部、岩手県支部及び小児科医師の3診制で運営されており、救護所受診者数は3診全ての合計患者数である。

(5) 福井県救護班 2

1 チーム概要

| 派遣期間 | メンバー | 派遣先 | 活動内容 |
|----------------------|------------------------------------|--------|-----------------|
| 4月8日(金) ~4月12日(火) | 医師2名、看護師2名 診療放射線技師1名 理学療法士1名 | 宮城県亘理町 | 避難所等における救護所の運営。 |

2 活動結果

| 日付 | 場所 | 救護所受診者数 |
|--------------------|---------------|---------|
| 4月10日(9:00~16:00) | 逢隅小学校(宮城県亘理町) | 23名 |
| 4月10日(18:00~翌8:00) | 中央公民館(宮城県亘理町) | 4名 |
| 4月11日(9:00~16:00) | 亘理高校(宮城県亘理町) | 21名 |

その他、朝夕に往診にてインフルエンザ隔離患者6名を診察。

(6) 福井県救護班 3

1 チーム概要

| 派遣期間 | メンバー | 派遣先 | 活動内容 |
|---------------------|--|--------|-----------------|
| 5月5日(木) ~5月8日(日) | 医師1名、看護師2名 診療放射線技師1名 臨床検査技師1名 事務局職員1名 | 宮城県亘理町 | 避難所等における救護所の運営。 |

2 活動結果

| 日付 | 場所 | 救護所受診者数 |
|-------------------|-------------------|---------|
| 5月6日(8:30~11:30) | 亘理高校 (宮城県亘理町) | 10名 |
| 5月6日(13:00~15:30) | 亘理小学校 (宮城県亘理町) | 2名 |
| 5月6日(18:00~翌8:00) | 中央公民館 (宮城県亘理町) | 0名 |
| 5月7日(9:00~11:30) | 亘理高校 (宮城県亘理町) | 10名 |
| 5月7日(13:00~15:30) | 亘理小学校 (宮城県亘理町) | 2名 |

IV 業務の概要

1 患者の状況

(1) 入院・外来別患者数

| | | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|----|-----------|---------|---------|---------|
| 入院 | 患者数(人) | 101,363 | 99,970 | 104,761 |
| | 対前年度比(%) | 106.2 | 98.6 | 104.8 |
| | 開院日(日) | 365 | 365 | 365 |
| | 一日平均(人) | 277.7 | 273.9 | 287.0 |
| | 病床利用率(%) | 83.6 | 82.5 | 86.5 |
| | 平均在院日数(日) | 21.2 | 20.1 | 19.8 |
| 外来 | 患者数(人) | 181,506 | 172,546 | 176,631 |
| | 対前年度比(%) | 98.2 | 95.1 | 102.4 |
| | 開院日(日) | 243 | 242 | 243 |
| | 一日平均(人) | 746.9 | 713.0 | 726.9 |
| 合計 | 患者数(人) | 282,869 | 272,516 | 281,392 |
| | 対前年度比(%) | 101.0 | 96.3 | 103.3 |

(2) 患者数の推移

① 入院患者数

| | 病床数 | | | | 患者延数(人) | 対前年度比(%) | 1日平均患者数(人) |
|--------|-----|----|-----|----|---------|----------|------------|
| | 一般 | 感染 | ドック | 無菌 | | | |
| 平成17年度 | 342 | 2 | 6 | | 88,872 | 83.9 | 243.5 |
| 平成18年度 | 287 | 2 | 6 | 1 | 86,060 | 96.8 | 235.8 |
| 平成19年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 95,403 | 110.9 | 260.7 |
| 平成20年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 101,363 | 106.2 | 277.7 |
| 平成21年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 99,970 | 104.8 | 273.9 |
| 平成22年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 104,761 | 104.8 | 287.0 |

② 外来患者数

| | 患者延数(人) | 対前年度比(%) | 1日平均患者数(人) |
|--------|---------|----------|------------|
| 平成17年度 | 181,609 | 86.0 | 744.3 |
| 平成18年度 | 182,269 | 100.4 | 744.0 |
| 平成19年度 | 184,741 | 101.4 | 754.0 |
| 平成20年度 | 181,506 | 98.2 | 746.9 |
| 平成21年度 | 172,546 | 93.4 | 713.0 |
| 平成22年度 | 176,631 | 102.4 | 726.9 |

(3) 診療科別患者数

| | 入院 | | | | 外来 | | | |
|------------|---------|--------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|
| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 対前年度比 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 対前年度比 |
| | | | | | | | | |
| 内科 | 26,890 | 24,862 | 27,235 | 109.5 | 34,098 | 37,101 | 39,372 | 106.1 |
| 神経内科 | 427 | 8 | 5 | 62.5 | 1,631 | 1,382 | 1,513 | 109.5 |
| 消化器科 | 6,340 | 7,917 | 8,583 | 108.4 | 8,287 | 8,780 | 8,334 | 94.9 |
| 循環器科 | 5,763 | 6,860 | 7,443 | 108.5 | 13,688 | 12,541 | 11,661 | 93.0 |
| 小児科 | 3,496 | 3,616 | 3,536 | 97.8 | 9,643 | 10,677 | 11,433 | 107.1 |
| 外科 | 16,087 | 14,081 | 14,670 | 104.2 | 11,381 | 10,520 | 10,818 | 102.8 |
| 整形外科 | 16,631 | 16,850 | 16,797 | 99.7 | 21,864 | 19,983 | 19,277 | 96.5 |
| 脳神経外科 | 10,535 | 10,817 | 11,499 | 106.3 | 9,077 | 8,108 | 8,031 | 99.1 |
| 皮膚科 | 593 | 1,321 | 1,007 | 76.2 | 12,486 | 13,188 | 12,551 | 95.2 |
| 泌尿器科 | 4,786 | 5,419 | 5,539 | 102.2 | 12,180 | 12,843 | 13,542 | 105.4 |
| 産婦人科 | 7,785 | 7,130 | 7,076 | 99.2 | 9,310 | 6,321 | 6,814 | 107.8 |
| 眼科 | 380 | 302 | 314 | 104.0 | 6,575 | 6,380 | 6,790 | 106.4 |
| 耳鼻いんこう科 | 1,249 | 514 | 852 | 165.8 | 5,473 | 4,814 | 5,066 | 105.2 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | - | 1,030 | 723 | 863 | 119.4 |
| 神経科精神科 | 0 | 0 | 0 | - | 7,765 | 1,381 | 1,434 | 103.8 |
| 麻酔科 | 56 | 32 | 31 | 96.9 | 2,499 | 2,966 | 2,843 | 95.9 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | - | 5,899 | 6,827 | 8,014 | 117.4 |
| 歯科口腔外科 | 345 | 241 | 174 | 72.2 | 8,620 | 8,011 | 8,275 | 103.3 |
| 合計 | 101,363 | 99,970 | 104,761 | 104.8 | 181,506 | 172,546 | 176,631 | 102.4 |

(4) 市町村別患者数

| | 平成20年度 | | | | | | 平成21年度 | | | | | | 平成22年度 | | | | | | |
|----|--------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|------|
| | 外来 | | 入院 | | 合計 | | 外来 | | 入院 | | 合計 | | 外来 | | 入院 | | 合計 | | |
| | 実患者数 | 比率 | 実患者数 | 比率 | 実患者数 | 比率 | 実患者数 | 比率 | 実患者数 | 比率 | 実患者数 | 比率 | 実患者数 | 比率 | 実患者数 | 比率 | 実患者数 | 比率 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県内 | 敦賀市 | 72,235 | 81.6 | 2,978 | 76.9 | 75,213 | 81.4 | 69,831 | 81.8 | 3,044 | 76.5 | 72,875 | 81.6 | 70,460 | 81.5 | 3,102 | 76.0 | 73,562 | 81.3 |
| | 美浜町 | 8,282 | 9.4 | 374 | 9.7 | 8,656 | 9.4 | 7,860 | 9.2 | 407 | 10.2 | 8,267 | 9.3 | 7,887 | 9.1 | 403 | 9.9 | 8,290 | 9.2 |
| | 若狭町 | 4,457 | 5.0 | 235 | 6.1 | 4,692 | 5.1 | 4,340 | 5.1 | 250 | 6.3 | 4,590 | 5.1 | 4,680 | 5.4 | 299 | 7.3 | 4,979 | 5.5 |
| | その他 | 1,201 | 1.4 | 70 | 1.8 | 1,271 | 1.4 | 1,082 | 1.3 | 72 | 1.8 | 1,154 | 1.3 | 1,053 | 1.2 | 61 | 1.5 | 1,114 | 1.2 |
| 県外 | 2,311 | 2.6 | 215 | 5.6 | 2,526 | 2.7 | 2,240 | 2.6 | 207 | 5.2 | 2,447 | 2.7 | 2,321 | 2.7 | 217 | 5.3 | 2,538 | 2.8 | |
| 合計 | 88,486 | 100.0 | 3,872 | 100.0 | 92,358 | 100.0 | 85,353 | 100.0 | 3,980 | 100.0 | 89,333 | 100.0 | 86,401 | 100.0 | 4,082 | 100.0 | 90,483 | 100.0 | |

(5) 月別患者数

平成22年度

入院

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 一日平均 | 構成割合 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|
| 内科 | 2,035 | 2,351 | 2,158 | 2,302 | 2,386 | 2,160 | 2,333 | 2,014 | 2,092 | 2,391 | 2,344 | 2,669 | 27,235 | 74.6 | 26.0 |
| 神経内科 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0.0 | 0.0 |
| 消化器科 | 655 | 746 | 573 | 609 | 732 | 753 | 799 | 829 | 737 | 718 | 678 | 754 | 8,583 | 23.5 | 8.2 |
| 循環器科 | 774 | 743 | 617 | 659 | 471 | 584 | 407 | 507 | 534 | 655 | 689 | 803 | 7,443 | 20.4 | 7.1 |
| 小児科 | 342 | 337 | 228 | 289 | 221 | 306 | 295 | 253 | 337 | 313 | 280 | 335 | 3,536 | 9.7 | 3.4 |
| 外科 | 996 | 1,160 | 1,095 | 1,410 | 1,307 | 1,358 | 1,370 | 1,458 | 1,160 | 1,090 | 1,108 | 1,158 | 14,670 | 40.2 | 14.0 |
| 整形外科 | 1,603 | 1,425 | 1,422 | 1,455 | 1,352 | 1,203 | 1,176 | 1,308 | 1,460 | 1,399 | 1,576 | 1,418 | 16,797 | 46.0 | 16.0 |
| 脳神経外科 | 1,025 | 1,175 | 1,100 | 938 | 940 | 880 | 789 | 822 | 913 | 1,012 | 910 | 995 | 11,499 | 31.5 | 11.0 |
| 皮膚科 | 136 | 127 | 130 | 112 | 116 | 118 | 52 | 51 | 37 | 51 | 77 | 0 | 1,007 | 2.8 | 1.0 |
| 泌尿器科 | 449 | 407 | 442 | 429 | 392 | 394 | 510 | 426 | 468 | 607 | 469 | 546 | 5,539 | 15.1 | 5.2 |
| 産婦人科 | 589 | 597 | 494 | 593 | 763 | 720 | 603 | 594 | 544 | 598 | 404 | 577 | 7,076 | 19.4 | 6.8 |
| 眼科 | 17 | 16 | 32 | 17 | 25 | 25 | 30 | 30 | 33 | 17 | 44 | 28 | 314 | 0.9 | 0.3 |
| 耳鼻いんこう科 | 127 | 70 | 47 | 42 | 123 | 84 | 66 | 54 | 93 | 45 | 38 | 63 | 852 | 2.3 | 0.8 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 神経科精神科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 麻酔科 | 9 | 8 | 0 | 0 | 0 | 12 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 31 | 0.1 | 0.0 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 歯科口腔外科 | 30 | 12 | 33 | 6 | 21 | 17 | 8 | 3 | 8 | 19 | 10 | 7 | 174 | 0.5 | 0.2 |
| 合計 | 8,787 | 9,174 | 8,371 | 8,866 | 8,849 | 8,614 | 8,440 | 8,349 | 8,416 | 8,915 | 8,627 | 9,353 | 104,761 | 287.0 | 100.0 |

外来

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 一日平均 | 構成割合 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|-------|
| 内科 | 3,284 | 3,155 | 3,353 | 3,365 | 3,364 | 3,231 | 3,236 | 3,211 | 3,340 | 3,264 | 3,079 | 3,490 | 39,372 | 162.0 | 22.3 |
| 神経内科 | 129 | 86 | 139 | 128 | 104 | 156 | 131 | 95 | 126 | 129 | 123 | 167 | 1,513 | 6.2 | 0.9 |
| 消化器科 | 699 | 668 | 700 | 790 | 707 | 740 | 663 | 703 | 673 | 643 | 666 | 682 | 8,334 | 34.3 | 4.7 |
| 循環器科 | 1,055 | 939 | 989 | 998 | 997 | 973 | 931 | 1,005 | 970 | 939 | 874 | 991 | 11,661 | 48.0 | 6.6 |
| 小児科 | 966 | 916 | 1,041 | 928 | 997 | 763 | 862 | 978 | 1,111 | 949 | 878 | 1,044 | 11,433 | 47.1 | 6.5 |
| 外科 | 887 | 826 | 920 | 927 | 982 | 904 | 873 | 990 | 968 | 802 | 784 | 955 | 10,818 | 44.5 | 6.1 |
| 整形外科 | 1,603 | 1,596 | 1,641 | 1,704 | 1,677 | 1,652 | 1,602 | 1,537 | 1,532 | 1,533 | 1,449 | 1,751 | 19,277 | 79.3 | 10.9 |
| 脳神経外科 | 744 | 613 | 692 | 689 | 666 | 680 | 674 | 699 | 650 | 635 | 597 | 692 | 8,031 | 33.1 | 4.5 |
| 皮膚科 | 1,113 | 1,043 | 1,205 | 1,165 | 1,191 | 1,102 | 1,104 | 1,044 | 933 | 799 | 883 | 969 | 12,551 | 51.7 | 7.1 |
| 泌尿器科 | 1,111 | 1,045 | 1,118 | 1,145 | 1,267 | 1,122 | 1,110 | 1,158 | 1,161 | 1,064 | 1,085 | 1,156 | 13,542 | 55.7 | 7.7 |
| 産婦人科 | 545 | 486 | 652 | 555 | 604 | 547 | 594 | 616 | 665 | 471 | 504 | 575 | 6,814 | 28.0 | 3.9 |
| 眼 | 608 | 542 | 616 | 629 | 610 | 630 | 565 | 508 | 560 | 441 | 482 | 599 | 6,790 | 27.9 | 3.8 |
| 耳鼻いんこう科 | 461 | 413 | 427 | 386 | 399 | 387 | 419 | 457 | 434 | 404 | 405 | 474 | 5,066 | 20.8 | 2.9 |
| 放射線科 | 54 | 56 | 87 | 65 | 79 | 72 | 89 | 80 | 68 | 57 | 75 | 81 | 863 | 3.6 | 0.5 |
| 神経科精神科 | 118 | 111 | 104 | 136 | 121 | 133 | 113 | 120 | 103 | 123 | 114 | 138 | 1,434 | 5.9 | 0.8 |
| 麻酔科 | 236 | 237 | 265 | 260 | 262 | 256 | 207 | 256 | 208 | 211 | 203 | 242 | 2,843 | 11.7 | 1.6 |
| リハビリテーション科 | 650 | 592 | 707 | 698 | 733 | 692 | 683 | 655 | 662 | 600 | 597 | 745 | 8,014 | 33.0 | 4.5 |
| 歯科口腔外科 | 685 | 637 | 720 | 684 | 608 | 627 | 708 | 780 | 696 | 692 | 662 | 776 | 8,275 | 34.1 | 4.7 |
| 合計 | 14,948 | 13,961 | 15,376 | 15,252 | 15,368 | 14,667 | 14,564 | 14,892 | 14,860 | 13,756 | 13,460 | 15,527 | 176,631 | 726.9 | 100.0 |

(6) 救急患者の取扱状況

平成20年度

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-----|--------|
| 内科 | 239 | 273 | 252 | 300 | 328 | 269 | 268 | 236 | 311 | 513 | 311 | 315 | 3,615 |
| 神経内科 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 5 | 3 | 0 | 1 | 2 | 19 |
| 消化器科 | 8 | 9 | 9 | 16 | 7 | 19 | 8 | 7 | 15 | 8 | 4 | 4 | 114 |
| 循環器科 | 32 | 44 | 38 | 26 | 50 | 27 | 38 | 50 | 39 | 50 | 23 | 46 | 463 |
| 小児科 | 131 | 145 | 146 | 164 | 127 | 93 | 88 | 108 | 199 | 189 | 152 | 149 | 1,691 |
| 外科 | 65 | 39 | 52 | 69 | 57 | 56 | 40 | 40 | 33 | 37 | 25 | 44 | 557 |
| 整形外科 | 115 | 130 | 119 | 169 | 165 | 141 | 122 | 147 | 131 | 89 | 78 | 82 | 1,488 |
| 脳神経外科 | 76 | 92 | 92 | 79 | 91 | 75 | 104 | 106 | 103 | 67 | 73 | 74 | 1,032 |
| 皮膚科 | 24 | 40 | 54 | 65 | 82 | 61 | 43 | 36 | 48 | 25 | 21 | 32 | 531 |
| 泌尿器科 | 29 | 27 | 26 | 39 | 39 | 26 | 29 | 26 | 20 | 29 | 22 | 20 | 332 |
| 産婦人科 | 33 | 30 | 42 | 34 | 30 | 21 | 38 | 30 | 32 | 27 | 26 | 19 | 362 |
| 眼科 | 12 | 17 | 11 | 17 | 28 | 18 | 10 | 19 | 25 | 13 | 5 | 15 | 190 |
| 耳鼻いんこう科 | 24 | 39 | 35 | 30 | 30 | 30 | 48 | 31 | 33 | 25 | 23 | 31 | 379 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 神経科精神科 | 2 | 2 | 3 | 2 | 9 | 0 | 4 | 5 | 2 | 1 | 1 | 3 | 34 |
| 麻酔科 | 4 | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯科口腔外科 | 13 | 7 | 6 | 10 | 13 | 8 | 11 | 11 | 14 | 9 | 4 | 12 | 118 |
| 合計 | 807 | 897 | 888 | 1,025 | 1,057 | 845 | 854 | 857 | 1,008 | 1,082 | 769 | 848 | 10,937 |
| 入院患者数(再掲) | 123 | 142 | 141 | 128 | 126 | 129 | 108 | 105 | 134 | 118 | 101 | 123 | 1,478 |
| 救急車台数 | 136 | 148 | 156 | 185 | 168 | 145 | 159 | 160 | 168 | 141 | 121 | 151 | 1,838 |

平成21年度

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------|-----|-------|-----|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-----|-----|--------|
| 内科 | 286 | 358 | 243 | 281 | 366 | 349 | 357 | 469 | 436 | 425 | 301 | 303 | 4,174 |
| 神経内科 | 2 | 0 | 5 | 1 | 5 | 1 | 3 | 3 | 1 | 3 | 2 | 2 | 28 |
| 消化器科 | 10 | 13 | 3 | 11 | 6 | 12 | 10 | 4 | 13 | 10 | 13 | 9 | 114 |
| 循環器科 | 28 | 38 | 31 | 28 | 20 | 31 | 28 | 22 | 36 | 42 | 24 | 29 | 357 |
| 小児科 | 174 | 192 | 137 | 130 | 164 | 201 | 208 | 495 | 311 | 194 | 184 | 166 | 2,556 |
| 外科 | 45 | 64 | 54 | 37 | 37 | 34 | 36 | 35 | 46 | 24 | 21 | 21 | 454 |
| 整形外科 | 121 | 124 | 105 | 126 | 147 | 126 | 100 | 100 | 107 | 96 | 74 | 88 | 1,314 |
| 脳神経外科 | 78 | 79 | 73 | 70 | 86 | 78 | 70 | 63 | 82 | 63 | 36 | 69 | 847 |
| 皮膚科 | 40 | 52 | 45 | 49 | 64 | 55 | 39 | 29 | 32 | 37 | 21 | 26 | 489 |
| 泌尿器科 | 23 | 24 | 27 | 40 | 28 | 29 | 30 | 17 | 34 | 29 | 19 | 14 | 314 |
| 産婦人科 | 22 | 42 | 22 | 20 | 37 | 32 | 48 | 46 | 46 | 30 | 30 | 31 | 406 |
| 眼科 | 14 | 28 | 8 | 11 | 15 | 21 | 11 | 16 | 18 | 9 | 4 | 3 | 158 |
| 耳鼻いんこう科 | 23 | 38 | 10 | 22 | 30 | 32 | 21 | 20 | 31 | 27 | 28 | 31 | 313 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 神経科精神科 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 5 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯科口腔外科 | 15 | 17 | 17 | 10 | 13 | 9 | 8 | 5 | 10 | 7 | 5 | 7 | 123 |
| 合計 | 882 | 1,069 | 782 | 836 | 1,018 | 1,010 | 969 | 1,325 | 1,204 | 996 | 765 | 799 | 11,655 |
| 入院患者数(再掲) | 100 | 109 | 102 | 95 | 123 | 116 | 145 | 134 | 187 | 173 | 122 | 140 | 1,546 |
| 救急車台数 | 122 | 146 | 125 | 149 | 154 | 130 | 117 | 118 | 152 | 175 | 116 | 123 | 1,627 |

平成22年度

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|--------|
| 内科 | 255 | 319 | 257 | 266 | 392 | 305 | 271 | 297 | 338 | 423 | 339 | 331 | 3,793 |
| 神経内科 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 14 |
| 消化器科 | 6 | 15 | 7 | 5 | 14 | 8 | 8 | 8 | 14 | 7 | 8 | 14 | 114 |
| 循環器科 | 30 | 28 | 16 | 20 | 22 | 20 | 22 | 24 | 26 | 30 | 13 | 29 | 280 |
| 小児科 | 154 | 227 | 154 | 190 | 168 | 126 | 156 | 148 | 244 | 205 | 185 | 227 | 2,184 |
| 外科 | 34 | 57 | 29 | 35 | 37 | 35 | 33 | 32 | 21 | 31 | 14 | 22 | 380 |
| 整形外科 | 94 | 107 | 93 | 142 | 138 | 109 | 138 | 117 | 90 | 124 | 119 | 98 | 1,369 |
| 脳神経外科 | 67 | 70 | 69 | 66 | 79 | 54 | 61 | 59 | 60 | 64 | 52 | 53 | 754 |
| 皮膚科 | 24 | 42 | 39 | 63 | 62 | 58 | 27 | 30 | 25 | 21 | 20 | 17 | 428 |
| 泌尿器科 | 24 | 31 | 30 | 34 | 36 | 37 | 24 | 27 | 24 | 21 | 17 | 20 | 325 |
| 産婦人科 | 13 | 43 | 19 | 24 | 35 | 40 | 42 | 35 | 58 | 41 | 30 | 41 | 421 |
| 眼科 | 7 | 23 | 11 | 13 | 10 | 17 | 14 | 12 | 3 | 11 | 9 | 9 | 139 |
| 耳鼻いんこう科 | 34 | 39 | 22 | 22 | 33 | 22 | 30 | 23 | 31 | 21 | 15 | 30 | 322 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 神経科精神科 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 麻酔科 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯科口腔外科 | 11 | 6 | 6 | 9 | 13 | 8 | 12 | 7 | 6 | 4 | 4 | 3 | 89 |
| 合計 | 756 | 1,010 | 753 | 891 | 1,040 | 843 | 839 | 821 | 940 | 1,005 | 828 | 894 | 10,620 |
| 入院患者数(再掲) | 127 | 144 | 127 | 146 | 162 | 130 | 134 | 152 | 151 | 194 | 137 | 161 | 1,765 |
| 救急車台数 | 114 | 113 | 113 | 147 | 185 | 131 | 130 | 134 | 121 | 169 | 129 | 149 | 1,635 |

(7) 患者搬送の状況

(順不同)

| | 平成20年度 | | 平成21年度 | | 平成22年度 | |
|-----|--------|----------------|--------|----------------|--------|----------------|
| | | 周産期医療 関係搬送数 | | 周産期医療 関係搬送数 | | 周産期医療 関係搬送数 |
| 市 内 | 11 | | 9 | | 7 | |
| 県 内 | 67 | 10 | 67 | 9 | 52 | 5 |
| 石川県 | 2 | | 5 | 2 | 5 | 1 |
| 岐阜県 | 2 | | 1 | | | |
| 愛知県 | 2 | | | | 2 | |
| 大阪府 | | | 2 | | 2 | 1 |
| 京都府 | 2 | | 1 | | 2 | |
| 滋賀県 | 1 | | | | 1 | |
| 岡山県 | 1 | | | | | |
| 合計 | 88 | 10 | 85 | 11 | 71 | 7 |

平成20年度より、母体搬送等周産期医療関係の搬送数を掲載。

2 総合健診の状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 20年度 | 1日ドック | 18 | 17 | 21 | 43 | 69 | 46 | 48 | 34 | 66 | 26 | 22 | 432 |
| | 2日ドック | 0 | 3 | 2 | 10 | 8 | 7 | 9 | 10 | 5 | 4 | 2 | 63 |
| | 政管一般 | 11 | 66 | 150 | 126 | 93 | 118 | 129 | 84 | 68 | 36 | 87 | 1,023 |
| | 政管ドック | 2 | 0 | 5 | 2 | 0 | 3 | 4 | 6 | 8 | 1 | 3 | 36 |
| | 2次検査 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 金額 | 1,075,204 | 2,368,125 | 4,103,592 | 5,437,090 | 5,684,219 | 4,997,943 | 5,511,020 | 4,115,638 | 4,928,315 | 2,433,803 | 3,074,667 | 2,483,672 | 46,213,288 |
| 21年度 | 1日ドック | 2 | 15 | 29 | 46 | 50 | 40 | 38 | 53 | 55 | 23 | 26 | 399 |
| | 2日ドック | 0 | 2 | 6 | 5 | 7 | 3 | 2 | 5 | 2 | 5 | 3 | 48 |
| | 政管一般 | 16 | 112 | 132 | 127 | 94 | 99 | 149 | 115 | 72 | 57 | 141 | 1,176 |
| | 政管ドック | 1 | 2 | 2 | 4 | 5 | 3 | 6 | 1 | 3 | 2 | 6 | 36 |
| | 2次検査 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 金額 | 454,461 | 2,852,574 | 4,266,280 | 5,117,841 | 4,826,815 | 4,119,606 | 4,803,963 | 4,683,541 | 4,181,180 | 2,430,274 | 4,116,450 | 2,923,946 | 44,776,931 |
| 22年度 | 1日ドック | 4 | 21 | 24 | 49 | 66 | 47 | 37 | 47 | 59 | 29 | 20 | 427 |
| | 2日ドック | 0 | 3 | 2 | 11 | 9 | 7 | 3 | 3 | 2 | 2 | 4 | 47 |
| | 政管一般 | 39 | 122 | 180 | 126 | 95 | 118 | 144 | 125 | 81 | 52 | 125 | 1,285 |
| | 政管ドック | 3 | 5 | 13 | 5 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 0 | 4 | 50 |
| | 1次検査 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 金額 | 939,628 | 3,668,849 | 4,889,381 | 5,629,985 | 5,711,960 | 4,908,134 | 4,730,133 | 5,188,481 | 4,363,808 | 2,638,009 | 3,764,778 | 2,760,172 | 49,193,318 |

3 中央手術室業務の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 内 科 | | | |
| 神 経 内 科 | 29 | 41 | 29 |
| 消 化 器 科 | | | |
| 循 環 器 科 | | | |
| 小 児 科 | 0 | 0 | 0 |
| 外 科 | 406 | 421 | 472 |
| 整 形 外 科 | 404 | 438 | 400 |
| 脳 神 経 外 科 | 57 | 45 | 64 |
| 皮 膚 科 | 3 | 35 | 18 |
| 泌 尿 器 科 | 130 | 135 | 125 |
| 産 婦 人 科 | 108 | 87 | 115 |
| 眼 科 | 226 | 137 | 128 |
| 耳 鼻 い ん こ う 科 | 13 | 8 | 16 |
| 放 射 線 科 | 0 | 0 | 0 |
| 神 経 科 精 神 科 | 0 | 0 | 0 |
| 麻 酔 科 | 0 | 2 | 0 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 29 | 30 | 28 |
| 合 計 | 1,405 | 1,379 | 1,395 |

4 種類別麻酔件数

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 全 身 麻 酔 | 718 | 736 | 805 |
| 腰 椎 麻 酔 ・ 硬 膜 外 麻 酔 | 216 | 238 | 206 |
| 局 所 麻 酔 | 471 | 405 | 382 |
| そ の 他 | 0 | 0 | 2 |
| 合 計 | 1,405 | 1,379 | 1,395 |

5 内視鏡検査件数

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 食 道 ・ 胃 ・ 十 二 指 腸 | 3,158 | 3,316 | 3,439 |
| 膵 ・ 胆 道 | 89 | 100 | 113 |
| 大 腸 | 1,019 | 1,065 | 1,093 |
| 気 管 支 | 73 | 85 | 104 |
| 合 計 | 4,339 | 4,566 | 4,749 |

6 周産期医療の状況

| | 平成20年度 | | | | | | | | | | 平成21年度 | | | | | | | | | | 平成22年度 | | | | | | | | | |
|-----|--------|----|-----|------|----|----|-----|------------------------|------|----|--------|------|----|----|-----|------------------------|------|----|-----|------|--------|----|----|------------------------|----|----|----|----|----|----|
| | 正常分娩 | | | 異常分娩 | | | 合計 | 助産師外来 の開設状況 (延数) | 正常分娩 | | | 異常分娩 | | | 合計 | 助産師外来 の開設状況 (延数) | 正常分娩 | | | 異常分娩 | | | 合計 | 助産師外来 の開設状況 (延数) | | | | | | |
| | 成熟 | 早産 | 小計 | 成熟 | 早産 | 小計 | | | 成熟 | 早産 | 小計 | 成熟 | 早産 | 小計 | | | 成熟 | 早産 | 小計 | 成熟 | 早産 | 小計 | | | 成熟 | 早産 | 小計 | | | |
| | | | | | | | 成熟 | 早産 | | | | | | | 小計 | 成熟 | | | | | | | 早産 | 小計 | | | | 成熟 | 早産 | 小計 |
| 4月 | 28 | 0 | 28 | 3 | 1 | 4 | 32 | 6 | 22 | 0 | 22 | 5 | 1 | 6 | 28 | 10 | 19 | 0 | 19 | 7 | 0 | 7 | 26 | 6 | | | | | | |
| 5月 | 26 | 0 | 26 | 5 | 0 | 5 | 31 | 4 | 26 | 0 | 26 | 8 | 0 | 8 | 34 | 6 | 25 | 0 | 25 | 8 | 0 | 1 | 9 | 34 | 1 | | | | | |
| 6月 | 19 | 0 | 19 | 3 | 1 | 4 | 23 | 12 | 22 | 0 | 22 | 3 | 0 | 3 | 25 | 9 | 26 | 0 | 26 | 4 | 0 | 4 | 30 | 4 | | | | | | |
| 7月 | 24 | 0 | 24 | 5 | 0 | 5 | 29 | 15 | 26 | 0 | 26 | 11 | 0 | 11 | 37 | 9 | 22 | 0 | 22 | 7 | 0 | 7 | 29 | 6 | | | | | | |
| 8月 | 23 | 0 | 23 | 12 | 0 | 12 | 35 | 8 | 26 | 2 | 28 | 3 | 0 | 3 | 31 | 5 | 24 | 0 | 24 | 3 | 0 | 3 | 27 | 6 | | | | | | |
| 9月 | 30 | 0 | 30 | 5 | 0 | 5 | 35 | 6 | 21 | 0 | 21 | 3 | 1 | 4 | 25 | 10 | 19 | 0 | 19 | 13 | 0 | 1 | 14 | 33 | 4 | | | | | |
| 10月 | 23 | 0 | 23 | 10 | 0 | 10 | 33 | 16 | 32 | 1 | 33 | 2 | 0 | 2 | 35 | 8 | 18 | 0 | 18 | 8 | 0 | 2 | 10 | 28 | 6 | | | | | |
| 11月 | 24 | 1 | 25 | 6 | 0 | 6 | 31 | 12 | 22 | 0 | 22 | 5 | 0 | 5 | 27 | 2 | 19 | 0 | 19 | 6 | 0 | 6 | 25 | 7 | | | | | | |
| 12月 | 25 | 1 | 26 | 6 | 0 | 6 | 32 | 10 | 25 | 2 | 27 | 4 | 0 | 4 | 31 | 5 | 14 | 0 | 14 | 7 | 0 | 1 | 8 | 22 | 5 | | | | | |
| 1月 | 23 | 2 | 25 | 4 | 0 | 4 | 29 | 8 | 20 | 2 | 22 | 6 | 0 | 6 | 28 | 5 | 23 | 0 | 23 | 5 | 0 | 0 | 5 | 28 | 12 | | | | | |
| 2月 | 19 | 0 | 19 | 4 | 0 | 4 | 23 | 5 | 20 | 1 | 21 | 4 | 0 | 4 | 25 | 12 | 14 | 0 | 14 | 2 | 0 | 1 | 3 | 17 | 10 | | | | | |
| 3月 | 17 | 0 | 17 | 10 | 0 | 10 | 27 | 6 | 20 | 0 | 20 | 3 | 1 | 4 | 24 | 7 | 20 | 0 | 20 | 10 | 0 | 0 | 10 | 30 | 13 | | | | | |
| 合計 | 281 | 4 | 285 | 73 | 2 | 75 | 360 | 108 | 282 | 8 | 290 | 57 | 3 | 60 | 350 | 88 | 243 | 0 | 243 | 80 | 0 | 6 | 86 | 329 | 80 | | | | | |

分娩・・・妊娠12週以後
 異常分娩・・・帝王切開、吸引等保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)により、医師の診療が必要とされる分娩
 早産・・・妊娠37週未満(早産児)
 流産・・・妊娠12週以降22週未満の流産

平成20年度より「助産師外来の開設状況」の欄を掲載。

7 薬剤室業務の状況

(1) 調剤業務の状況

| | | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-----------|----|---------|--------|--------|
| 調 剤 数 | 外来 | 219,655 | 14,116 | 12,622 |
| | 入院 | 29,575 | 60,468 | 69,048 |
| | 合計 | 249,230 | 74,584 | 81,670 |
| 処 方 箋 枚 数 | 外来 | 6,807 | 7,941 | 6,643 |
| | 入院 | 9,723 | 30,696 | 36,341 |
| | 合計 | 16,530 | 38,637 | 42,984 |

※ 電子カルテ導入に伴い、平成21年度より算出方法を変更した。

(2) 薬品の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|---------------------------------|---------|---------|---------|
| 取 扱 品 目 (品 目) | 1,301 | 1,155 | 1,155 |
| 薬 品 収 入 (A) (千 円) | 107,930 | 106,729 | 113,315 |
| 薬 品 費 (B) (千 円) | 103,798 | 96,586 | 108,977 |
| 薬 品 使 用 効 率 (A) / (B) (%) | 104.0 | 110.5 | 104.0 |

(3) 服薬指導の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 服 薬 指 導 患 者 数 | 1,812 | 2,356 | 2,394 |
| 服 薬 指 導 延 回 数 | 2,247 | 2,987 | 2,872 |

(4) 注射剤調製の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 外 来 注 射 (化 学 療 法) | 890 | 1,241 | 1,255 |
| 外来注射(レミケード注他抗リウマチ薬) | 13 | 41 | 48 |
| 入 院 注 射 (化 学 療 法) | 400 | 309 | 378 |
| 入院注射(レミケード注他抗リウマチ薬) | 18 | 42 | 37 |
| 入 院 注 射 (中 心 静 脈) | 0 | 0 | 0 |

8 放射線科(室)の状況

(1)撮影の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 一般撮影 | 29,717 | 29,646 | 30,612 |
| 尿路撮影(DIP) | 331 | 302 | 235 |
| 透視撮影 | 1,178 | 1,085 | 1,013 |
| 血管造影撮影 | 464 | 582 | 580 |
| C T (2 台) | 11,361 | 11,592 | 11,701 |
| M R I (1 台) | 3,616 | 3,660 | 3,926 |
| 超音波診断 | 3,819 | 3,795 | 3,783 |
| R I | 1,069 | 1,126 | 870 |
| 放射線治療 | 1,688 | 719 | 1,135 |
| 骨密度測定 | 324 | 383 | 634 |
| マンモグラフィー | 1,144 | 1,340 | 1,566 |
| 合計 | 54,711 | 54,230 | 56,055 |

(2)フィルム使用の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|---------|---------|--------|--------|
| 半切 | 17,609 | 8,760 | |
| 半切CR用 | 76,653 | 51,298 | 495 |
| 大角 | 14,168 | 5,832 | |
| 大四切 | 10,823 | 5,671 | |
| 四切 | 9,923 | 4,934 | |
| 六切 | 5,876 | 2,711 | |
| 18×24 | 4,153 | 2,095 | |
| CR-MMG | | 1,257 | 5,385 |
| B4版CR用 | | | 95 |
| コピーフィルム | 4,892 | 4,531 | |
| CD/DVD | | 746 | 1,566 |
| 合計 | 144,097 | 87,835 | 7,541 |

(3)血管撮影検査の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 脳神経外科 | 66 | 79 | 94 |
| 循環器科 | 322 | 377 | 374 |
| 放射線科 | 76 | 126 | 109 |
| 合計 | 464 | 582 | 577 |

(4) MRI検査の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 院内件数 | 3,263 | 3,341 | 3,566 |
| 院外件数 | 353 | 319 | 360 |
| 合計 | 3,616 | 3,660 | 3,926 |
| 頭部件数 | 1,860 | 1,746 | 1,889 |
| 体部件数 | 1,756 | 1,914 | 2,037 |
| 合計 | 3,616 | 3,660 | 3,926 |

(5) CT検査の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|------------|--------|--------|--------|
| M D C T | 8,522 | 8,660 | 7,869 |
| Single C T | 2,839 | 2,932 | 3,832 |
| 合計 | 11,361 | 11,592 | 11,701 |
| 院内件数 | 11,115 | 11,366 | 11,426 |
| 院外件数 | 246 | 226 | 275 |
| 合計 | 11,361 | 11,592 | 11,701 |

(6) 核医学検査の状況

| | | 平成20年度 | | 平成21年度 | | 平成22年度 | |
|-------|-----------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
| 脳神経系 | 脳血流 | 140 | 145 | 134 | 137 | 99 | 108 |
| | 脳血流(負荷) | 2 | | 3 | | 9 | |
| | 脳 | | | | | | |
| | 脳槽 | 2 | | | | | |
| | シャントフロー | 1 | | | | | |
| 循環器系 | 心筋血流(同期) | 73 | 300 | 111 | 439 | 23 | 272 |
| | 心筋脂肪酸代謝 | 25 | | 91 | | 12 | |
| | 心筋交感神経 | 43 | | 74 | | 18 | |
| | 急性心筋梗塞 | 8 | | 10 | | 6 | |
| | 代謝+血流同時 | 50 | | 84 | | 74 | |
| | 負荷心筋(運動) | 49 | | 32 | | 60 | |
| | 負荷心筋(薬剤) | 33 | | 24 | | 66 | |
| | 心プール | 3 | | 4 | | 5 | |
| | 四肢血流(上肢) | | | 1 | | 1 | |
| | 四肢血流(下肢) | 4 | | 5 | | 7 | |
| | 静脈血栓 | 11 | | 3 | | | |
| | 循環血漿流量 | 1 | | | | | |
| 呼吸器系 | 肺血流 | 18 | 22 | 22 | 55 | 10 | 13 |
| | 肺換気 | 1 | | 29 | | 3 | |
| | 静脈血栓 | 3 | | 4 | | | |
| 消化器系 | 肝 | 1 | 24 | | 21 | 1 | 16 |
| | 胆道 | | | 4 | | | |
| | 唾液腺 | 8 | | 8 | | 3 | |
| | メッケル憩室 | | | | | 1 | |
| | 蛋白漏出試験 | 7 | | 9 | | 5 | |
| | 異所性胃粘膜 | | | | | | |
| | 胃排泄能試験 | | | | | | |
| | 門脈循環短絡 | | | | | 1 | |
| 消化管出血 | 8 | | 5 | | | | |
| 内分泌系 | 甲状腺 | 6 | 7 | 11 | 12 | 6 | 7 |
| | 副甲状腺 | 1 | | 1 | | 1 | |
| 腎尿路系 | レノグラム | 47 | 59 | 45 | 63 | 23 | 36 |
| | レノグラム(負荷) | 1 | | 3 | | 4 | |
| | 腎 | 9 | | 11 | | 9 | |
| | 副腎 | 2 | | 4 | | | |
| | 精巣 | | | | | | |
| 全身検索系 | 骨 | 217 | 377 | 227 | 399 | 243 | 418 |
| | 腫瘍・炎症 | 160 | | 169 | | 168 | |
| | 骨髄 | | | 1 | | | |
| | リンパ節 | | | 2 | | 7 | |
| | 筋血流 | | | | | | |
| 合計 | | 934 | | 1,126 | | 870 | |

(7) 放射線治療の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 新患者数 | 96 | 43 | 48 |
| 延治療件数 | 1,688 | 719 | 1,135 |

(8)マンモグラフィーの状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| ドック件数 | 382 | 382 | 388 |
| ドック外件数 | 762 | 958 | 1,178 |
| 合計 | 1,144 | 1,340 | 1,566 |

(9)骨密度検査の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-----|--------|--------|--------|
| 延件数 | 324 | 383 | 634 |

(10)エコー検査の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 頸部 | 334 | 384 | 365 |
| 頸部血管 | 500 | 456 | 272 |
| 乳腺 | 698 | 840 | 997 |
| 腹部 | 2,194 | 1,996 | 2,017 |
| 四肢血管 | 86 | 108 | 113 |
| その他 | 7 | 11 | 19 |
| 合計 | 3,819 | 3,795 | 3,783 |

9 人工透析の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 多人数用装置 | 12,719 | 13,189 | 14,219 |
| 単身用装置 | 218 | 182 | 329 |
| 合計 | 12,937 | 13,371 | 14,548 |

平成22年度末現在

患者数(定期) 103人

多人数用装置設置台数 22台(透析センター)

単身用装置設置台数 2台(透析センター1台、HCU 1台)

イーカム用血液浄化機 3台(MEセンター 2台、HCU 1台)

※単身用装置実績にイーカム用も含む。

10 臨床検査の状況

(1) 各種検査件数

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 検 尿 検 便 | 369,329 | 379,301 | 384,611 |
| 検 血 | 368,063 | 367,695 | 390,492 |
| 生 化 学 | 944,712 | 927,707 | 994,502 |
| 細 菌 | 89,796 | 87,613 | 97,102 |
| 生 理 機 能 | 23,020 | 23,271 | 22,269 |
| そ の 他 | 18,908 | 20,485 | 23,982 |
| 合 計 | 1,813,828 | 1,806,072 | 1,912,958 |

(2) 生理機能検査件数

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 12誘導心電図検査 | 14,365 | 14,399 | 14,770 |
| 3分間心電図 | 79 | 71 | 54 |
| マスター負荷心電図 | 1,120 | 879 | 627 |
| 簡易ベクトル心電図 | 65 | 59 | 1 |
| ホルター心電図 | 1,464 | 1,147 | 487 |
| 心臓超音波 | 2,792 | 3,138 | 2,786 |
| 脳波検査 | 218 | 228 | 245 |
| 神経電導検査 | 127 | 99 | 142 |
| 聴性脳幹反応 | 8 | 23 | 26 |
| スパイロメトリー | 1,973 | 2,101 | 2,026 |
| 可逆性試験 | 78 | 86 | 103 |
| 精密肺機能検査 | 13 | 7 | 3 |
| 咳テスト | | | |
| A B I / P W V | 387 | 632 | 541 |
| C V R - R | 26 | 7 | 10 |
| 心臓カテーテル | 280 | 331 | 372 |
| O D テ ス ト | 3 | 24 | 40 |
| 聴力検査 | | | |
| 終夜睡眠ポリグラフィー(簡易) | 10 | 16 | 10 |
| 終夜睡眠ポリグラフィー | 12 | 24 | 26 |
| 合 計 | 23,020 | 23,271 | 22,269 |

(3) 血液製剤使用量(単位数)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 赤血球 | 1,663 | 1,639 | 2,204 |
| 血小板 | 910 | 690 | 1,370 |
| 新鮮凍結血漿 | 364 | 203 | 545 |
| 自己血 | 40 | 12 | 24 |
| アルブミン | 3,491 | 3,256 | 4,305 |
| 合計 | 6,468 | 5,800 | 8,448 |

11 リハビリテーションの状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-----|--------|--------|--------|
| 運動 | 29,221 | 31,628 | 33,062 |
| 水治療 | 564 | 488 | 351 |
| 物理 | 3,500 | 5,750 | 3,393 |
| 作業 | 9,256 | 9,791 | 12,557 |
| 装具 | 4 | 2 | 4 |
| 言語 | 7,246 | 6,506 | 8,285 |
| 摂食 | 201 | 374 | 219 |
| 合計 | 49,992 | 54,539 | 57,871 |

12 患者給食の状況

| | | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|------|------|---------|---------|---------|
| 普通食 | 通常 | 57,841 | 56,240 | 57,636 |
| | 軟食 | 53,474 | 65,234 | 65,047 |
| | 流動食 | 3,293 | 2,252 | 3,136 |
| | 小計 | 114,608 | 123,726 | 125,819 |
| 特別食 | 外来透析 | 882 | 882 | 560 |
| | その他 | 116,024 | 104,292 | 112,631 |
| | 小計 | 116,906 | 105,174 | 113,191 |
| 付添食 | | 1,515 | 444 | 443 |
| 職員食 | | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 233,029 | 229,344 | 239,453 |
| 栄養指導 | 個人指導 | 97 | 107 | 747 |
| | 集団指導 | 15 | 20 | 6 |
| | 合計 | 112 | 127 | 753 |

13 死亡患者数及び病理解剖件数

| | 死亡患者数 | | | 病理解剖件数 | | | 病理解剖検査率 | | |
|--------|-------|-----|-----|--------|----|----|---------|------|------|
| | | 男 | 女 | | 男 | 女 | | 男 | 女 |
| 平成14年度 | 224 | 141 | 83 | 32 | 17 | 15 | 14.3 | 12.1 | 18.1 |
| 平成15年度 | 217 | 151 | 66 | 24 | 16 | 8 | 11.1 | 10.6 | 12.1 |
| 平成16年度 | 257 | 151 | 106 | 25 | 17 | 8 | 9.7 | 11.3 | 7.5 |
| 平成17年度 | 193 | 113 | 80 | 15 | 9 | 6 | 7.8 | 8.0 | 7.5 |
| 平成18年度 | 262 | 147 | 115 | 11 | 3 | 8 | 4.2 | 2.0 | 7.0 |
| 平成19年度 | 288 | 170 | 118 | 16 | 9 | 7 | 5.6 | 5.3 | 5.9 |
| 平成20年度 | 300 | 199 | 101 | 12 | 10 | 2 | 4.0 | 5.0 | 2.0 |
| 平成21年度 | 252 | 156 | 96 | 12 | 9 | 3 | 4.8 | 5.8 | 3.1 |
| 平成22年度 | 226 | 142 | 84 | 10 | 8 | 2 | 4.4 | 5.6 | 2.4 |

* 平成21年度から、電子カルテ導入に伴い、死亡退院数を死亡患者数として扱う。

14 地域医療連携の状況

(1) 紹介及び逆紹介の状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 全診療情報提供書受理数 | 4,101 | 3,969 | 4,265 |
| 紹介患者(初診) A | 2,228 | 1,703 | 1,888 |
| 初診料算定患者 B | 16,275 | 15,779 | 15,617 |
| 外来初診後即入院患者 C | 847 | 747 | 1,135 |
| 外来時間外初診患者 D | 5,577 | 6,234 | 5,202 |
| 逆紹介数(診療情報料算定) E | 3,240 | 3,066 | 3,335 |
| 紹介率(*1) | 28.7 | 25.7 | 29.0 |
| 逆紹介率(*2) | 30.3 | 32.1 | 32.0 |

(*1) 紹介率 = $[(A+C) / (B-D)] \times 100$

(*2) 逆紹介率 = $[E / (B-D)] \times 100$

(2) 亜急性期病床の状況

| 平成21年度 | | 平成22年度 | |
|--------|--------|--------|--------|
| 患者数(人) | 延日数(日) | 患者数(人) | 延日数(日) |
| 167 | 2,736 | 136 | 3,904 |

(3) ボランティアの活動状況

平成22年度

○活動人数 18名

○活動時間

午前8時～午後0時

○活動内容

・新規患者受付の説明及び手伝い

・再診受付機の説明

・自動精算機の説明及び手伝い

・車椅子の整備(空気入れ等)

・子供連れの方への受診手伝い

・各科外来、検査室までの案内

・受診の付添い

・入院時の病棟までの案内

○活動状況

・活動人数 752人

・活動日数 243日

・一日平均活動人数 3.1人

15 医療安全の状況

(1) インシデント・アクシデントレポートの提出状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 増減 |
|----------|--------|--------|--------|-----|
| 注 射 | 163 | 202 | 285 | 83 |
| 与 薬 | 135 | 174 | 224 | 50 |
| 調 剤 | 71 | 51 | 139 | 88 |
| 窒 息 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 転 倒 | 84 | 102 | 174 | 72 |
| ドレーン自己抜去 | 42 | 29 | 50 | 21 |
| そ の 他 | 784 | 864 | 1,234 | 370 |
| 合 計 | 1,281 | 1,422 | 2,107 | 685 |

(2) 根本原因分析の実施状況

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 増減 |
|----|--------|--------|--------|----|
| 合計 | 31 | 17 | 21 | 4 |

16 救急蘇生災害医療部会（災害部門）の活動状況

本部会は、「災害時に病院職員が適切な行動をとれること」、「1人でも多くの命を守ること」を目標にしている。今年度はDMAT研修への参加・災害時の初動対応について活動を行った。

(1) 活動計画

① DMAT 講演会

平成22年9月30日（木）に公立小浜病院の大森啓子先生を講師に招き「災害拠点病院の中でのDMATの役割」を題材とした全職員を対象の講演会を行った。DMATの役割・災害時におけるDMATの活動を学ぶことで、DMATについての理解が深まった。

② 災害対策本部研修会

平成22年10月18日（月）に長浜赤十字病院の金澤豊先生を講師に招き、「災害対策本部研修会～災害時の危機対応について～」を題材とした管理職対象の研修会を行った。災害対策本部の必要性・災害時の災害対策本部立上げまでの流れ、トリアージポイントの設置の場所について学び、災害対策本部の災害時における役割について理解が深まった。

③ 防災訓練の実施

平成22年11月4日（木）に参加者119名（病院職員113名、消防署職員6名）で防災訓練を行った。大地震を想定し、地震による火災・災害対策本部の設置・被災者の受入れ（トリアージ）を行った。実践に即した形式での訓練を行うことで、院内の連絡体制・トリアージポイント・トリアージまでの準備・全体の流れ等の改善すべきポイントが理解でき、次回の防災訓練に繋がる訓練であった。参加者からは実際の場面での不安がある、トリアージ訓練に参加したい等の声があり、次年度以降も引き続き、災害時での防災対応の強化を図りたい。

④ DMAT 研修会参加

平成23年2月16日（水）～平成23年2月19日（土）の期間、兵庫県災害医療センターにて行われた研修会（DMAT第1班編成）に参加した。次年度以降の市立敦賀病院におけるDMATの増員（第2班・第3班編成）を目指して準備していき、災害時に強い病院を作っていきたい。

(2) 活動の振り返り

今年度はDMAT研修に参加したことにより、市立敦賀病院として初めてのDMATができた。次年度も引き続き、DMAT研修に参加してDMATを増設したい。

また、東日本大震災を受けた院内マニュアルの見直し・防災訓練・トリアージ訓練を実施して、さらなる防災機能の強化を検討していきたい。

17 救急蘇生災害医療部会（救急部門）の活動状況

本部会は、院内における救急蘇生の技術向上を目的として活動している。前年度に引き続き ICLS コースの教育と参加を重点目標とした。

(1) 活動計画

① BLS 講習会

コメディカル、事務等の職員を対象として実施する。

② ICLS 講習会（年3回）

広域（嶺南や湖北）から受講生やインストラクター協力を呼びかけて、地域の拠点として活動していく。また、今年度はより多くの職員に参加してもらう為に、前年度（年2回実施）よりも多い年3回実施とする。

③ 救命処置訓練

部署でのコードブルーの発信から救命までの訓練を実施する。

(2) 年間活動

① BLS 講習会

平成23年2月1日（火）～平成23年2月4日（金） 計4日間

受講者人数 29名

② ICLS 講習会

第4回…平成22年6月26日 受講者人数 21名

第5回…平成22年10月23日 受講者人数 13名

第6回…平成23年1月29日 受講者人数 18名

③ 救命処置訓練

実施することができなかった。

(3) 活動の振り返り

① BLS 講習会

コメディカル、事務等の職員に体験してもらう事で、病院全体の意識向上に繋がった。今後も継続していき、多くの職員が参加できる機会を作る必要がある。

② ICLS 講習会

ICLSは前年度よりも多い年3回の開催を行い、多くの職員の参加があった。今後も引き続き継続していく事業であるが、コース運営に必要な器材はすべて院外からの借用に頼っている現状であるため、次年度はハートシムや気道管理トレーナーなどの購入も検討していきたい。また、前年度に引き続き院外への広報活動にも力を入れていきたい。

18 TQM 委員会の活動状況

当院における医療及び業務の質の向上を図り、良質な医療を提供するため、平成 21 年 5 月に当該委員会を設置した。平成 22 年度は、13 のサークルが、問題、課題を設定し、研究・打合せを重ね、平成 23 年 2 月 26 日に TQM 大会において、院内職員に向けて発表した。

| 発表順 | テーマ | サークル名 (所属) |
|-----|---------------------------------------|--------------------------------|
| 1 | 心臓カテテル検査 ～オリエンテーションの見直し～ | CUORE (北 4 階病棟) |
| 2 | 申し送り時間の意識改革 | ナースあおい (北 3 階病棟) |
| 3 | 基礎看護技術指導の統一化に向けて ～指導現場の実状より～ | ゲゲゲ！！We are アラフォー?? (看護研修室) |
| 4 | 超過勤務を減らす取り組みについて ～「定時に帰ろう」を合言葉に～ | NO ZAN (本館 3 階病棟) |
| 5 | 患者誤認防止対策 | おぺれーしょん (中央手術室) |
| 6 | 夜間内服確認時間の短縮 | おばーちゃんの薬箱 (本館 4 階病棟) |
| 7 | ゴミ分別に対する意識向上を目指して ～病棟内の環境を変える～ | ゴミヨシ！針ヨシ！元気ヨシ！ (HCU) |
| 8 | 移動時間削減で、リハビリはもうかる！？ | ホンマでっか！？リハビリ (リハビリテーション室) |
| 9 | 外来待ち時間の短縮 ～「診療後」にも配慮する～ | 秘の泌 ver. 2 (マルヒノマルヒ) (泌尿器科) |
| 10 | コミュニケーション力 UP を目指して ～アクシデントゼロへの一歩～ | おひさま.comm (ドットコム) (検査室) |
| 11 | PDA の効果的な使用を目指して | 必殺仕分け人 (本館 7 階病棟) |
| 12 | どうする持参薬 | アラキー (薬剤室) |
| 13 | 声かけ運動 ～自分の存在を認められるとやりがい度は向上する？～ | ビバ☆サンカ (北 5 階病棟) |

<審査結果>

1 位：ホンマでっか！？リハビリ 2 位：おひさま.comm 3 位：NO ZAN

院長賞：ビバ☆サンカ

V 固定資産状況

1 有形固定資産の取得状況

平成18年度

単位:円

| 品名 | メーカー名 | 金額 | 備考 |
|----------------------|---------------|-------------|------------|
| 免疫発光測定装置 | フクダ電子(株) | 3,360,000 | 検査室 |
| 昇降浴槽 | 酒井医療(株) | 6,510,000 | 本館2階介護浴室 |
| 超音波診断装置 | (株)フィリップス | 36,697,500 | 心エコー室 |
| 解析付多機能心電計 | フクダ電子(株) | 1,270,500 | 本館6階病棟 |
| 医療機器安全解析装置 | フクダ電子(株) | 1,239,000 | MEセンター |
| 3ランクギャッチベッド(木目パネル仕様) | パラマウントベッド(株) | 4,164,300 | 本館6階病棟 |
| セントラルモニタシステム | フクダ電子(株) | 4,704,000 | 内視鏡室 |
| 尿路系X線撮影システム外 | (株)島津製作所 | 23,415,000 | 放射線科 |
| 多用途筋機能評価運動装置 | 酒井医療(株) | 14,490,000 | リハビリテーション科 |
| 生理検査・採血患者案内情報システム | (株)テクノメディカル | 21,945,000 | 検査室 |
| 高気圧酸素治療装置 | 川崎エンジニアリング(株) | 31,899,000 | 高気圧酸素治療室 |
| 合計 | | 149,694,300 | |

平成21年度

単位:円

| 品名 | メーカー名 | 金額 | 備考 |
|-----------|---------------|-----------|--------|
| 人工呼吸器(2台) | フジ・レスピロニクス(株) | 4,305,000 | MEセンター |

2 主要医療機器の設置状況(20,000千円以上の機器)

単位:千円

| 設置場所 | 品名 | 取得年月 | 数量 | 金額 |
|-------------|-------------------------------------|----------|----|---------|
| 中央手術室・中央材料室 | 手術顕微鏡 | 平成6年8月 | 1 | 31,500 |
| 内科外来 | 血管連続撮影装置 | 平成7年1月 | 1 | 248,640 |
| | 心拍変動スペクトラシステム | 平成7年6月 | 1 | 21,788 |
| 本館6階病棟 | 患者監視システム(16人用) | 平成8年5月 | 1 | 24,150 |
| 放射線科 | カラードプラー装置 | 平成8年11月 | 1 | 31,605 |
| | X線骨密度測定器 | 平成9年11月 | 1 | 22,890 |
| | 核医学診断装置(デジタルガンマカメラシステム) | 平成9年12月 | 1 | 139,650 |
| | X線コンピューター断層撮影装置 | 平成10年12月 | 1 | 191,100 |
| 薬剤室 | 全自動錠剤分包機・葉袋印字機 | 平成11年6月 | 1 | 29,715 |
| 内科外来 | 多チャンネル心電図解析記録装置 | 平成11年7月 | 1 | 29,925 |
| 放射線科 | 多用途測定記録装置 | 平成12年5月 | 1 | 25,200 |
| | 核磁気共鳴断層撮影装置 | 平成12年12月 | 1 | 316,733 |
| 検査室 | 多項目自動血球分析装置 | 平成13年12月 | 1 | 34,755 |
| 放射線科 | デジタルガンマカメラ | 平成14年11月 | 1 | 108,150 |
| 内科外来 | 医用リニアアクセレータ | 平成17年3月 | 1 | 382,725 |
| | 位置決め用全身用X線CT装置 | 平成17年3月 | 1 | 68,040 |
| | 二方向型循環器撮影装置 | 平成17年3月 | 1 | 154,875 |
| 中央手術室・中央材料室 | アルファマック手術台 | 平成17年6月 | 6 | 57,918 |
| | 高圧蒸気滅菌装置(クリーン蒸気発生器付)フロアーローディングカート一式 | 平成17年6月 | 1 | 22,365 |
| | 低温プラズマ滅菌システム | 平成17年6月 | 1 | 28,350 |
| 北診療棟5階 | 胎児集中監視システム | 平成17年7月 | 1 | 23,520 |
| 放射線科 | 多目的オールデジタルX線テレビ装置 | 平成17年7月 | 1 | 66,150 |
| | 患者情報統合システム外 | 平成17年7月 | 1 | 33,075 |
| HCU | 生体情報モニター・ベットサイドモニタシステム | 平成17年7月 | 1 | 23,625 |
| | 心血管用超音波診断装置 | 平成17年7月 | 1 | 29,400 |
| | 全身用X線断層撮影装置 | 平成17年11月 | 1 | 236,250 |
| 中央手術室・中央材料室 | 高圧蒸気滅菌装置セミフロアーローディングカート一式 | 平成17年11月 | 1 | 23,373 |
| 放射線科 | 循環器用画像保存装置 | 平成17年11月 | 1 | 23,625 |
| 本館7階病棟 | 無菌病室 | 平成18年3月 | 1 | 45,150 |
| 泌尿器科 | 体外衝撃波結石破碎装置 | 平成18年3月 | 1 | 69,090 |
| 検査室 | 採血管準備システム | 平成18年3月 | 1 | 22,575 |
| 心エコー室 | 超音波診断装置 | 平成18年7月 | 1 | 36,698 |
| 放射線科 | 尿路系X線撮影システム外 | 平成18年8月 | 1 | 23,415 |
| 検査室 | 生理検査・採血患者案内情報システム | 平成18年9月 | 1 | 21,945 |
| 高気圧酸素治療室 | 高気圧酸素治療装置 | 平成18年10月 | 1 | 31,899 |

3 企業債・減価償却の状況

(1) 企業債の年度別状況

単位：千円

| | 発行総額 | 当年度償還高 | 償還高累計 | 未償還残高 | 企業債利息 |
|--------|-----------|---------|-----------|-----------|---------|
| 平成16年度 | 9,608,400 | 344,743 | 1,881,934 | 5,241,466 | 186,974 |
| 平成17年度 | 9,799,400 | 354,613 | 2,011,677 | 7,596,723 | 224,856 |
| 平成18年度 | 9,636,300 | 282,651 | 2,332,942 | 7,303,358 | 220,882 |
| 平成19年度 | 9,765,300 | 291,949 | 2,624,891 | 7,140,409 | 213,853 |
| 平成20年度 | 9,587,400 | 300,312 | 2,747,303 | 6,840,097 | 205,349 |
| 平成21年度 | 9,587,400 | 338,179 | 3,085,481 | 6,501,919 | 195,020 |
| 平成22年度 | 9,587,400 | 386,795 | 3,472,276 | 6,115,124 | 183,512 |

(2) 減価償却額の年度別状況

単位：千円

| | 建物 | 構築物 | 器械・備品 | 車両 | 無形固定資産 | 減価償却費累計 |
|--------|---------|-------|---------|-------|--------|---------|
| 平成16年度 | 70,660 | 2,387 | 207,965 | 1,031 | 38 | 282,081 |
| 平成17年度 | 63,537 | 1,909 | 178,415 | 871 | 19 | 244,751 |
| 平成18年度 | 196,545 | 2,958 | 152,755 | 809 | 0 | 353,067 |
| 平成19年度 | 207,357 | 2,854 | 127,599 | 809 | 0 | 338,619 |
| 平成20年度 | 207,142 | 2,724 | 91,988 | 650 | 0 | 302,504 |
| 平成21年度 | 204,784 | 2,724 | 63,498 | 144 | 0 | 271,150 |
| 平成22年度 | 202,702 | 2,609 | 44,361 | 0 | 0 | 249,672 |

VI 研究業績

1 診療部

内科

(論文発表)

- 1 失神前状態 (presyncope) 病歴と身体診察のポイントと検査の進め方。循環器疾患、とくに起立性低血圧、調節障害を中心に
音羽勘一
総合臨床雑誌 (JIM) Journal of Integrated Medicine20 (12) : 942-945, 2010.

(学会発表)

- 1 SIADH を合併した肺腺癌に対するモザバプタンの長期使用経験
前田拓郎, 高橋秀房, 五十嵐一誠, 音羽勘一, 清水和朗, 小林元夫, 中野学, 浅井純, 三田村康仁, 米島學
第 211 回日本内科学会北陸地方会, 2010 年 6 月, 金沢市.
- 2 カプセル内視鏡にて小腸病変を観察しえた顕微鏡的多発血管炎の 1 例
中川嘉宏, 藤永晴夫, 浅井純, 清水和朗, 小林元夫, 五十嵐一誠, 米島學
第 211 回日本内科学会北陸地方会, 2010 年 6 月, 金沢市.
- 3 乳酸アシドーシスによる高カリウム血症により心室細動を来した MELAS の 1 例
東海林瑞穂, 三田村康仁, 中野学, 音羽勘一
日本循環器学会北陸地方会第 120 回学術集会, 2010 年 7 月, 石川県内灘町.
- 4 SIADH を合併した肺腺癌に対するモザバプタンの長期使用経験
前田拓郎, 高橋秀房, 五十嵐一誠, 音羽勘一, 清水和朗, 小林元夫, 中野学, 浅井純, 三田村康仁, 米島學
第 51 回日本肺癌学会総会, 2010 年 11 月, 広島市.
- 5 原発性心膜リンパ腫が疑われた高齢女性の 1 例
中野学, 正木紀行, 三田村康仁, 音羽勘一
日本循環器学会 第 136 回東海・第 121 回北陸合同地方会, 2010 年 11 月, 金沢市.
- 6 ジスチグミン臭化物によるコリン作動性クリーゼを呈した長期臥床患者の 1 例
西村大, 清水和朗, 小林元夫, 五十嵐一誠, 高橋秀房, 米島學, 藤永晴夫, 浅井純, 三田村康仁, 音羽勘一
第 213 回日本内科学会北陸地方会, 2011 年 3 月, 金沢市.

(講演)

- 1 消化性潰瘍の臨床—NSAID_s、抗血栓薬、ピロリ菌との関連性を中心に—
米島學
小浜医師会学術講演会, 2010年4月, 小浜市.
- 2 高血圧性腎障害に果たす fractalkine/CX3CL1 の意義
清水和朗
第2回 Kanazawa Fibrosis Conference, 2010年5月, 金沢市.
- 3 急性心筋梗塞治療の診断と治療 update
音羽勘一
福井県統一急性心筋梗塞・狭心症連携パス(敦賀エリア)を考える会, 2010年5月, 敦賀市
- 4 針刺し切創サーベランス全国集計結果報告
高橋秀房
第11回嶺南感染コントロールフォーラム, 2010年6月, 若狭町.
- 5 降圧治療における合剤の役割
小林元夫
敦賀市薬剤師会, 2010年7月, 敦賀市.
- 6 循環器疾患における抗血小板薬、抗凝固薬の使用方法和注意点について
音羽勘一
敦賀市薬剤師会講演会, 2010年8月, 敦賀市.
- 7 消化器内視鏡の基本と応用
米島學
高浜内視鏡勉強会, 2010年8月, 高浜町.
- 8 CKD について
清水和朗
敦賀市医師会学術講演会, 2010年9月, 敦賀市.
- 9 Endeavor Stent Clinical Update 2010
音羽勘一
Fukui PCI Live 2010, 2010年11月, 福井市.

- 10 循環器疾患における、抗血小板薬、抗凝固薬の使用法と注意点について
音羽勘一
APO フォーラム若狭, 2010 年 11 月, 小浜市.
- 11 NSAID 潰瘍予防の現状と課題
米島學
敦賀市薬剤師会勉強会, 2010 年 12 月, 敦賀市.

小児科

(学会発表)

- 1 早期の診断確定により両親の受け入れが良好であった X 連鎖 α サラセミア精神遅滞症候群の 1 男児例
萩原悠紀, 平城直子, 平城徹, 安藤徹, 恵谷ゆり*, 岡本伸彦*
第 2 回日本小児科学会福井地方会, 2010 年 11 月, 福井市.
氏名の後ろの【*】は院外の研究者を表す。以下、同様とする。

外科

(学会発表)

- 1 16 年間の経過観察後に切除した小型肺腺癌の 1 例
市橋匠, 木村圭一, 佐藤裕英, 林泰生, 上藤聖子, 加藤成, 木船孝一, 中沼安二*
第 62 回日本肺癌学会北陸支部会, 2010 年 7 月, 富山市.
- 2 当院における LADG の経験 (口演)
上藤聖子, 加藤成, 林泰生, 佐藤裕英
第 4 回 Fukui Endoscopic Surgery Video Conference (FEViC), 2010 年 9 月, 福井市.
- 3 稀な胆嚢癌の小腸及び大腸転移再発を来した 1 例 (ポスター)
加藤成, 佐藤裕英, 渡邊剛史*, 上藤聖子, 林泰生, 市橋匠, 飯田茂穂*, 原田憲一*, 中沼安二*
第 8 回日本消化器外科学会大会, 2010 年 10 月, 横浜市.
- 4 原因不明の可逆性上気道狭窄にレティナ装着で対処中の 1 例
市橋匠, 木村圭一, 佐藤裕英, 林泰生, 上藤聖子, 加藤成, 木船孝一, 五十嵐一誠, 高橋秀房
第 52 回日本呼吸器内視鏡学会合同北陸地方会, 2010 年 11 月, 永平寺町.

- 5 寄生虫感染が原因と考えられる小腸穿孔を合併した回腸子宮内膜症の1例（口演）
加藤成, 佐藤裕英, 上藤聖子, 林泰生, 原田憲一*, 中沼安二*
第72回日本臨床外科学会総会, 2010年11月, 横浜市.
- 6 スピクラとFDGの高度集積から肺癌を強く疑ったが病理が結核結節類似であった1例
市橋匠, 木村圭一, 佐藤裕英, 林泰生, 上藤聖子, 加藤成, 木船孝一, 原田憲一*, 岡沢秀彦*
第63回日本肺癌学会北陸支部会, 2011年2月, 金沢市.

(講演)

- 1 治る肺がんを上手に見つける胸部X線写真読影
市橋匠
平成23年度肺がん個別検診読影研修会(福井県医師会産業医研修会), 2010年5月, 越前市.
- 2 日常診療における動脈疾患診察のポイント - 閉塞性動脈硬化症および大動脈瘤を中心に -
木村圭一
敦賀市医師会学術講演会, 2010年6月, 敦賀市.
- 3 高齢化・重症化する閉塞性動脈疾患 - 整形外科医はどう乗り越えるか -
木村圭一
福井整形外科医フォーラム, 2010年8月, 福井市.
- 4 PAD病変をどう見るか
木村圭一
三方郡医師会講演会, 2011年2月, 美浜町.

整形外科

(学会発表)

- 1 Vitreous preservation of articular cartilage from cryoinjury in rabbits
I. Onari, H. Tsuchiya*, M. Hayashi*, T. Shirai*, K. Hayashi*, H. Nishida*, Y. Tanzawa*, H. Kimura*, A. Takeuchi*, S. Miwa*, K. Tomita*
VIIth Brazillian Congress of Orthopaedic Oncology, April 2010, Recife-Brazil.
- 2 血清MMP-3値が1000ng/ml以上を呈した疾患活動性の高いRA患者3例に対する治療経験
朝田尚宏, 柳下信一.
第54回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2010年4月, 神戸市.

- 3 RA 患者における観血的手術の介入による血清 MMP - 3 の変動について
朝田尚宏, 柳下信一, 大成一誓, 五十嵐健太郎, 田尻和八, 山田義夫
第 3 回 Biologics 研究会, 2010 年 5 月, 福井市.
- 4 大腿骨転子部骨折を受傷した股関節強直の 1 例 (口演)
柳下信一, 朝田尚宏, 田尻和八, 大成一誓, 五十嵐健太郎, 山田義夫
第 185 回北陸整形外科集談会, 2010 年 5 月, 富山市.
- 5 脊椎 instrumentation 使用による難治症例の治療
朝田尚宏
第 2 回嶺南基幹病院整形外科合同カンファレンス, 2010 年 6 月, 美浜町.
- 6 大腿骨転子部骨折を受傷した股関節強直の 1 例 (ポスター)
柳下信一, 朝田尚宏, 田尻和八, 大成一誓, 五十嵐健太郎, 山田義夫
第 36 回日本骨折治療学会, 2010 年 7 月, 千葉市.
- 7 左上腕骨骨折術後偽関節に対し自家骨移植術を併用し人工骨頭挿入術を施行した 1 例
五十嵐健太郎, 朝田尚宏, 田尻和八, 柳下信一, 大成一誓, 山田義夫
第 39 回北陸リウマチ・関節研究会, 2010 年 7 月, 金沢市.
- 8 右尿管・膀胱癌の右肩甲骨関節窩部と右腸骨翼部への同時期の転移性骨腫瘍において病理組織学的に悪性度が異なっていた 1 症例
朝田尚宏, 柳下信一, 大成一誓, 五十嵐健太郎, 田尻和八, 山田義夫
第 43 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会, 2010 年 7 月, 東京都.
- 9 家兔関節軟骨の凍結傷害に対するガラス化法の有用性
大成一誓, 土屋弘行*, 白井寿治*, 西田英司*, 林克洋*, 丹沢義一*, 木村浩明*, 武内章彦*, 三輪真嗣*, 富田勝郎*
第 43 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2010 年 7 月, 東京都.
- 10 高疾患活動性で血清 MMP - 3 値が 1000ng/ml 以上を呈した RA 患者 4 例に対する治療経験
朝田尚宏, 柳下信一, 大成一誓, 五十嵐健太郎, 田尻和八
第 22 回中部リウマチ学会, 2010 年 9 月, 新潟市.

- 11 Vitreous preservation of articular cartilage from cryoinjury in rabbits
I. Onari, H. Tsuchiya*, M. Hayashi*, T. Shirai*, K. Hayashi*, H. Nishida*, Y. Tanzawa*, H. Kimura*, A. Takeuchi*, S. Miwa*, K. Tomita*
7th Combined Meeting of the Orthopaedic Research Societies, October 2010, Kyoto.
- 12 血清 MMP - 3 値が 900ng/ml 以上の高疾患活動性 RA に対して中等量 PSL の初期導入が有効であった 4 例の治療経験
朝田尚宏, 柳下信一, 大成一誓, 中西章, 田尻和八
第 115 回中部日本整形災害外科学会, 2010 年 10 月, 大阪市.
- 13 大腿骨転子部骨折を受傷した股関節強直の 1 例 (ポスター)
柳下信一, 朝田尚宏, 田尻和八, 大成一誓, 中西章, 山田義夫
第 37 回日本股関節学会, 2010 年 10 月, 福岡市.
- 14 DAA 導入初期に経験したトラブルケース (口演)
柳下信一
第 7 回関節外科懇話会, 2010 年 11 月, 福井市.
- 15 活動性の高い RA 患者における観血的手術の介入による血清 MMP-3 値の変動について
朝田尚宏, 柳下信一, 大成一誓, 中西章, 田尻和八
第 25 回日本臨床リウマチ学会, 2010 年 11 月, 東京都.
- 16 比較的早期に破綻をきたした thrust plate hip prosthesis の 1 例 (ポスター)
柳下信一, 朝田尚宏, 田尻和八, 大成一誓, 中西章, 山田義夫
第 38 回日本関節病学会, 2010 年 11 月, 京都市.
- 17 活動性の高い RA 患者における観血的手術の介入による血清 MMP-3 値の変動について
朝田尚宏
第 1 回湖北嶺南整形カンファレンス, 2010 年 12 月, 敦賀市.
- 18 高齢者大腿骨顆上骨折に対して一期的 TKA を施行した 1 例
柳下信一, 朝田尚宏, 田尻和八, 大成一誓, 中西章, 山田義夫
第 41 回日本人工関節学会, 2010 年 2 月, 千代田区.
- 19 高齢者の肘関節周囲関節内粉碎骨折に対し一期的に人工肘関節全置換術を施行した 2 例
朝田尚宏, 田尻和八, 柳下信一, 大成一誓, 中西章
第 41 回日本人工関節学会, 2010 年 2 月, 千代田区.

- 20 MRSA 感染人工骨頭抜去後の臼蓋骨欠損に対して VCM 含有 GPC とリングカップによる臼蓋
再建を行ったセメント THA の 1 症例
朝田尚宏, 柳下信一, 大成一誓, 田尻和八, 中西章
第 41 回日本人工関節学会, 2010 年 2 月, 千代田区.

(講演会)

- 1 RA 患者における観血的手術の介入による血清 MMP-3 の変動について
朝田尚宏
第 3 回 Biologics 研究会, 2010 年 5 月, 福井市.
- 2 脊椎後縦靭帯骨化症に対する当院における治療戦略
朝田尚宏
敦賀市福祉総合センター講演会, 2010 年 7 月, 敦賀市.
- 3 エタネルセプトの自験例からの考察
朝田尚宏
第 4 回 Biologics 研究会, 2010 年 12 月, 福井市.
- 4 RA と骨粗鬆症について
朝田尚宏
アステラスレクチャーミーティング, 2011 年 1 月, 福井市.
- 5 PAD、LSCS 合併例の治療戦略
朝田尚宏
三方郡医師会講演会, 2011 年 2 月, 美浜町.
- 6 Bio 導入前の関節滑膜切除の介入が RA の経過に及ぼす影響について
朝田尚宏
第 8 回福井 RA フォーラム, 2011 年 3 月, 福井市.

皮膚科

(講演)

- 1 地域医療における褥瘡診療～病診連携の目線から～
朝井靖彦
武生医師会 11 月次医学会, 2010 年 11 月, 越前市.

泌尿器科

(学会発表)

1 膀胱小細胞癌の一例

三原信也, 澤田樹佳, 原田憲一*

第 62 回日本泌尿器科学会西日本総会, 2010 年 11 月, 鹿児島市.

(講演)

1 専門治療と非専門治療—チーム医療を含めて—

澤田樹佳

第 24 回若狭ファーマシストクラブ学術講演会, 2010 年 4 月, 小浜市.

2 当院の前立腺生検について

三原信也

敦賀市医師会学術講演会, 2010 年 9 月, 敦賀市.

3 外来業務の効率化～掲示板の有効活用を目指す～

澤田樹佳

「医療の改善活動」全国大会, 2010 年 10 月, 名古屋市.

4 前立腺がんと前立腺肥大症について

三原信也

敦賀市薬剤師会講演会, 2011 年 3 月, 敦賀市.

産婦人科

(学会発表)

1 大出血をきたした遺残嵌入胎盤の一例

堀香織, 秋元宏輝, 山崎洋

第 70 回福井県産婦人科医会夏期臨床研修会, 2010 年 9 月, 福井市.

2 流産後の大出血のため子宮摘出を余儀なくされた胎盤遺残の一例

前田拓郎, 堀香織, 秋元宏輝, 山崎洋

第 58 回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会総会・学術講演会, 2010 年 9 月, 金沢市.

(講演)

1 望ましい男女関係

山崎洋

敦賀市立栗野中学校性に関する講演会, 2010年7月, 敦賀市.

2 性感染症の知識と予防について

山崎洋

敦賀市立松陵中学校性感染症予防講演会, 2010年7月, 敦賀市.

3 子宮頸癌の予防と北陸のヒト・パピローマウイルス (HPV)

山崎洋

福井県養護教諭研究会冬季研修会, 2011年2月, 福井市.

眼科

(学会発表)

1 中耳炎からうっ血乳頭をきたした症例

①谷 鉄志

第5回福井大学眼科同門会学術研究会, 2010年7月, 福井市.

放射線科

(学会発表)

1 母娘発症のIPHに生じた肝過形成結節の画像

米田憲秀*, 北尾梓*, 小坂一斗*, 小林聡*, 松井修*, 佐藤保則*, 原田憲一*, 中沼安二*,
木船孝一, 浅井純

第24回腹部放射線研究会, 2010年6月, 軽井沢町.

2 NRH5例における画像所見の検討 血行動態解析を中心に

米田憲秀*, 油野裕之*, 吉田耕太郎*, 小坂一斗*, 木船孝一, 小林聡*, 原田憲一*, 吉川淳*,
北川清秀*, 中沼安二*, 松井修*

第17回肝血流動態イメージ研究会, 2011年1月, 横浜市.

麻酔科

(学会発表)

- 1 筋萎縮性側索硬化症合併症例に筋弛緩モニターを用いて術中管理を行った1症例
佐藤倫祥, 川上浩文, 杉浦良啓, 重見研司*
日本麻酔科学会東海・北陸支部第8回学術集会, 2010年9月, 福井市.
- 2 術後薬剤性パーキンソニズムが疑われた1症例
佐藤倫祥, 川上浩文, 杉浦良啓, 重見研司*
日本臨床麻酔学会第30回大会, 2010年11月, 徳島市.

(講演)

- 1 美浜発電所事故時における院内の対応と心のケア
杉浦良啓
宮城県「緊急被ばく医療初級講座」, 2010年7月, 仙台市.
- 2 緊急被ばく医療における汚染対応—美浜事故の経験を踏まえて—
杉浦良啓
鹿児島県「緊急被ばく医療初級講座」, 2010年8月, 薩摩川内市.

歯科口腔外科

(論文)

- 1 Two elderly patients with advanced maxillary gingival carcinoma with complete response to concurrent radiotherapy and S-1 chemotherapy
Yoshizawa K*, Nozaki S*, Yoshida K, Kawashiri S*, Kato K*,
Nakagawa K*, Yamamoto E*
Asian J Oral Maxillofac Surg 22:94-98, 2010.

(学会発表)

- 1 当院の歯科口腔外科治療について
吉田完
第17回日本病院歯科口腔外科協議会北陸部会総会, 2011年3月, 金沢市.

2 医療支援部

医療安全管理室

(論文発表)

- 1 根本原因分析とコンフリクト・マネジメントの活用による医療安全への取り組み
塚原洋子, 市橋匠, 杉浦良啓, 村上都起子, 川瀬みどり, 柴田智之
医療の質・安全学会誌 5 (2) : 137-138, 2010.

3 医療技術部

検査室

(学会発表)

- 1 経胸壁心エコー図検査により診断された大動脈四尖弁の1例
河野裕樹, 坊直美, 奥村早央里, 湊正佳, 中野学, 三田村康仁, 音羽勘一
日本超音波医学会第30回中部地方会, 2010年9月, 名古屋市.

放射線室

(学会発表)

- 1 特殊指示撮影における見落としをなくそう! ~患者様のオーダーメイド医療を目指して~
山本理佐
第5200回QCサークル全国大会, 2010年7月, 神戸市.
- 2 123I-MIBGを用いたH/MおよびWashout Rate算出におけるROI設定の検討
山口真樹
第30回日本核医学技術学会総会学術大会, 2010年11月, さいたま市.
- 3 股関節FAIにおける、RADIAL SCANの有用性
田泉智明
第3回北陸3県合同放射線技師会学術研修会, 2011年3月, 福井市.

4 QC手法を利用した特殊指示撮影における見落しの防止

山本理佐

第3回北陸3県合同放射線技師会学術研修会, 2011年3月, 福井市.

リハビリテーション室

(著書)

1 運動療法

増井正清

福井県糖尿病療養指導担当者講習会教本 : 163-177, 2010.

(学会発表)

1 The Relationship Between Glycemic Control And Home Environment In Diabetics

Masui Masakiyo

11th International Congress of Asian Cofederation for Physical Therapy,
October 2010, Bali-Indonesia.

2 歯を磨こう～自閉症児との関わりを通して～

山本 恵子

第1回福井県活動分析研究会, 2011年1月, 福井市.

(講演)

1 ACPT2010 に発表参加して

増井正清

福井県理学療法士会 第3回国際交流セミナー, 2010年12月, 敦賀市.

2 運動療法

増井正清

第11期福井糖尿病療養指導担当者教育講習会, 2010年9月, 福井市.

3 市立敦賀病院における心大血管リハビリテーションの現状

高木隆幸

福井心肺リハビリテーション研究会, 2010年8月, 敦賀市.

- 4 当院における AMI 連携パスの現状～運動療法について～
高木隆幸
敦賀市医師会学術講演会, 2010 年 5 月, 敦賀市.

4 薬剤部

薬剤室

(学会発表)

- 1 安全性情報を活用するための課題 医薬品の安全な使用と医薬品情報－情報発信者と情報利用者のそれぞれの役割－
荒木隆一
第 13 回日本医薬品情報学会総会, 2010 年 7 月, 静岡市.
- 2 今求められる中小病院薬剤師の業務 中小病院における薬剤師業務の現状と課題
荒木隆一
日本病院薬剤師会 平成 22 年度中小病院薬剤師実践セミナー, 2010 年 8 月, 東京都.
- 3 今求められる中小病院薬剤師の業務 中小病院における薬剤師業務の現状と課題
荒木隆一
日本病院薬剤師会 平成 22 年度中小病院薬剤師実践セミナー, 2010 年 10 月, 大阪市.
- 4 インシデントレポートの書式変更の評価 (オカレンス報告制度への検討)
荒木隆一, 西島勝之, 塚原洋子
日本医療マネジメント学会 第 10 回福井県支部学術集会, 2011 年 2 月, 福井市.

(講演)

- 1 薬薬連携の必要性
荒木隆一
平成 22 年度薬学生実務実習における全体研修, 2010 年 7 月, 福井市.
- 2 病院薬剤部からの提案
荒木隆一
福井県薬剤師会敦賀支部 第 1 回薬薬連携の集い, 2010 年 9 月, 敦賀市.

3 感染対策 嶺南地区3病院の比較について

佐藤友美

第12回嶺南感染対策フォーラム, 2010年10月, 若狭町.

4 子どもの看護Ⅱ～薬の基礎知識～

荒木隆一

病児・緊急預かり対応基盤整備事業子育て研修会(スタッフ養成), 2010年12月, 敦賀市.

5 看護部

(論文発表)

1 心筋梗塞患者が心臓カテーテル治療に抱く思い

今大地さとみ, 大山果生里, 小林奈未, 田中知子, 角田敬子, 迫田智子*

第41回日本看護学会論文集 成人看護Ⅱ, 171-174.

(学会発表)

1 市立敦賀病院におけるAMI連携パスの現状 看護分野

小堀裕子

第2回福井県統一急性心筋梗塞連携パスを考える会, 2010年5月, 敦賀市.

2 看護学生の子宮頸がん検診に関する意識と検診行動の実態

中野加央里, 波崎由美子*, 瀬戸知恵*, 山田須美恵*, 佐々木綾子*, 田邊美智子*

第23回福井県母性衛生学会学術講演会, 2010年6月, 福井市.

3 再入院患者から生活指導を考える かかりつけ医の看護師との連携

小堀和美

第3回福井県統一急性心筋梗塞連携パスを考える会, 2010年7月, 福井市.

4 心筋梗塞患者が心臓カテーテル治療に抱く思い

今大地さとみ, 大山果生里, 小林奈未, 田中知子, 角田敬子, 迫田智子*

第41回日本看護学会学術集会 成人看護Ⅱ, 2010年8月, 福岡市.

5 心臓カテーテル治療に関連する影響要因

迫田智子*, 今大地さとみ, 大山果生里, 田中知子, 角田敬子

第41回日本看護学会学術集会 成人看護Ⅱ, 2010年9月, 福岡市.

- 6 ヒヤリハット用紙の記載導入によるアクシデント防止への取り組み
西出由華
「医療の改善活動」全国大会, 2010年10月, 名古屋市.
- 7 経鼻・経管栄養器具の取り扱い
前田昭子, 植木真粧美
第12回嶺南感染コントロールフォーラム, 2010年10月, 若狭町.
- 8 ハイリスクな患者家族に対する退院支援を振り返って
田中淳子
二州高齢者包括ケア研究会, 2010年10月, 敦賀市.
- 9 職員の手洗いに対する感染対策委員会の取り組み
小幡香奈, 柿谷真由美, 下町真理子, 小林ちあき, 前田昭子, 田中知子
平成22年度東海北陸地区看護研究学会, 2010年11月, 名古屋市.
- 10 パンフレットを使用した術前オリエンテーションの課題
山田里美, 中川実紀
平成22年度東海北陸地区看護研究学会, 2010年11月, 名古屋市.
- 11 看護師の緩和ケアに対する意識調査
宮本望, 宮元麻衣
第27回福井県看護研究発表会, 2011年3月, 福井市.
- 12 泌尿器科に配属された看護師の思いの分析
藤井優子, 遊津美紀, 長田歩
第27回福井県看護研究発表会, 2011年3月, 福井市.
- 13 講義型・参加型マタニティクラスにおける妊婦の出産に対するセルフエフィカシーの比較
平山優子, 上田紀子, 宮下沙樹
第27回福井県看護研究発表会, 2011年3月, 福井市.

6 臨床病理検討会

| CPC開催日 | 臨床診断 | マクロ主病変 | マクロ副病変 | ミクロ主病変 | ミクロ副病変 | CPC |
|---------------------------------------|------------------|---|--|---|--|---------------------|
| 1 平成22年4月7日 内科 金沢大学形態機能病理学講座 | 多臓器不全、循環不全 | 陳旧性心筋梗塞(左室前壁～中隔、心内膜下)(心重量450g) ・バイパスグラフト術後(術後約8年) | 1.左心肥大(求心性+拡張性) 2.大動脈粥状硬化症(中等度) 3.腎貯留のう胞(最大径8cm大) +右腎梗塞痕(腎重量:左165g,右135g) 4.胆石症(黒色石,最大5mm大,数個) 5.食道憩室(中部食道,1.5cm大) 6.大腸憩室 7.虫垂摘除術後状態 [8.糖尿病] (臓器摘出後状態,開頭なし) | 陳旧性心筋梗塞(心内膜下,中隔～前壁中心)(心重量450g) ・冠状動脈バイパス術後(術後約8年) ・冠状動脈硬化症(3枝,高度) ・左心肥大(求心性+拡張性) | 1.誤嚥性肺炎(肺重量:左280g,右280g) 2.大動脈粥状硬化症(中等度) 3.腎貯留嚢胞(左腎上極,8cm大)+嚢性腎盂腎炎(腎重量:左165g,右135g) 4.腎細動脈硝子化+メサングリウム拡大(軽度) 5.腓脂肪浸潤+ラ氏島アミロイド沈着(肺重量105g) 6.胆石症(黒色石,最大5mm大,数個) 7.食道憩室(真性憩室,中部食道) 8.肝褐色萎縮+核糖原(軽度)(肝重量680g) 9.大腸憩室 10.[糖尿病] (臓器摘出後状態,開頭なし) | 平成22年度 第1回CPC |
| 2 平成22年5月31日 内科 市立敦賀病院 | 非小細胞LK 胸部異常陰影 | 1.肺癌 1)左肺下葉,腺癌(臨床的にADH酸産生腫瘍疑い):腫瘍の大きさはホルマリン固定後に検索予定 2)浸潤転移:心膜,食道外膜(粘膜炎)に腫瘍の露出なし),別に提出された胸膜片(左肺臓側胸膜?)に結節多数 3)リンパ節:気管支周囲 4)左肺損壊後状態:左肺の損壊が高度な為,臓側胸膜表面からの観察にて癌性リンパ管症を否定できない。肉眼割面は,ホルマリン固定後に検索予定。 5)化学療法後状態 | 2.両側胸水(量は不明)、臨床的 3.肺うつっ血水腫(左440g;右880g) 4.大動脈弓部に脂肪斑を認める。 5.著変のない心臓(340g) 心筋に変色域・線維化巣を認めない。冠状動脈に閉塞なし。弁に疣贅の形成なし。心肥大なし(左心室厚1.2cm,右心室厚0.3cm) 6.胸部臓器(心、肺、胸部食道)のみの局所解剖:心340g,肺(左440g;右880g)、胸部食道(15cm長) | 主病変 肺癌(左肺下葉,混合型小細胞癌(小細胞癌+腺癌),ADH産生性)+化学療法後状態(左440g;右880g) 浸潤転移:左肺上葉,右肺,臓側胸膜,食道外膜 リンパ節転移:肺門部,気管支周囲 癌性リンパ管症(両側肺); 両側胸水を伴う。 | 副病変 1.肺うつっ血・水腫,硝子膜形成を伴う。 2.大動脈粥状硬化症:大動脈弓部に脂肪斑を伴う。 | 平成22年度 第2回(院内1回) |

| CPC開催日 | 臨床診断 | マクロ主病変 | マクロ副病変 | ミクロ主病変 | ミクロ副病変 | CPC |
|-----------------------------------|-------------------|---|---|--|---|---------------------|
| 平成22年6月30日 内科 金沢大学形態機能病理学講座 | LK 胸水貯留,胸部異常陰影 | 主病変 右肺癌(右肺下葉を中心に塊状となる)(肺重量:左335 g,右1050 g) 化学療法,放射線療法後 浸潤・転移:右胸膜,右横隔膜,心臓,左心房,胸部大動脈(外膜),食道(外膜),肝,[胸椎] リンパ節転移:右肺門 | 副病変 1. 右胸水(血性)(1800 ml) 2. 腎貯留嚢胞(最大径7 cm大) +腎腫脹(腎重量:左175 g,右295 g) (臓器摘出後状態,開頭なし) | 右肺癌(下葉,8 x 7 cm大,中分化型扁平上皮癌,一部に腺癌成分あり,化学療法・放射線療法後)(335 g,1050 g) 浸潤・転移:心臓,左心房,食道,胸部大動脈,胸椎周囲,右横隔膜,左肺,肝,左腎,左副腎 リンパ節転移:右肺門,縦隔 | 1. 右胸水(血性,ゼラチン様)(1800 ml) 2. 閉塞性肺炎 3. 細胆管内胆汁うっ滞(軽度)(930 g) 4. ヘモシデロシス(肝,脾,骨髄)(軽度) 5. 腎貯留嚢胞(最大7 cm大)(175 g,295 g) | 平成22年度 第3回CPC |
| 平成22年7月22日 内科 市立敦賀病院 | 急性循環不全、敗血症疑い | 剖検診断 気管支肺炎(特に右肺) | 副病変 肺うっ血水腫 脾腫(感染脾,215g) 肝腫大(うっ血肝) 脂肪肝疑い 冠動脈粥状硬化症+動脈硬化性管硬化症+大動脈粥状硬化症(いずれも軽度) [敗血症]+脾腫(感染脾,215g) [糖尿病] 心肥大(505g) 脾萎縮 腎腫脹(190,215g)+貯留嚢胞 副腎萎縮 | 気管支肺炎(420g,860g) 両肺ともに重量の増加が目立ち、表面上、緊満した肺であった。剖面では、気管支内に泡沫状の喀痰を認め、肺野には著明なうっ血水腫と右肺を中心に斑状の肺炎像を散見した。組織上、右肺には膿瘍様的好中球浸潤が肺胞内を埋め尽くしており、細菌塊も散見された。細菌は球菌が主体で、グラム陽性菌と陰性菌の混合感染であった。また、異物巨細胞も一部に認め、誤嚥性肺炎と考えられた。背景肺には高度のうっ血水腫を認めた。 | 1.肺うっ血水腫 2.[敗血症]+脾腫(感染脾,215g) 3.[糖尿病]+糖尿病性糸球体腎炎(190,215g) 4.急性尿管管壊死 5.心肥大(505g)+冠動脈粥状硬化症 6.脂肪肝(1380g,軽度) 7.うっ血肝 8.大動脈粥状硬化症(軽度) | 平成22年度 第4回(院内2回) |

| CPC開催日 | 臨床診断 | マクロ主病変 | マクロ副病変 | ミクロ主病変 | ミクロ副病変 | CPC |
|---|------------------------|--|--|---|--|------------------------------|
| <p>平成22年9月30日 5 内科 市立敦賀病院</p> | <p>膵癌、黄疸、腹水貯留、胸水貯留</p> | <p>多重癌 1. 膵癌(疑い)(膵頭部)放射線・化学・温熱療法後胆管内ステント留置状態遠隔転移、リンパ節転移なし 2. 大腸腫瘍(回盲部, 2 x 1.7 cm大) 3. 胃癌術後(胃全摘+Roux-en-Y法による再建術後, 術後約13年)再発なし 4. 横行結腸癌術後(結腸部分切除術後, 術後約3年)再発なし</p> | <p>1. 肺腫脹(左695g, 右580g) + 右胸膜癒着 2. 小腸および大腸の線維性癒着 3. 脂肪織の膠様変性(臓器摘出後状態, 開頭なし)</p> | <p>多重癌 1. 盲腸癌(進行癌, 2型腫瘍, 2cm大, 中分化型管状腺癌)遠隔転移・リンパ節転移なし 2. 横行結腸癌術後状態(術後約3年, 進行癌)再発なし 3. 胃癌術後状態(術後約13年, 早期癌, Roux-en-Y法による再建術後)再発なし [4. 膵癌](膵鉤部, 放射線温熱化学療法後)胆管内ステント留置状態 剖検時, 膵鉤部・膵頭部を中心に緻密な線維化を認められたが癌は確認されず</p> | <p>ミクロ副病変 1. 気管支肺炎(肺重量: 左695g, 右580g)グラム陽性・陰性の細菌と少数の真菌(カンジダ様)を認める 2. 胆管炎(一部は化膿性胆管炎) + 肝内胆汁うつ滞(軽度)(肝重量940g) 3. 脂肪織膠様変性(心外膜, 腸間膜) 4. ヘモジデロシス(軽度~中等度)(肝, 脾, 副腎) 5. 異所性腺(十二指腸乳頭部, 1cm大)</p> | <p>平成22年度 第5回(院内第3回)</p> |
| <p>平成22年10月29日 6 内科 金沢大学形態機能病理学講座</p> | <p>多臓器不全、敗血症、腸管壊死</p> | <p>尿管虚血性変化(空腸~結腸) 2. 右腎萎縮 + 水腎症(左95g, 右45g) 3. 大動脈粥状硬化症(高度、腎動脈分岐部~総腸骨動脈分岐部) 4. 心拡大(420g) 5. 肝血流量低下(600g)</p> | <p>尿管虚血性変化(空腸~結腸) 2. 右腎萎縮 + 水腎症(左95g, 右45g) 3. 大動脈粥状硬化症(高度、腎動脈分岐部~総腸骨動脈分岐部) 4. 心拡大(420g) 5. 肝血流量低下(600g)</p> | <p>主病変 前立腺癌(高分化型扁平上皮癌) 浸潤: 右精囊, 膀胱および周囲結合組織, 転移: なし, リンパ節転移: なし</p> | <p>副病変 1. 右水腎症(45g) + 水尿管症(癌の右尿路閉塞による) 2. 腹部大動脈・総腸骨動脈高度粥状硬化 + 血栓症 [Leriche症候群](腎動脈分岐部~総腸骨動脈分岐部) 3. 感染脾(110g) + [敗血症] 4. 腸管虚血性変化(空腸~結腸) 5. 動脈硬化性腎硬化症(中等度, 左95g) 6. 求心性左心肥大(軽度, 420g, 左室壁厚1.4cm, 右室壁厚0.4cm) 7. 慢性C型肝炎 F2A0 (600g) 8. [ギランバレー症候群]</p> | <p>平成22年度 第6回</p> |

| | CPC開催日 | 臨床診断 | マクロ主病変 | マクロ副病変 | ミクロ主病変 | ミクロ副病変 | CPC |
|---|------------------------------------|-----------------------------------|---|---|---|--|---------------|
| 7 | 平成22年10月29日 内科 金沢大学形態機能病理学講座 | 急性心不全 | 陳旧性心筋梗塞(左室前壁中隔)＋高度冠動脈硬化症(3枝)＋両室性心拡大(高度、420g) | 1. 肺気腫性病変＋左肺下葉部分切除後状態(左280g,右325g) 2. 心外膜癒着(中等度、左側壁～心尖部) 3. 両側腎嚢胞(多発、肝留嚢胞疑い、左100g,右110g) 4. 中等度大動脈粥状硬化症 5. 軽度肝うつ血＋肝嚢胞(725g) 6. 粘膜出血傾向(小腸～回盲部) | 主病変 1. 陳旧性心筋梗塞(左室前壁～中隔貫壁性)＋冠動脈高度粥状硬化症(左前下行枝90%狭窄、左回旋枝50%狭窄、右冠動脈50%狭窄)＋拡張性心肥大(高度、420g) 2. 胃癌(体下部小弯側1.5cm大、印環細胞癌、粘膜内癌、転移なし) | 副病変 1. 肺気腫＋蜂窩肺＋慢性肺うつ血＋左肺下葉部分切除後状態(左280g,右325g) 2. 軽度肝うつ血(725g)＋肝嚢胞(散在、最大2.0cm大) 3. 両側腎嚢胞(多発、肝留嚢胞、左100g,右110g) 4. 大動脈粥状硬化(中等度) 5. 粘膜出血傾向(小腸～回盲部) | 平成22年度 第7回 |
| 8 | 平成22年10月29日 内科 金沢大学形態機能病理学講座 | 第3度房室ブロック、心サルコイドーシス(心肺停止のため、救急搬送) | 主病変 1. サルコイドーシス 1) 両側肺門リンパ節腫脹(高度)・CT上、肉芽腫、リンパ増殖性疾患等が疑われている。 2) [肺野病変(左580g; 右585g)] ・CT上、右肺末梢に微小結節影(肉芽腫疑い)を指摘されている。(固定後に検索予定) 3) 心サルコイドーシス(585g) ・心肥大(左心室厚1.5cm、右心室厚0.5cm)、冠動脈粥状硬化症(軽度) ・心室中隔の一部(6x3cm大)は帯灰黄白色を呈している。(肉芽腫性炎症あるいは癒痕領域か) ・超音波検査上、心室中隔基部の壁厚の菲薄化が指摘されている。(固定後に検索予定) ・臨床上に心サルコイドーシスによる伝導障害が疑われている。(刺激伝導系は固定後に検索予定) 4) 副腎周囲のリンパ節に腫大を認める。(肝、脾、腎における病変の有無に関しては固定後に検索予定) | 副病変 1. 肺うつ血・水腫(左580g; 右585g) 2. 肝腫大(2090g); 肉眼剖面上、帯黄褐色を呈する。 ・臨的に、アルコール性肝障害と診断されている。 ・CT上、肝嚢胞が指摘されていたが、剖検時6スライスを作製して割面を観察するも嚢胞は確認できなかった。(固定後さらに検索予定) 3. 消化管粘膜出血(胃、回腸～横行結腸) 4. 下行結腸I _b 型ポリープ(1.3cm大) 5. 右副腎皮質過形成(4mm大)(左11.3g; 右9.0g; 重量には周囲脂肪組織を含む) 6. 大動脈粥状硬化症(中等度) 7. [高血圧症] 8. [高脂血症] 9. [左大腿骨骨折(平成19年)] 10. 脾145g、膵(200g、重量には周囲脂肪組織を含む)、腎(左180g; 右195g) | | | 平成22年度 第8回 |

VII 看護部実績

1 記録監査委員会活動報告

1 目標

- (1) マニュアルを作成し記録の充実を図る。
- (2) 監査を行い、記録の充実を図る。
- (3) NANDA-NOC-NIC を充実させる。

2 委員

委員長 新谷あゆみ 看護師長 中西真由美
助産師 西島信子 主任看護師 八木佳子、今井千恵美
看護師 竹中智子、百田美樹子、澤勝子

3 活動内容と課題

(1) マニュアル作成

- ① 入院時チェックリスト（必須項目）のマニュアル作成
- ② 患者プロフィール・看護プロフィールのマニュアル作成
- ③ 退院基準の作成
- ④ 経過表の基準作成

【結果・課題】

マニュアルを作成し院内統一を図ったが、各病棟でばらつきがあるので徹底できるように働きかける。看護指示の基準を作成する必要がある。

(2) 監査

- ① 各病棟につき2回の監査を行った。質的看護記録監査表を作成した。
- ② 各病棟に記録モデルケースの依頼、監査を行った。

【結果・課題】

1回目の監査結果を各病棟に配布し今後の課題を依頼した結果、2回目の方が監査結果が向上した。各病棟で看護記録の課題達成に差があるので、院内全体で充実するよう働きかける。

(3) NANDA-NOC-NIC

- ① 7月に看護診断セミナーを開催した。（参加者95名）
- ② 各病棟に記録モデルケースを依頼した。（主任会を中心に看護診断ラベルの理解、SOAPでの記録を依頼。）

【結果・課題】

記録監査委員不在の病棟は、記録に取り組む姿勢が低く感じられる。看護診断は立案できているが、診断に合ったSOAP記録ができていないケースがあるので、診断ラベルの理解力アップが必要である。看護診断が用いられないケースについて、標準看護計画を検討する必要がある。

2 セーフティーマネジャー委員会活動報告

1 目標

- (1) リスク感性を高める。
- (2) 転倒・転落の予防
- (3) RCA を理解し実施する。

2 委員

委員長 藤原貞美子 看護師長 森永雪野

主任看護師 角本則子

看護師 上野奈美、遠藤奈美子、藤長ひろ美、小町恵、安田泉、野崎幸代
阪口弘美、水上麻子、奥田理江、武田美保

3 グループ活動計画及び実施報告

- (1) 「リスク感性を高める」: 各部署でイラストを用いて KYT を実施した。(6月、9月、12月)
- (2) 「RCA を理解する」: インシデントレポートから時系列を作成し、モデルを配布した。
- (3) 「初期対応係」: 認知度の調査を実施した。
- (4) 「与薬管理」: 与薬管理方法マニュアルが遵守されているかどうか調査を行った。
- (5) 「転倒・転落」: アセスメントスコアシートの監査を実施した。

4 活動評価

平成 22 年度も前年度に引き続きグループ活動を実施した。グループ活動では、1 グループの構成人数が少なく活動を継続して行うには負担が大きかったため、次年度はグループ編成を変える必要がある。各委員は、医療安全大会に参加し、セーフティーマネジャー委員会の活動を報告した。また、定期的に KYT を実施し、RCA の勉強会を行った。今後も活動を継続して行い、医療安全に対する感性を高め、1 件でもアクシデントを減らすことができるように活動したい。

3 教育委員会活動報告

1 目的

多様な医療ニーズに応えるために、判断力や問題解決能力を養い、入院から在宅支援において看護実践能力が発揮でき、継続的で質の高い看護が提供できる人材を育成する。

2 目標

- (1) ステップ段階に応じた継続教育を実践する。
- (2) ステップ別教育計画の立案と実践を行う。
- (3) クリニカルラダーに即した教育研修プログラムの充実を図る。

3 委員

委員長 城越広恵
主任看護師 加藤久代、岡田貴子、奥佐知子、大和田環、赤尾優子、宇野里奈
助産師 田中真穂
看護師 田辺里江、今大地さとみ

4 研修実績

| 研 修 | 内 容 |
|---------------------|---|
| ステップ2（卒後2年目）研修 | ケースレポートⅠ 説明会 経過報告 発表会 |
| ステップ3-I（卒後3年目）研修 | ケーススタディⅡ 説明会 経過報告 発表会 |
| ステップ3-II（卒後4～5年目）研修 | 夜勤リーダー研修（グループワーク レポート） |
| ステップ4（卒後6～10年目）研修 | ・「看護を語る」レポート・ケースレポート評価 ・組織リーダー研修 |
| ステップ5（卒後11～15年目）研修 | ・企画力向上研修（問題分析 企画書/アクションプランシート作成） ・看護倫理（講義 事例検討グループワーク） |
| 全 体 研 修 | ・「スキンケアについて」・「褥瘡のポイント」 皮膚排泄ケア認定看護師 ・「がん化学療法看護について」 がん化学療法看護認定看護師 |

5 成果

平成22年度は、前年度のステップ段階に応じた教育プログラムの見直しを行い、計画立案し実践した。平成19年度よりステップ別教育プログラムの実践が開始され、クリニカルラダーの充実を目指して活動してきた。今年度もほぼ計画通りに活動がなされ、ステップ4以上に対する更なる教育充実を目指し、新たにアクションプランシートを用いた企画力向上のプログラムも継続した。企画力向上のプログラムは前年度からの取組で、目標管理の実践にも役立ち、多様な形で継続して取り組んでいきたい。また、実習指導の充実を目指し、今後も学生指導やさらには新人にも活用できる研修を考え、敦賀市立看護専門学校とタイアップしながら計

画していきたい。

平成 23 年度はクリニカルラダーの内容に、さらに即した研修内容の充実を図り、継続教育を実践していけるよう取り組んでいきたい。

4 新人看護職員研修報告

1 目的

職場への適応と看護実践者として基本的な看護能力をもつ。

2 目標

- (1) 新人看護職員研修から看護職員の生涯にわたっての臨床実践能力を蓄積していく。
- (2) 新人看護職員へのあたたかい支援を通して、組織全体が成長する。

3 新人サポート体制

研修責任者 宇野里奈
教育担当者 各病棟に 1 名ずつ、計 8 名配置
実地指導者 新人に対し 1 名ずつ、計 22 名配置
エルダー 新人に対し 1 名ずつ、計 22 名配置

4 新人看護職員研修プログラム

| | 研 修 内 容 |
|---------|---------------------------------------|
| 社会性・自律性 | 院内接遇研修 3.5 時間、自治体研修 3 日間 |
| 看護実践能力 | 技術的側面 14 項目に即した研修 63 時間 |
| 役割遂行能力 | 看護管理研修 4 時間、メンバーシップ研修 1.5 時間 |
| 看護倫理 | 倫理研修 11 時間 |
| 自己開発能力 | ケースレポート発表会視聴や技術・指導場面のフィードバック研修 5.5 時間 |

5 新人サポート体制（会議・研修）

| 会議・研修名 | 開 催 実 績 |
|-----------------|-----------------------------|
| 教育担当者会議 | 毎月 1 回定例（第 1 木曜日）、年間 12 回開催 |
| 実地指導者会議 | 年間 5 回開催（5 月 4 回、11 月 1 回） |
| 教育担当者・実地指導者合同会議 | 年間 2 回開催（7 月、2 月） |
| エルダー研修 | 年間 1 回開催（10 月） |

6 まとめ

平成 22 年 4 月『保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律』の一部改正に伴い、教育担当室設置と指導体制の組織化によって、研修責任者が専従で就任した。新人指導は「屋根瓦方式」で取組を行った結果、1 年以内の離職率は 0%であり、厚生労働省新人看護職員研修事業例にも取り上げられた。

今後も指導評価を重ねながら、新人看護職員にとっての満足度を高め、能力を高められる指導内容や指導体制を再考していきたい。

5 教育研修実績

(1) 院内研修実績

| | 研修会名、講演会名等 | 主催 | 参加人数 |
|-----------|-----------------------|-----------------|------|
| 4月14～16日 | 看護部方針・新組織体制と教育評価制度研修会 | 看護部 | 全員 |
| 5月28日 | 緩和ケア勉強会「がんに関する基礎知識」 | 緩和ケアチーム | 30名 |
| 6月18日 | 医療安全講演会 | 医療安全対策委員会 | 102名 |
| 6月25日 | 緩和ケア勉強会「緩和ケアの基礎知識」 | 緩和ケアチーム | 10名 |
| 6月26日 | 第4回つるがICLSコース | 救急蘇生災害医療部会 | 13名 |
| 6月29日 | ハラズメント講演会 | 病院互助会・労働安全衛生委員会 | 98名 |
| 7月3日 | 看護診断セミナー | 看護部記録監査委員会 | 88名 |
| 7月6日 | PEG勉強会 | 4階病棟・NST委員会 | 40名 |
| 7月23日 | 第11回クリティカルパス大会 | クリティカルパス委員会 | 48名 |
| 8月4日 | 地域公開医療講座 | 地域医療連携室 | 8名 |
| 8月6日 | 感染対策講演会「標準・感染経路予防策」 | 院内感染対策委員会 | 46名 |
| 8月13日 | 静脈血栓症予防について | 看護部教育委員会 | 67名 |
| 8月27日 | 緩和ケア勉強会「麻薬について」 | 緩和ケアチーム | 8名 |
| 8月27日 | 電子カルテレベリング | 電子カルテ管理委員会 | 20名 |
| 8月30日 | 弾性ストッキング（ハイソックス型）の説明会 | 看護部教育委員会 | 60名 |
| 9月9日 | 医療安全講演会 | 医療安全対策委員会 | 74名 |
| 9月24日 | 緩和ケア勉強会「消化器症状」 | 緩和ケアチーム | 9名 |
| 9月24日 | 診療報酬に関する講演会 | 医療サービスク | 22名 |
| 9月29日 | 糖尿病ケア勉強会 | 看護部・地域医療連携室 | 3名 |
| 10月22日 | 緩和ケア勉強会「呼吸器症状」 | 緩和ケアチーム | 11名 |
| 10月23日 | 第5回つるがICLSコース | 救急蘇生災害医療部会 | 10名 |
| 10月25日 | 第12回クリティカルパス大会 | クリティカルパス委員会 | 31名 |
| 11月12日 | 第6回院内医療安全大会 | 医療安全対策委員会 | 87名 |
| 11月25日 | 糖尿病ケア勉強会 | 看護部・地域医療連携室 | 5名 |
| 11月25、26日 | 医療ガス安全対策実地研修会 | 医療ガス安全委員会 | 28名 |
| 11月26日 | 緩和ケア勉強会「皮膚症状」 | 緩和ケアチーム | 9名 |
| 12月2、3日 | 院内接遇研修 | 病院教育委員会 | 172名 |

| | 研修会名、講演会名等 | 主催 | 参加人数 |
|--------|------------------------|------------|------|
| 12月16日 | 心電図勉強会 | 北4階病棟 | 42名 |
| 12月24日 | 緩和ケア勉強会「倦怠感」 | 緩和ケアチーム | 10名 |
| 1月13日 | 全体研修「褥瘡処置のポイント」 | 看護部教育委員会 | 51名 |
| 1月28日 | 緩和ケア勉強会「化学療法を受ける患者のケア」 | 緩和ケアチーム | 8名 |
| 1月29日 | 第6回つるがICLSコース | 救急蘇生災害医療部会 | 13名 |
| 2月17日 | 輸液ポンプ講習会 | 看護部教育担当室 | 20名 |
| 2月25日 | TQM大会 | TQM委員会 | 81名 |
| 2月25日 | 緩和ケア勉強会「疼痛」 | 緩和ケアチーム | 10名 |
| 3月10日 | DPC導入直前セミナー | 医療サービス課 | 80名 |
| 3月29日 | 全体研修「オムツ装着のポイント」 | 看護部教育委員会 | 17名 |

(2) 院外研修実績

| | 研修会名、講演会名等 | 主催 | 参加人数 |
|----------|----------------------|-----------------|------|
| 4月17日 | 看護研究研修 | 福井県看護協会 | 19名 |
| 4月20～22日 | 福井県新規採用職員研修 | 福井県自治研修所 | 30名 |
| 4月23日 | 心電図の基礎と急変対応 | 株式会社ひとりガウンセミナー | 6名 |
| 5月2、3日 | 新人看護職員の研修にどう取りくむか | 日本看護協会出版会 | 22名 |
| 5月10日 | 「看護の日 記念大会」 | 福井県看護協会 | 26名 |
| 5月22日 | 定例研修「スキンケア」 | 福井県看護協会 | 10名 |
| 5月25、26日 | 福井県看護協会看護部長・師長研修 | 福井県看護協会 | 5名 |
| 5月30日 | 第3回日本褥瘡学会福井県在宅褥瘡セミナー | 日本褥瘡学会福井県委員会 | 10名 |
| 6月5日 | 第11回嶺南感染コントロールフォーラム | 嶺南感染コントロールフォーラム | 10名 |
| 6月5日 | 定例研修会「ストレスへの傾向と対策」 | 福井県看護協会 | 6名 |
| 6月6日 | 看護必要度評価者 院内指導者研修 | 日本臨床看護マネジメント学会 | 1名 |
| 6月11日 | 全国自治体病院協議会看護部長研修会 | 全国自治体病院協議会 | 1名 |
| 6月14、15日 | 看護実践力育成研修 | 福井県看護協会 | 19名 |
| 6月27日 | 第23回福井県母性衛生学会 | 福井県母性衛生学会 | 7名 |
| 6月21、28日 | 福井県看護協会平成22年度新人研修会 | 福井県看護協会 | 9名 |
| 7月1日 | 小浜・若狭糖尿病フットケアセミナー | 小浜医師会 | 1名 |
| 7月3日 | 看護研究研修 | 福井県看護協会 | 19名 |

| | 研修会名、講演会名等 | 主催 | 参加人数 |
|----------------|-------------------------|-------------------------|------|
| 7月11日 | 福井県地域連携パス普及に関する研修会 | 福井県医師会 | 2名 |
| 7月12日 | がん看護実践力向上研修 | 福井県看護協会 | 1名 |
| 7月17日 | 災害支援ナーズ研修会 | 福井県看護協会 | 9名 |
| 7月17、18日 | 新人看護職員の研修にどう取りくむか | 福井県看護協会 | 14名 |
| 7月24日 | 地域開放学習会 | 福井循環器病院 | 4名 |
| 7月25日 | 固定チームナーシング研究会第10回北陸地方会 | 固定チームナーシング研究会 北陸地方会 | 11名 |
| 7月26日 | がん看護実践力向上研修 | 福井県看護協会 | 1名 |
| 7月31日 | 看護キャリアアップセンター記念講演会 | 福井大学医学部看護学科 | 9名 |
| 7月31日 | 北陸ブロックHIV/AIDS看護研修会 | 北陸ブロックAIDS拠点病院 | 1名 |
| 7月31日 | 日赤福井県支部常備救護班要員等研修会 | 福井赤十字病院 | 3名 |
| 8月1日 | 福井県地域連携パス普及に関する研修会 | 福井県医師会 | 2名 |
| 8月2日 | がん看護実践力向上研修 | 福井県看護協会 | 1名 |
| 8月6日 | 衛星通信研修「現場の力をいかす魅力的な職場」 | 福井県看護協会 | 1名 |
| 8月7日 | 定例研修「アセスメント技術を身につけよう」 | 福井県看護協会 | 17名 |
| 8月11、18、25、30日 | 平成22年度看護師基礎研修会 | 福井県看護協会 | 19名 |
| 8月11、20、27日 | がん看護実践力向上研修 | 福井県看護協会 | 7名 |
| 8月28、29日 | 日本災害看護学会第12回年次大会 | 日本災害看護学会 | 7名 |
| 9月9日 | 地域開放学習会 | 福井循環器病院 | 2名 |
| 9月10日 | 衛星通信研修「救急医療から緩和ケアまで」 | 福井県看護協会 | 4名 |
| 9月10、17日 | 福井県原子力防災初期被ばく医療従事者講習会 | 福井県健康福祉部 | 2名 |
| 9月12日 | 市民公開講座 救急災害医療フェア | 敦賀市医師会 | 49名 |
| 9月16、17日 | 平成22年度教育担当者研修 | 福井県看護協会 | 11名 |
| 9月24日 | 救急看護研修「人工呼吸器なんて怖くない」 | 福井県看護協会 | 11名 |
| 9月26日 | 定例研修会「脳卒中の最新治療、リハビリ」 | 福井県看護協会 | 7名 |
| 10月2日 | 日本予防医学リスキュマネジメント学会 | 日本予防医学リスキュマネジメント学会北陸地方会 | 4名 |
| 10月9日 | 固定チームナーシング全国研究集会 | 固定チームナーシング研究会 | 7名 |
| 10月9日 | 医師と看護職員等との協働推進研修 | 福井県医師会 | 5名 |
| 10月15日 | 二州高齢者包括ケア研究会 | 二州健康福祉センター | 10名 |
| 10月16日 | 定例研修会「病者を抱える家族の理解と看護援助」 | 福井県看護協会 | 3名 |
| 10月19日 | 出直し看護塾 「水と電解質」 | 株式会社ひとりがウンセミナー | 1名 |

| | 研修会名、講演会名等 | 主催 | 参加人数 |
|-------------|---------------------------|-----------------|------|
| 10月21、27日 | 看護職員リフレッシュ研修会 | 福井県看護協会 | 3名 |
| 10月22、23日 | 災害支援ナース研修会 リーダー編 | 福井県看護協会 | 2名 |
| 10月28日 | 嶺南地区認知症チームケア勉強会 | 敦賀市医師会 | 3名 |
| 10月28日 | 東海北陸近畿地区母子保健事業研修会 | 福井県健康福祉部健康増進課 | 1名 |
| 10月30日 | 第12回嶺南感染コントロールフォーラム | 嶺南感染コントロールフォーラム | 6名 |
| 10月30日 | こころの健康講座 | 二州健康福祉センター | 3名 |
| 10月30日 | 看護実践力育成研修「終末期の患者と家族のケア」 | 福井県看護協会 | 10名 |
| 11月8日 | 看護実践力育成研修「死の看取りとグリーフケア」 | 福井県看護協会 | 1名 |
| 11月10日 | 看護指導者育成研修 看護師長研修 | 福井県看護協会 | 10名 |
| 11月14日 | 世界糖尿病デー ブルーライトアップイベント | 福井県医師会 | 1名 |
| 11月15、16日 | 平成22年度東海北陸地区看護研究学会 | 愛知県看護協会 | 5名 |
| 11月18日 | 福井県リスクマネージャ交流会 | 福井県看護協会 | 2名 |
| 11月20日 | 定例研修会「病棟から始める退院支援」 | 福井県看護協会 | 2名 |
| 12月4日 | 緊急被爆医療フォーラム | 福井大学医学部附属病院 | 32名 |
| 12月4日 | がん緩和医療研修 | がん政策医療推進委員会 | 1名 |
| 12月4、11日 | 接遇研修会 | 全国自治体病院協議会福井支部 | 8名 |
| 12月9日 | 地域開放学習会 | 福井循環器病院 | 1名 |
| 12月10日 | 福井県看護協会衛星通信研修 | 福井県看護協会 | 2名 |
| 12月18日 | 定例研修会「現場に活かせる臨床倫理」 | 福井県看護協会 | 6名 |
| 1月15日 | 定例研修会「医療コンフリクトマネジメント」 | 福井県看護協会 | 2名 |
| 1月18、20、27日 | 看・看連携研修 | 福井県看護協会 | 20名 |
| 1月23日 | 第4回北陸糖尿病看護スキルアップセミナー | 北陸糖尿病看護研究会 | 1名 |
| 1月25、26日 | 看護実践力育成研修 プリセプター研修 | 福井県看護協会 | 12名 |
| 1月28日 | 看護指導者育成研修 看護部長研修 | 福井県看護協会 | 2名 |
| 2月19日 | 定例研修会「ナイチンゲールに学ぶとよき経営学」 | 福井県看護協会 | 1名 |
| 2月19日 | 日本医療マネジメント学会第10回福井県支部学術集会 | 福井県医師会・看護協会 | 5名 |
| 3月5日 | 三職能合同研修 | 福井県看護協会 | 11名 |
| 3月12日 | 第27回福井県看護研究発表会 | 福井県看護協会 | 26名 |

(3) 受講研修実績

| | 教育研修名 | 出張先 | 出張者名 |
|-----|---------------------------|-------------|------------|
| 4月 | 県市町職員新規採用職員研修 | 福井県自治研修所 | 新規職員22名 |
| 5月 | 栄養サポートチーム(NST)専門療法士認定資格研修 | 福井大学医学部附属病院 | 北川由佳、川島あゆみ |
| 6月 | 福井県看護協会「実習指導者会」 | 福井県看護協会 | 近江谷未幸 |
| 7月 | 平成22年度認定看護師教育課程がん化学療法看護分野 | 愛知県 | 奥佐知子 |
| | 平成22年度認定看護師教育課程がん疼痛看護分野 | 大阪府 | 田辺里江 |
| 8月 | 平成22年度認定看護管理者制度セカンドレベル | 兵庫県 | 飯田登美子 |
| 9月 | 平成22年度認定看護管理者制度ファーストレベル | 福井県看護協会 | 赤尾優子、新谷あゆみ |
| | 医療安全管理者養成研修Ⅰ・Ⅱ | 東京都 | 森永雪野 |
| 10月 | 福井県産科医療支援助産師実務研修 | 東京都 | 岸本千鶴 |
| 11月 | オーストラリア「看護管理・地域看護」研修 | オーストラリア | 田中智美 |
| 2月 | 平成22年度海外視察研修 | ドイツ、デンマーク | 藤井優子、高橋昌子 |

【講師実績】

- 1 福井県統一急性心筋梗塞連携パスを考える会（小堀裕子）
- 2 福井県看護協会「看護職への道」（奥野照代）
- 3 福井県看護協会「看護師再就業講習会」（塚原洋子、城越広恵）
- 4 福井県立敦賀高校社会人教師「STーク」（宇野里奈）
- 5 川上医院 院内研修会（加藤久代）
- 6 福井県看護協会 看護管理研修（角田敬子）
- 7 小浜・若狭糖尿病フットケアセミナー（加藤久代）
- 8 市立敦賀病院市民公開講座（加藤久代）
- 9 福井県糖尿病学術講演会（加藤久代）
- 10 看・看連携研修（加藤久代）
- 11 敦賀市いきいき生涯大学（稲垣香緒里）
- 12 二州支部食生活改善推進員連絡協議会「もっと知りたい健康教室」（加藤久代）
- 13 敦賀市健康管理センター「ママパパセミナー」（中西真由美）

【派遣実績】

福井県AED普及啓発協議会実習インストラクター（井上ひろみ、藤原貞美子、武田美保、鳴海里美、高橋昌子）

【学会座長】

- 1 第4回北陸糖尿病看護スキルアップセミナー（加藤久代）
- 2 福井県糖尿病看護研究会 第6回研修会（加藤久代）

【実習受け入れ】

- 1 福井県看護協会 訪問看護師養成講習会 受講者1名
- 2 愛知県 愛西学園 弥富看護学校 通信制実習 実習生2名

【雑誌など投稿】

- 1 日本看護協会 看護の日に際して募集 「忘れられない看護エピソード」に51名が応募
- 2 福井月刊誌「URARA」 認定看護師特集 糖尿病認定看護師（加藤久代）

【看護協会 委員会】

- 1 理事：角田敬子
- 2 教育委員：城越広恵
- 3 広報委員：熊谷友美
- 4 福井県災害看護委員：井上ひろみ
- 5 助産師職能委員：上田紀子
- 6 医療看護安全委員：塚原洋子
- 7 福井県訪問看護推進協議会委員：田中智美

【福井県臓器移植普及推進連絡協議会】

委員：藤村美智代、藤井優子

VIII 臨床研修プログラムの概要

<平成22年度 市立敦賀病院臨床研修プログラム概要と実績>

1 プログラムの名称

市立敦賀病院臨床研修プログラム

2 プログラムの目的と特徴

プライマリー・ケアを中心に、医師として必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を身に付け、患者とのコミュニケーションやチーム医療など医療人としての人格を涵養することがこの研修プログラムの目的です。

当院の卒後臨床研修は、協力型（金沢大学附属病院、福井大学医学部附属病院）及び基幹型臨床研修病院として、病院群を形成し連携をとりながら研修を行います。また、地域保健における療養型病院、診療所などの研修をはじめとして、当院で行う各診療科のプログラムの一部を担うため、豊富な研修協力施設を設けています。

なお、当院の協力型研修は、金沢大学附属病院及び福井大学医学部附属病院と各々たすきがけ方式を採用していますので、研修のコース選択によっては両大学病院の研修プログラムと全く同じか一部重複するところがあります。

3 研修方式及び研修内容

当院、猪原病院、泉ヶ丘病院などにおいて研修を行う。

(1) オリエンテーション

研修開始直後の数日間はオリエンテーションを行います。研修を円滑に実施できるよう、カルテの記載、インフォームド・コンセント、医療事故、院内感染、チーム医療、保険医療など、医療を行うために必要な事項を学びます。

(2) 基本科目研修

基本科目研修では、内科6ヶ月、救急3ヶ月、地域医療1ヶ月の研修を行います。

- ① 内科研修では、消化器、循環器、内分泌・代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、透析の内科領域の到達目標を達成できるようローテート研修をします。
- ② 救急研修では、救急初期診療の実践訓練を主体とします。全ての救急患者に対して、電話連絡の時点からの情報収集、患者や家族、救急隊へのアドバイスを含めて、救急室における初期診療全般に関して、救急・内科・麻酔科医師等の監督・指導のもとに実践します。また、ローテーション中に心肺蘇生のミニ訓練コース、外傷初期診療のミニ訓練コースを受講していただきます。
- ③ 地域医療では、「かかりつけ医」として必要な技能と判断力のうち最低限度のものを身につけることを研修します。

(3) 選択必修科目研修

1年目又は2年目の選択必修科目研修では、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科のうち、2科目とし、研修期間については研修医の希望によることができます。

- ① 外科研修では、外科的疾患に対する診断法・手術手技・術後管理の基本と外科的救急疾患へのプライマリー・ケアが修得できるよう研修します。
- ② 麻酔科研修では、麻酔科医療を適切に行うために必要な最低限の基礎知識、技能、態度を修得します。
 - ・ 患者の全身状態の把握の仕方と患者との接し方を会得する。
 - ・ 呼吸、循環、代謝などの全身管理学の基本を手術麻酔管理を通じて身に付ける。
 - ・ 手術室での研修を基本として、重症患者管理、救急蘇生、救急処置が速やかに行える技術を修得する。
 - ・ 疼痛を中心とした神経管理・除痛、調整、回復蘇生の技術を外来、手術室、病室にお

いて研修する。

③ 小児科研修では、小児医療を適切に行うために必要な最低限の基礎知識、技能、態度を修得します。

- ・ 小児及び小児期の疾患の特性を学び、小児の診療の特性を学ぶ。
- ・ 検診などを通して発育、発達についての知識を深める。
- ・ 年齢による検査値や薬用量の違いを知る。
- ・ 母親など保護者との信頼関係の確立とコミュニケーションの保持に努める。

④ 産婦人科研修では、一般患者全般を診るために必要な産科婦人科診療を体験し学びます。具体的には、妊娠に関連する症状や異常、婦人科疾患による諸症状を、他の異常と見誤らない能力と知識を身につけます。

⑤ 精神科研修では、精神疾患に対する診断、治療、予防についての健全な臨床的判断とそれに必要な知識を修得します。

(4) 選択科目研修

選択科目研修は、それまでの研修で不十分であった部分を補ったり、将来の進路に合わせたり、研修医の自由選択により、当院の次の診療科等から選択して研修を行います。

内科（消化器、循環器、血液、アレルギー・膠原病、感染症、神経、脳血管障害、内分泌代謝、腎・透析・高血圧、呼吸器）、小児科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、神経科精神科、救急・麻酔科・地域保健（二州健康福祉センター・福井県赤十字血液センター）

4 研修協力病院・施設

地域の研修協力病院や研修協力施設と連携をとりながら効果的な研修を行います。これらの病院や施設には特色あるプログラムが用意されています。

- ・ 協力型臨床研修病院 医療法人積善会 猪原病院（精神科）
福井大学医学部附属病院救急部（救急）
- ・ 臨床研修協力施設 福井県立病院救急部（救急）
医療法人保仁会 泉ヶ丘病院（地域保健）
美浜町東部診療所（地域保健）
福井県二州健康福祉センター（地域保健）
福井県赤十字血液センター（地域保健）

5 研修指導体制

研修の管理責任者は市立敦賀病院長であり、病院長のもとに研修管理委員会を置き、研修の計画から修了認定までを管理します。また研修期間中、プログラム及び研修医の指導・管理を担当するプログラム責任者、研修医を直接指導し評価を行う研修指導医を置きます。

(1) 研修管理委員会

研修管理委員会は、病院長、プログラム責任者、副プログラム責任者、各診療科研修実施責任者及び臨床研修協力病院、地域保健・医療を含めた研修協力施設の代表者及び事務責任者で組織し、臨床研修プログラム及び研修医の管理、評価等を行います。

(2) プログラム責任者

プログラム責任者は、研修プログラム全体を統括し、全研修期間を通して研修医の指導・管理を行います。また、1名の副プログラム責任者、各診療科及び各臨床研修協力病院に研修実施責任者を置き、当該診療科等の研修期間中プログラムを管理し、研修医の指導・管理を行います。

(3) 研修指導医

指導医は、研修プログラムに基づき直接研修医を指導し、研修医に対する評価を行います。

指導医は臨床経験7年以上の指導医講習会受講済者で、プライマリ・ケアを中心とした指導を行える十分な能力を有する者とし、診療科長の推薦により病院長が任命します。なお、研修協力病院及び研修協力施設の指導医はその病院又は施設の長に委ねます。

(4) 臨床研修の評価と修了認定

- ① 指導医は担当する診療科での研修期間中、研修目標の到達状況を適宜把握し、研修実施責任者に報告します。
- ② 各診療科の研修実施責任者は、当該研修期間が終了したとき、研修医の目標到達状況をプログラム責任者及び研修管理委員会に報告します。
- ③ 研修管理委員会は、研修終了時に、勤務記録、行動目標や経験目標の到達度などで総合的な評価を行います。病院長は、研修管理委員会が臨床研修を修了したと認めるときは臨床研修修了証書を交付します。また、臨床研修を修了したと認めないときは、その理由を文書で研修医に通知します。

6 研修医の募集人員及び選抜方法

基幹型研修プログラムを全国に公開し、マッチング方式により全国から募集します。大学病院との協力型研修の場合は、全国公募はありません。応募の窓口は臨床研修センターとします。

(1) 募集人員

6名

(2) 選抜方法

研修医の選抜は、書類審査及び面接により行います。面接は夏季休暇期間中に複数回実施します。出願書類、選抜期日など詳細は決定次第発表します。

(3) 選考結果通知

医師臨床研修マッチングの結果により決定し、速やかに本人に通知します。

7 処遇

処遇については以下のとおりです。なお、研修協力病院における処遇は、当該病院の定めるところによります。

| | |
|----------|--|
| 身分 | 臨時医師 |
| 給与 | 1年次 480,000円（平成23年3月31日現在） 2年次 495,900円（平成23年3月31日現在） （医師手当、地域手当、夜間救急医療業務手当、病院業務手当等を含む。） |
| その他手当 | 超過勤務手当、宿日直手当等 |
| 賞与 | 1年次 計 786,000円（平成23年3月31日現在） 2年次 計 1,226,800円（平成23年3月31日現在） |
| 勤務時間 | 8時30分～17時15分 |
| 休日・休暇 | 土・日曜日、祝日、夏季休暇、年次休暇、特別休暇等 （正規職員に準ずる） |
| 宿舎 | あり |
| 社会保険等 | 社会保険、厚生年金、労災保険、雇用保険適用 |
| 医師賠償責任保険 | 施設として加入 |
| その他 | 学会、研修会の旅費及び負担金の支給あり （海外旅費等の支給も別途あり） |

8 臨床研修ローテーション表

・1年次 基本研修科目（基本パターン）

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----------------------------------|----|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 内科 | | | 救急 | | | 内科 | | | 外科・麻酔科 小児科・産婦人科 精神科から2科目選択 | | |

・2年次 必修科目及び選択科目（基本パターン）

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 地域医療 | 選択科目 | | | | | | | | | | |

<初期臨床研修医の採用状況>

| 年度 | 定員（基幹型） | 採用数 （協力型含む） | 出身大学 |
|--------|---------|----------------|--|
| 平成16年度 | 4 | 1 | 福井大学 |
| 平成17年度 | 4 | 4 | 福井大学(3)、金沢大学 |
| 平成18年度 | 4 | 3 | 福井大学(3) |
| 平成19年度 | 6 | 2 | 福井大学、兵庫医科大学 |
| 平成20年度 | 6 | 6 | 福井大学(2)、金沢大学、山梨大学 昭和大学、慶応義塾大学 |
| 平成21年度 | 6 | 3 | 金沢大学、関西医科大学、広島大学 |
| 平成22年度 | 6 | 6 | 福井大学、金沢大学、東京大学 滋賀医科大学(2)、島根大学 |
| 平成23年度 | 6 | 8 | 金沢大学(2)、北海道大学、高知大学 大阪市立大学、熊本大学、佐賀大学 三重大学 |

参 考 资 料

市立敦賀病院中期経営計画

概 要

市立敦賀病院では、地域医療確保のため、市立敦賀病院の役割の明確化や経営改善を図ることを目的に、平成20年12月に中期経営計画を策定。

計画の期間は平成21年度から25年度までの5年間。

【役割】

(1) 急性期医療

二州地区（敦賀市、美浜町、若狭町の一部（旧三方町））の中核的病院として、診断や治療を主に担う急性期の医療を担う。

(2) 不採算・政策医療

救急医療や災害時医療、周産期医療、小児医療、がん、エイズなどの不採算、政策医療を担う。

(3) 地域医療連携推進

地域の医療機関との連携を推進する中心的役割を担う。

(4) 地域の医療水準向上

地域の医療水準の向上を図るため、高度医療機器の充実を図る。

(5) 人材育成

医師及び看護師などの人材育成の場を提供する。

【主な数値目標】

| 項 目 | 平成19年度 実績 | 平成20年度 見込 | 平成25年度 目標数値 |
|------------------------------|--------------|--------------|----------------|
| 経 常 収 支 比 率 | 95.0% | 94.3% | 98.2% |
| 職 員 給 与 費 対 率 医 業 収 益 比 率 | 60.4% | 59.1% | 50.7% |
| 病床利用率（332床） | 78.5% | 83.5% | 84.3% |

数値は公立病院改革ガイドラインの算出方法による。

【取り組み項目】

- (1) 人材の確保・育成
医師確保策の強化、医師事務作業補助者の配置充実、認定看護師の養成、教育・研修制度の充実、職場環境の改善
- (2) 医療機能の充実及び急性期病院としての確立
救急医療の維持・充実、高度医療機器の利用、整備、災害医療訓練の実施、透析センター対応規模の増加、DPC（診断群別定額払い方式）導入、クリティカルパス（治療計画書）の活用、平均在院日数の短縮、手術室における手術件数の増加、診療情報の電子化の推進、地域医療支援病院の承認、紹介率、逆紹介率の増加
- (3) 医療の質の向上
医療安全大会の開催、チーム医療の推進、病院機能評価認定更新（第三者評価）の活用
- (4) 患者サービスの向上
患者アンケートの実施、職員接遇研修会の実施、ボランティア養成講座への協力、かかりつけ医制度、救急受診方法の広報、病院情報の提供
- (5) 地域医療連携の充実
開放型病床利用率の向上、地域連携クリティカルパスの充実、退院支援の充実、初診時保険外併用療養費の検討
- (6) 診療体制、運営規模の適正化（運営規模は、当分の間332床で運営。）
診療体制及び運営規模の検討
- (7) 収入増加、経費削減・抑制
自費診療費の検討・見直し、差額病床の料金設定の検討・見直し、新規施設基準、加算等の取得、未収金回収業務委託の拡充、委託化の推進、委託業務の整理・統合、後発医薬品利用の推進、人間ドック利用者数の増加、駐車場の料金設定検討、診療科別損益等分析の活用
- (8) 意識改革
職員への経営状況の周知、職員の意欲向上

【点検・評価】

外部の委員を含めた点検・評価委員会を設置し、計画の実施状況を検証していく。

数値目標（財務・医療機能）の実施状況

| 項目 | H19 年度 | H20 年度 | H21 年度 | H22 年度 | H25 年度 (目標) | |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|----------------|--------|
| 経常収支比率 (%) | 95.0 | 95.7 | 97.3 | 102.7 | 98.2 | |
| 職員給与費対医業 収益比率 (%) | 60.4 | 58.8 | 53.8 | 47.1 | 50.7 | |
| 病床利用率 (%) | 78.5 | 83.6 | 82.5 | 86.5 | 84.3 | |
| 患者1人1日当 り診療収入 (円) | 入院 | 30,893 | 33,387 | 34,406 | 36,578 | 34,406 |
| | 外来 | 8,396 | 9,084 | 9,920 | 10,128 | 9,161 |
| 紹介率 (%) | 25.8 | 28.7 | 29.6 | 29.0 | 40 | |
| 外来入院患者比率 (%) | 193.6 | 179.1 | 172.6 | 168.6 | 162.7 | |

第1回点検・評価委員会 平成22年2月8日(月) 14:00~15:40

【委員会概要】

- ・ 中期経営計画の実施に当たり、具体的な数値目標が掲げられていないため、評価が難しい。各診療科・部署ごとにアクションプランを立てて、具体性を示すべきである。
- ・ 取組状況について、市民に対してのアピールが不足しているのではないかな。

第2回点検・評価委員会 平成23年5月19日(木) 14:00~15:20

【委員会概要】

第1回点検・評価委員会で指摘のあった、部門ごとに具体的年次計画を盛り込んだアクションプランを作成した。また22年度は6年ぶりに黒字に転じる見込みである旨を説明した。

- ・ 良い決算が組めたと思う。患者単価が上がったのは、診療報酬の影響が大いにあると思うが、患者数が増えたことなどは、職員の努力である。
- ・ 23年4月からDPC請求病院になっているが、分析をすることが重要である。いろいろと情報が公開されている。
- ・ 住民に対しての意識調査を行い、患者動向を掴むと良い。
- ・ 材料比率が3割程度と高い。院外処方ならばもう少し下げられるのではないかな。
- ・ スタッフの意欲を高めるような取組をしてもらいたい。(研修費の拡充や院内保育の検討)

詳細は、<http://tsuruga-hp.jp/>にて公開。

市立敦賀病院の患者権利章典

患者さんは、人間としての尊厳を有しながら医療を受ける権利を持っています。また、医療は患者さんと医療従事者との互いの信頼関係の上に成り立つものであり、患者さんに主体的に参加していただくことが必要です。

当院では、このような考え方にに基づき、ここに「市立敦賀病院の患者権利章典」を制定します。

患者さんの権利

1 良質な医療を公平に受ける権利

社会的な地位、信条、障害の有無などに関わらず、良質な医療を公平に受ける権利があります。

2 個人の人格が尊重される権利

個人の人格、価値観などが尊重され、医療従事者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

3 個人の情報やプライバシーが守られる権利

診療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります。

4 病気、検査、薬、治療方法などについて、十分な説明、情報提供を受ける権利

自分が受ける治療や検査の効果や危険性、薬の効果や副作用、他の治療方法の有無などについて、理解できるまで十分な説明を受ける権利があります。

5 治療方法などを自らの意思で選択する権利

十分な説明、情報提供を受けた上で、自分の治療計画を立てる過程に参加し、治療法などを自らの意思で選択する権利があります。その際、別の医療機関の意見（セカンド・オピニオン）を聞きたいというご希望も尊重します。

6 自分が受けている医療について知る権利

自分が受けている医療について不明なことがあれば、医療従事者に質問することができ、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

患者さんにしていただきたいこと

7 医療に関する説明に対し、十分理解できるまで質問してください

納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについては、十分理解できるまで質問してください。

8 自身の健康に関する情報を正確に提供してください

良質な医療を実現するために、医療従事者に対し、患者さん自身の健康に関する情報（家族歴、既往歴、アレルギーの有無など）をできるだけ正確に提供してください。

9 必要な治療や検査などに意欲的に取り組んでください

治療効果の向上のために、医療従事者とともに病気を治していくという姿勢で、必要な治療や検査などに意欲的に取り組んでください。

10 他の患者さんが適切な治療を受けられるように配慮してください

患者さんは通常の社会生活にはない制約を受けざるを得ない場合もあります。病院の規則などを守り、他の患者さんの治療や病院職員による業務などに支障を与えないよう配慮してください。

医療事故防止のための8カ条

第1条 医療従事者は、医療事故はいつでも起こりうるものであるという「危機意識」を常に持ち業務にあたる。

第2条 患者さん最優先の医療を徹底し、患者さん本位の医療を実践する。

第3条 業務にあたっては基本的事項の遵守と確認、再確認を徹底する。

第4条 患者さんとのコミュニケーションには十分配慮し、患者さんや家族への説明は、その内容が十分理解されるよう心がける。

第5条 診療に関する諸記録は正確かつ丁寧に記載するとともに、相互チェックを実施する。

第6条 自己の健康管理には十分留意し、万全の体制で業務にあたる。

第7条 職員の具体的、実践的な教育・研修を実施する。

第8条 病院管理者、所属長が率先して医療事故防止に対する意識改革を実践する。

病院年報編集委員会

編集委員長 米島 學

編集委員 杉浦 良啓 上田 裕朗

角田 敬子 小倉 和彦

桑村 典之 上塚 浩樹

粕谷 聡 宮川 朋史

市立敦賀病院年報（平成22年度）

平成23年10月27日発行

編集 病院年報編集委員会

発行 市立敦賀病院

〒914-8502 福井県敦賀市三島町1-6-60

TEL 0770-22-3611